# 導入

「あなたの予言の才能を高める」という旅に乗り出すとき、深い個人的な目覚めに向けて準備してください。これは単なる本ではありません。神とのつながりを深め、予言能力を高めるために設計された変革体験です。

まず、あなたの心の状態を探り、神と共に歩む上で純粋さと誠実さがいかに重要かを検討します。心の状態を理解することは、預言の流れの源となるため、非常に重要です。次に、キリストの体に対する神の導きを詳しく調べ、この重要な時期に神が私たちをどこに導こうとしているのかを見極めます。この集団の旅は、あなたの個人的な成長と同じくらい重要です。なぜなら、私たちは皆、神の計画という壮大なタペストリーに織り込まれた糸だからです。

これに続いて、いくつかの基本原則を確立し、あなたの預言の才能が開花するための強固な基盤を築きます。これらの原則は、神の洞察力の広大で深い海に足を浸し、これからの深みに備えるようなものです。次に、預言の実践において純粋さを維持するために不可欠な性格特性について話し合います。誠実さ、謙虚さ、そして神の意志に沿った心は、真の預言の声に不可欠です。

読み進めていくと、これらのトピックについてさらに深く掘り下げ、神があなたのために用意しておられる知恵と理解の層を解き明かしていきます。各章はあなたの才能を広げるために設計されており、あなたが読み進めていくにつれて、神が驚くべき方法であなたに油を注ぎ、力を与えてくださると確信しています。

最後の章では、新たに磨かれた預言の才能が活性化されます。この活性化は単なる理論的な概念ではなく、才能を受け取ってそれを活用する具体的な経験です。どうして私がこの結果を確信できるのか不思議に思うかもしれません。理由は簡単です。私は最も偉大な著者であるイエス・キリストと協力しているからです。彼の導きとインスピレーションがこの本のすべての言葉に浸透しています。

読み進めるうちに勇気が湧いてきて、先を急ぎたいという誘惑に負けないようにしましょう。各セクションは、クロスワードパズルの答えを正しい順序で見つけるのと同じように、前のセクションを基にして綿密に作成されています。プロセスを信頼し、各章に完全に没頭してください。

# 第一章: 悔い改めた心

時代へと私たちが移行していることは間違いありません。この旅を始めるにあたり、最初の章のタイトルが「悔い改めた心」であることはふさわしいことです。この章は、謙虚さと真の悔い改めの気持ちで神に近づくことの重要性を強調し、これから起こる変革の経験の基盤を築きます。

我々は、過去に見たものとは大きく異なる何かを目撃することになるだろうと私は信じています。この神の突破口にふさわしいのは、謙虚さと悔悟、そして神の言葉に対する深い尊敬の念をもって神の前で自らを位置づけた人々です。これは、神の力の並外れた実証によって特徴づけられた、有名な癒しの伝道師、スミス・ウィグルスワースの生涯の力強い物語を思い起こさせます。

ウィグルスワースが 1922 年にニュージーランドに旅したことは、彼の深い霊的つながりと神との歩みの秘密の証です。地元の指導者には知られていませんでしたが、ニュージーランドの数人の牧師が、大きな自信をもってウェリントン市庁舎を借りて、彼の癒しのキャンペーンを開催しました。主の存在は明白で、多くの人々に救いと癒しをもたらしました。圧倒的な反響により、追加の集会が開かれ、毎回、神の介入を求める人々で満員になりました。最も重篤な病気や疾患でさえ治癒し、神の奇跡的な力が明らかになりました。

ホスト牧師の一人と海岸沿いを散歩しているとき、ウィグルスワースは神の力の中で歩む秘訣について尋ねられました。彼の答えは、啓示的でもあり、また心を痛めるものでした。「私は傷ついた心を持つ男です。」彼は、11年前に愛する妻を亡くした話をしました。その喪失は彼を打ちのめしました。彼女の葬儀の後、彼は彼女の墓の前にいて、彼女と一緒に死にたいと切望していました。しかし、神は彼を呼び、立ち上がって宣教を続けるように指示しました。ウィグルスワースは、神が彼に聖霊の2倍を与えてくれるなら、つまり彼自身と妻の両方に聖霊を与えてくれるなら、福音を宣べ伝えると約束しました。神は彼の願いに慈悲深く応え、ウィグルスワースは深い悲しみにもかかわらず、しばしば悲しみに打ちひしがれながら、一人で世界を旅しました。

ウィグルスワースは、神との成功の鍵は砕かれ悔いる心であると信じていました。詩篇 51 章 17 節には、「神へのいけにえは砕かれた霊である。砕かれ悔いる心を、神よ、あなたは蔑まれません」とあります。彼の人生はこの真理を体現し、真の霊的力は神の前で謙虚で砕かれた心から生まれることを強調しました。

ウィグルスワースは海岸沿いを歩きながら、牧師と深い洞察を分かち合いました。荒野での経験中に主から受けた 3 つの開かれたビジョンについて話しました。1922 年までに、これらのビジョンのうち 2 つはすでに実現していました。彼は、3 番目のビジョンが自分の死後に実現すると預言し、それを彼らが経験したどんなものよりもはるかに大きなリバイバルとして描写しました。このリバイバルは、主の再臨の前の世代に起こると彼は信じていました。

ウィグルスワースの言葉を記録した牧師は、彼がキリストの再臨に先立つ日々の霊的ほとばしりについて言及していることを理解していました。ウィグルスワースの予言的な洞察力は、彼に現代における神の計画を垣間見せました。1936年に南アフリカに滞在中にカリスマ的刷新などの出来事を正確に予言したことで知られるウィグルスワースは、他の多くの霊的チャンピオンとともに、私たちの世代が神の中で経験することを楽しみにできるものを予見し、予言する能力を授けられました。

しかし、この神の恵みにあずかるためには、ウィグルスワースや他の人たちが満たしたのと同じ条件を満たさなければなりません。同じ種類の喪失を経験しないとしても、私たちの目標は謙虚さと心からの心の砕かれた気持ちで神の前に立つことです。そうすることで、私たちは神が力強い御霊の現れで私たちを油注ぎてくださるよう準備します。自分の経験を振り返ってみると、献身と献身のレベルを高めることが課題であると気づきます。神は私たちがこれまで捧げてきたもの以上のものを受け取るに値します。

教会全体で、神の王国の啓示を目撃するために、多くの人が大きな犠牲を払ってきました。しかし、組織レベルでは、私たちはさらに大きなことを目指して努力しなければなりません。現代は、導きと神の知恵を与えるために、信頼できる預言者の声と相まって、明確で高潔な指導者を必要としています。神の神聖な政府が確立されるにつれて、世の終わりに生きる世代に対する神の約束を聖書的に理解することが緊急に必要になります。政府の責任ある地位に就く準備が整う人々は、このプロセスの一環として、明らかに霊的な賜物を受けます。今、これまで以上に、知恵と啓示の霊が、この時代を切り抜けるために必要とされています。

**エペソ人への手紙 1:17-19** : *「私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、あなた方に神を知る知恵と啓示の霊を与え、あなた方の心の目が開かれ、神の召しによってもたらされる望みが何であるか、聖徒たちに対する神の相続財産の栄光の富が何であるか、また、神の全能の力の働きによって、私たち信じる者に与えられる神の力の非常に大きな力が何であるかを、あなた方が知るようになるためです。」*

ダニエルとバビロンに捕らえられた3人の友人の時代と同じく、今の時代にも、私たちは神の知恵と知識を緊急に必要としています。私たちはあらゆる形態の文章や文学に関する知性、そして何よりも、夢やビジョンを解釈する能力を必要としています。この神の賜物を通して、私たちは複雑な霊的旅路を切り抜けるために必要な洞察力を得るのです。

**ダニエル書 1:17** : *「神はこの四人の子供たちに、あらゆる学問と知恵に関する知識と技能を授けられた。ダニエルはあらゆる幻と夢を理解する力を持っていた。」*

主との親しい友情を育むことは、真の霊的指導者が出現するための前提条件です。イエスは弟子たちに、その時点から彼らを召使ではなく友人として扱うことを明らかにしました。この召使から友人への変化は、神の神秘、秘密、戦略が明らかにされる、より深いレベルの親密さを意味します。これらの啓示は、父なる神がこの世代に対して抱いている考えや計画を伝えます。したがって、イエスとの友情を育むことは、霊的職務の追求よりも優先されるべきです。

エノクのように神と共に歩み、神の王国内で権限を委任するとき、私たちは自分のアイデンティティと運命をより明確に理解できるようになります。天国で大いに尊敬され、大切にされたダニエルの生涯について私が広範囲に研究し、書いたものから、ダニエルは神が期待する次の世代のモデルとなることがわかりました。ダニエルとその仲間は、主が民を独特の終末期の責任に備えるためにどのように備えさせるかを預言的に示しています。

バビロニア人の手によるイスラエルの捕囚は、神が約束した解放の前兆でした。**ダニエル書 1:17 は**、天がこれらの忠実な若者たちに授けた特別な権威について述べています。聖霊の力を通して、神は彼らに、さまざまな分野の著作や文学に関する啓示的な知識と知性を与えました。特にダニエルは、幻や夢に対する超自然的な知覚力を授けられました。この特別な授けによって、彼らは知恵と学問において卓越した存在となりました。

主は、この時代に従順と忠誠を誓う心を持つ人々を見つけたとき、再びこのパターンに従うでしょう。ダニエルとその仲間の例に従う聖徒たちは、聖書、創造、科学、芸術などに関する啓示的な洞察と超自然的知識の膨大な宝庫にアクセスできるようになります。これらの宝庫は、霊的に強く、神を知り、偉大な功績を成し遂げる人々に託されるでしょう。

彼らは神との個人的な関係を築き、天の啓示の領域に参加します。彼らは偉大な霊を内に宿し、鋭い知覚力と理解力を備え、夢や幻を解読し、啓示的な経験を理解し、複雑な問題を解決することができます。これらの人々は、「ここに来なさい」という招きに応じ、玉座の間から理解力を得て、将来の出来事を見せられます。

数年前の預言的な出会いで、主は**ダニエル書 1:17**と**エペソ人への手紙 1:17**が霊的につながっていることを私に明らかにされました。これらの並行する聖句は、2 つの異なる時間枠からの同じ約束を表現しています。最初の聖句は旧約聖書からで、神が困難な時期にその民をどう扱ったかを説明し、超自然的な介入の未来の日を指し示しています。2 番目の聖句は新約聖書からで、聖徒たちの将来のすべての世代への遺産を記録しています。

わたしたちには限界があると感じていますが、主は命を与える御霊です。主はわたしたちの死すべき肉体に御霊を注ぎ、啓示の霊と、主におけるわたしたちの受け継ぎとしての神秘、秘密、啓示の知識へのアクセスを与えると約束されました。この遺産はわたしたちのものです。

20 世紀初頭、マリア・ウッドワース・エッターの集会に出席した多くの人々が、聖霊に導かれ、主の幻や啓示を体験したと報告しました。これらの話は十分に文書化され、検証されています。これらの体験をした人々の中には、配属された国の言語で流暢にコミュニケーションできる能力を与えられ、遠く離れた土地で宣教師として奉仕することができた人もいました。

神の王国が私たちに何を用意しているかを明らかにし、奇跡を起こすことは、天の父にとって大きな喜びです。アブラハムとサラの体を若返らせ、新しい命を与えることは、神にとって特別なことではありませんでした。サラが亡くなった後も、100歳をはるかに超えたアブラハムは、エル・シャダイとの出会いによって授かった力を発揮し続け、ケトラを通してさらに多くの息子を産みました。

同様に、主は、主の中に隠された計り知れない宝物にアクセスするために必要な超自然的な能力を私たちに授けることが十分にできます。これらの能力は使徒パウロに与えられました。聖書が明らかにしているように、聖霊は影に隠されたものを知っており、深遠で隠されたものを明るみに出します。聖霊は光の住処であり、他の創造物から分離され、運命の世代のために取っておかれたものを照らします。

**ダニエル書 2:22** : *「彼は深遠な秘密を明かし、暗闇にあることを知っており、光は彼とともに宿る。」*

この現代には、天の啓示の領域に積極的に関わり、物理、光、音、霊的な色の神秘に対する深い洞察を得ている人々がいます。使徒ヨハネの天の玉座の間への旅は、そこにいた人々に目撃され、聞かれました。彼の経験は、主が住まわれる支配と勝利の玉座を取り囲む信じられないほどの光景、音、鮮やかな色に目を開かせました。

天国の領域に対する理解が深まるにつれ、地上における神の王国の支配を顕現するために天と協力する私たちの能力は増すでしょう。同様に、主は今、啓示の霊を通して、終わりの日に残された神の王国の神秘と秘密を理解し、解釈するための鍵を利用可能にしておられます。常に存在しながらも部分的にしか理解されていなかった聖句が明らかになり、霊と命が吹き込まれるでしょう。

この時、神の知恵と啓示的な洞察力を与える霊的な賜物が天から解き放たれます。イザヤの預言はこれを指摘してこう言っています。

**イザヤ書 48:6-7** : *「あなたは（予言されたこれらのことを）聞き、このすべてを見た。それでも、あなたはそれを告げないのか。私は今から新しいことを、隠されていたことをあなたに示したが、あなたはそれを知らなかった。それらは今創造されたのであって、初めからではなく、あなたがそれを聞いたことのない日より前に創造されたのである。そうしなければ、あなたは『見よ、私はそれらを知っていた』と言うであろう。」*

使徒教会として知られる初期の教会の時代に、前例のない出来事が起こりました。弟子たちは、自分たちの経験の聖書的根拠を見つけるために、さまざまな預言者の預言書を調べなければなりませんでした。ペンテコステの日に、誰も予測できなかった預言の成就が起こりました。ペンテコステを指し示す聖書はずっと前から存在していましたが、その経験を通してのみ、初期の教会時代に授けられた王国の神秘に対する啓示的な洞察が解き放たれました。

神の心の中には、定められた時まで封印され保留されている重要な考えや計画があります。その時が来た今、主は、意図された状況で非常に効果を発揮する霊的な教えを授けています。

この神の恵みを喜んで受け入れるとともに、悔い改めた心で主とのより深い親密さを求めましょう。この謙虚さと御霊に対する開放性を通して、私たちはこの時代を生き抜き、神の召しを果たすために必要な深遠な啓示と知恵を受け取るでしょう。主は深く秘密にされた事柄を明らかにし、暗闇に光を照らし、主を熱心に求める人々にその奥義を知らせておられます。

# 第2章預言の回復

**預言とは何ですか?**

**使徒行伝 2:17** : *「終わりの日に、わたしはわたしの霊をすべての人に注ぐと、あなたがたの息子、娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見るであろう、と神は言われる。」*

預言の領域は、私たちの精神的な旅の重要な側面です。それは、神がその意志、計画、目的をその民に伝える手段です。預言は単に未来を予言するだけでなく、神の心を告げ、現在の状況に神の言葉を生かすものでもあります。

**預言は今日に当てはまるのか？**

**コリント人への第一の手紙 13:8-9** : *「愛はいつまでも絶えることがありません。しかし、預言は絶え、異言はやみ、知識は消え去ります。わたしたちの知っていることは一部分であり、預言も一部分だからです。」*

さまざまな宗教の信者の多くは、この聖句を、現代には預言の余地がない証拠だと指摘します。しかし、パウロは預言を求めるよう勧めています。私たちが奉仕するとき、神が私たちに伝えようとしている全体像のほんの一部しか理解できないかもしれません。この部分的な理解は、今日の預言の重要性や妥当性を否定するものではありません。

**コリント人への第一の手紙 14:1** : *「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物を求めなさい。しかし、預言する賜物を求めなさい。」*

**エペソ人への手紙 4:11-13** : *「そして、神はある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者、ある人を牧師、教師としてお立てになりました。それは、聖徒たちを整えて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。こうして、私たちはみな、信仰の一致と神の子を知る知識の一致とを得て、完全な人となり、キリストの満ちあふれる徳の高さにまで達するためです。」*

預言の賜物を含め、五つの務めと聖霊の九つの賜物はすべて今日でも機能しています。

**アモス 3:7** : *「主なる神は、そのしもべである預言者にその秘密を示さないでは、何事もなさらない。」*

ほとんどの場合、預言者は私たちの将来に対する神の計画を明らかにする責任を託されています。

**預言とは何ですか?**

**黙示録 19:10** : *「そして私はイエスの足元にひれ伏して拝んだ。すると彼は私に言った。 『そんなことをしてはならない。私はあなたの仲間の僕であり、イエスの証しを持っているあなたの兄弟の一人だ。神を拝みなさい。イエスの証しは預言の霊である。』」*

**ヨハネ 10:4** : *「そして、彼は自分の羊を連れ出すと、その先頭に立って進み、羊は彼について行きます。羊は彼の声を知っているからです。」*

預言の鍵は主の言葉を聞くことであり、それは聖霊との関係にかかっています。聖霊との親密な個人的関係を培うことが必要です。

**サムエル記上 10:6** : *「主の霊があなたに臨み、あなたも彼らと共に預言し、別の人に変えられるであろう。」*

**サムエル記上 19:20** : *「サウルはダビデを捕らえるために使者を遣わした。使者たちは預言者の一団が預言し、サムエルが彼らの上に任命されて立っているのを見た。すると、神の霊がサウルの使者たちに臨み、彼らも預言した。」*

**民数記 11:25** : *「主は雲の中に降りて彼に語り、彼の上にある霊を取って七十人の長老たちに与えられた。その霊が彼らの上にとどまると、彼らは預言し、やむことがなかった。」*

**使徒行伝 19:6** : *「パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が彼らに臨み、彼らは異言を語ったり預言したりした。」*

**なぜ預言が必要なのでしょうか?**

親はよく、「私がそう言ったから」という陳腐な言い訳をします。同様に、預言は神が言ったことのゆえに大きな意味を持ちます。

**1. 預言を求める**

**コリント人への第一の手紙 14:1** : *「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物を求めなさい。しかし、預言する賜物を求めなさい。」*

常にこのことを心に留めておいてください。初めて預言に出会ったときから、私はこの素晴らしい贈り物に飽きることがないことに気づきました。

**2. 神は私たちに預言を拒絶しないように警告しています。**

**テサロニケ人への第一の手紙 5:20-21** : *「預言を軽んじてはいけません。すべてのことをよく吟味し、良いものを堅く保ちなさい。」*

預言を終わらせないでください。聖霊の働きを妨げないでください。代わりに、流れに身を任せ、すべてを評価し、機能するものを維持してください。

**3. 預言は神の力を解き放ちます。**

時々、どれだけ祈っても何も変わらないように思えます。預言の言葉には、人々を即座に救い、癒し、鎖から解放する力があります。

**エゼキエル 37:7-10** : *「そこで私は命じられたとおり預言した。私が預言していると、音がして、見よ、震えが起こり、骨が骨と骨とでくっついた。私が見ると、筋と肉が彼らの上に現れ、皮膚が彼らを覆っていた。しかし、彼らの中には息がなかった。その時彼は私に言った。「風に預言せよ。人の子よ、預言して、風に言いなさい。主なる神はこう言われる。四方から息よ、来て、これらの殺された者たちに息を吹きかけよ。彼らは生き返る。 」そこで私は彼が私に命じたとおり預言した。すると息が彼らの中に入り、彼らは生き返り、非常に大きな軍隊となって立ち上がった。*

# 第3章: 預言者の作法

ためには、繊細さと明瞭さと敬意を持って行うことが重要です。預言の礼儀作法には、社会的および精神的な慣習によって規定された適切な形式とマナーを理解し、実践することが含まれます。

**エチケットと**は、社会慣習や権威によって定められた慣習や形式を指します。同義語には、礼儀作法、プロトコル、礼儀作法などがあります。これらの用語は、正しい行動を規定する規範を指します。エチケットと礼儀作法は、上流社会で定められた行動の形式を表します。フレデリック・W・ロバートソンは「人間は…エチケットの奴隷である」と言いました。怒っているときでも、礼儀作法は守るべきです。プロトコルとは、国政で守られる公式のエチケットを指します。

**預言の言葉を伝える**

**人前で話すためのアドバイス:**

* **単調な話し方を避ける:**単調な話し方は聞きづらいです。
* **あなたの気持ちを表現しましょう。**あなたの言葉を通して神の慈悲が輝くようにしましょう。
* **はっきりと話す:**全員があなたの話を聞き、理解できるようにします。
* **声を調節する:**聞き心地の良い声で、音量とテンポを変えましょう。
* **話し方が早すぎたり遅すぎたりしないでください。**関心を維持するためにテンポを変えてください。
* **主を信頼してください。**あなたが言っていることを完全に理解する必要はありません。主があなたを通して語っているのです。
* **緊張を管理する:**緊張している場合は、目を閉じてください。
* **制御を維持する:**誰かがサービスを妨害した場合、あなたが責任を負うことを忘れないでください。

**聖霊に対する感受性を維持する**

神があなたの注意を他人の人生の微妙な側面に向けるときは、細心の注意を払ってください。聖霊は騎士道の模範です。イエスとマグダラのマリアとの関係の物語と、イエスの「罪のない者がまず石を投げよ」という言葉について考えてください。人々は性的暴行、身体的虐待、その他のトラウマを経験しているかもしれません。結婚や家族の問題を抱えているかもしれません。預言をするときは、自分が彼らの立場だったら聞きたいと思うような話し方をしてください。

**すべきこと、すべきでないこと**

**してはいけないこと:**

* 常に批判的になりましょう。
* 誰かを操作したり、支配しようとしたりすること。
* 自分自身または他の人のためのポジションを作成します。
* あなた自身またはあなたの奉仕活動のために資金を募ります。
* 人々を必要な場所に移動させます。
* あなたの奉仕活動のために働き、旅行する人々を募集します。

**成熟するまでは、しないでください：**

* 明らかに病気の人々の治癒を預言します。
* 結婚やその他の関係について預言する。
* 車と家について予言します。
* 子供たちについて預言する。

**人々に触れる：**

**してはいけないこと:**

* 胸または首
* 脚
* 臀部
* 髪を乱す
* 腰
* 顔面愛撫
* 腹
* 愛撫や抱きしめ

**すべきこと:**

* 頭
* 顔に優しく
* 肩
* 下肢と足（ズボンを履いている場合）—大丈夫かどうか尋ねます。
* 手と腕

**言葉を追いかけない**

数十年前、私は長時間にわたる祭壇での呼びかけのある集会に出席しました。何時間も預言をした後、牧師は前に出たい人はいないかと尋ねました。ある女性が「はい、私は御言葉が欲しいです。御言葉が欲しくないならここにはいません」と答えました。この話は私の集会で何度も繰り返されました。ある女性は 3 日間で 2 回個人的な説教を受けました。5 時間の集会の後、彼女はテープレコーダーを手に私に預言の御言葉を尋ねました。疲れ果てて家に帰る準備ができていた私は、不適切な反応をしました。私は前の晩の夕食から取ったフォーチュン クッキーを彼女にあげました。失礼な態度をとったことをお詫びします。私は疲れ果てていました。

# 第4章神の精神を感じる

預言者として、神の霊に対する感受性を養うことは、あなたが経験できる最も重要なプロセスです。この感受性により、神の声をはっきりと聞き、神の意志を識別し、効果的に奉仕することができます。

**1. 神のために時間を取る**

わたしたちの中には規律正しい人もいれば、そうでない人もいます。要点だけを述べる人もいれば、何時間でも話し続ける人もいます。わたしたちがどんな人間であるかに関わらず、神はわたしたち一人ひとりと個人的な関係を持ちたいと願っておられます。あなたに対する神の愛は深く、尽きることはありません。

**士師記 16:20** : *「彼女は言った。『ペリシテ人があなたに襲い掛かっています、サムソン。』 彼は眠りから覚めて言った。『いつものように出て行って、体を揺らそう。』 彼は主が彼から去られたことを知らなかった。」*

**マタイ7:22-23** : 「その日*には、多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ、私たちはあなたの名で預言をし、あなたの名で悪霊を追い出し、あなたの名で多くの不思議なわざを行ったではありませんか。』 しかし、そのとき、わたしは彼らにはっきり言います。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法を行う者どもよ、わたしから離れ去れ。』」*

**2. 告白の中で霊的な次元を築く**

霊的に自分自身を磨き続けなければ、あなたはさらに遅れをとることになります。神は、あなたを神が思い描く人物に作り上げる、あるいは形作る計画を持っています。

**コリント人への第二の手紙 4:13** : *「私たちは同じ信仰の霊を持っています。聖書に書いてあるとおりです。『私は信じた。だから語ったのだ。私たちも信じている。だから語るのだ。』」*

手段であり、信仰の精神には、信じることと話すことという 2 つの側面があります。

**1テモテ1:18** : *「息子テモテよ、私はあなたにこの命令を託します。あなたに対して以前からあった預言に従って、あなたはそれらによって 戦争は良い戦争である。*

**告白：** *私は勝利者です。私は勝者です。私は征服者です。私は繁栄し、健康で、強いです。私は聖霊に満たされています。私は異言を話すことができます。私は悪霊を追い出すことができます。私は病人を癒すことができます。私は死者を蘇らせることができます。毎日、あらゆる面で、私は神の恵みによってますます良くなっています。イエスは私の心の中に住んでいます。*

**3. 毎日、いつでも、霊的に備えておく**

**コリント人への手紙二 3:18** : *「しかし、私たちはみな、顔を開けて、鏡のように主の栄光を見つめながら、主の霊によるとおり、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていくのです。」*

**預言者の境界**

預言者はキリストの体の中で特定の役割と責任を持っています。主な分野は次のとおりです。

**方向**

**使徒行伝 11:27-28** : *「そのころ、エルサレムから預言者たちがアンティオキアにやって来た。彼らのうちのひとり、アガボという人が立って、全世界に大飢饉が起こることを御霊によって予告した。それは、クラウデウス帝の時代に起こった。」*

**修正**

**サムエル記上 2:27** : *「神の人がエリのもとに来て言った。 『主はこう仰せられる。「あなたの父の家がエジプトのファラオの家にいたとき、わたしは彼らに明らかに現れたか。」』*

**召命のミニストリー**

**使徒行伝 13:1-3** : *「アンティオキアの教会には、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデのもとで育ったマナエン、サウロといった預言者や教師たちがいた。彼らが主に仕え、断食していると、聖霊がこう言われた。『バルナバとサウロを、わたしが召した働きのために分けなさい。』 そこで彼らは断食し、祈り、ふたりの上に手を置いてから、ふたりを送り出した。」*

**聖職の任命**

**サムエル記上 16:13** : *「サムエルは油の角を取って、兄弟たちの中でダビデに油を注いだ。その日から主の霊がダビデに臨んだ。そこでサムエルは立ち上がってラマへ行った。」*

**判定**

**歴代誌下 21:12** : *「預言者エリヤから彼に手紙が届いた。『あなたの父ダビデの神、主はこう仰せられる。あなたは父ヨシャパテの道にも、ユダの王アサの道にも歩まなかった。』」*

**霊的賜物の授け**

**1テモテ4:14** : *「長老たちの按手によって預言によってあなたに与えられた、あなたの中にある賜物を軽視してはならない。」*

**まず神のメッセージを受け取る**

**アモス 3:7** : *「主なる神は、そのしもべである預言者にその秘密を示さないでは、何事もなさらない。」*

**信徒教会の設立を支援する**

**エペソ3:20** : 「*私たちのうちに働く力によって、私たちが求めたり、思うことをすべて越えて豊かに施すことのできる方に、*

**預言の主要原則**

**1. 神の言葉**

**ペテロの第二の手紙 1:19-21** : *「私たちには、さらに確かな預言の言葉があります。夜明けが来て、明けの明星があなたがたの心の中に昇るまで、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。まずこのことを知っておきなさい。聖書の預言は、どれも個人的な解釈によるものではありません。昔、預言は人間の意志によって語られたのではなく、聖霊に動かされた神の聖徒たちが語ったのです。」*

**2. 御言葉の精神と一致していなければならない**

**ローマ人への手紙 8:1** : *「ですから、今は、キリスト・イエスにあって、肉に従って歩まないで、御霊に従って歩んでいる人たちには、罪に定められることはありません。」*

**エペソ人への手紙 4:15** : *「愛をもって真理を語り、あらゆる点で、頭であるキリストにまで成長しなさい。」*

**3. あなたの霊は証しする**

**ローマ人への手紙 8:16** : *「御霊ご自身が、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることを証しして下さるのです。」*

**4. 二人または三人の証人の口から**

**コリント人への第二の手紙 13:1** : *「私があなた方のところに来るのはこれで三度目です。すべての言葉は二人か三人の証人の証言によって確定します。」*

**5. 時期が来る前に何も判断しない**

**1コリント4:5** : *「ですから、主が来られるまでは、何事も先走って判断してはいけません。主は、暗やみに隠されたものを明らかにし、心の計りごとを明らかにされます。そのとき、すべての人が神から称賛を受けます。」*

ある人が時間や日付について予言し、それが実現しなかったとしても、神がその人を通して語ったとは言えません。

**申命記 18:22** : *「預言者が主の名において語ったことが実現せず、成就しないなら、それは主が語られたことではなく、預言者が傲慢に語ったことである。あなたは彼を恐れてはならない。」*

**6. 預言者を判断する：** a. 性格によって b. 人生における知恵の精神によって c. 個人生活における聖霊の実によって d. 試練と苦難の後の人生における実によって

**ヨハネの手紙一第4章1節**： *「愛する者たちよ。すべての霊を信じないで、霊が神から出たものかどうか、ためしなさい。多くの偽預言者が世に出回っているからである。」*

**7. あなた自身の牧師または預言的な牧師**

**コリント人への第一の手紙 14:29** : *「預言者たちは二人か三人語り、他の者たちは判断しなさい。」*

**預言的ビジョン**

**霊の中でどのように見えますか?**

私たちは創造主である神の似姿と姿に創造されました。神は霊であり、霊的な能力を持っています。

**歴代誌上 29:18** : *「私たちの先祖アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。どうか、あなたの民の心の思いを永遠に保ち、彼らの心をあなたに向けさせてください。」*

**箴言 23:7** : *「彼は心の中で考えているとおりになる。『食べよ、飲め』とあなたに言うが、彼の心はあなたとともにない。」*

**箴言 4:23** : *「あなたの心をよく守れ。命の泉はそこから出るからである。」*

**1. 神の存在の中で時間を過ごす**

**ヨハネ 5:19** : *「すると、イエスは答えて言われた。『よくよくあなたがたに言っておく。子は父のなさることを見てする以外には、自分からは何事もすることができない。父のなさることはすべて、子も同じようにするのである。』」*

**2. 賜物として霊において見ることを追求する**

信仰によって求め、信仰によって受け取りなさい。

**3. 心を常に主に委ねる**

小さな内なる声に導かれてください。

**ヨシュア記1:8** : 「この律法の書をあなたの口から離してはならない。あなたは昼も夜もそれを口ずさみなさい。

続く

もちろんです！第 4 章の残りを続けましょう。

**ヨシュア記 1:8** : *「この律法の書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさみ、そこに書かれていることをすべて守り行わなければならない。そうすれば、あなたの道は繁栄し、あなたは成功する。」*

**4. 印象を見極める**

**コリント人への第二の手紙 10:3-5** : *「私たちは肉にあって歩んではいても、肉に従って戦うことはありません。私たちの戦いの武器は肉のものではなく、神の力によって、要塞をも打ち倒すほどの力があるのです。私たちは、さまざまな思いや、神の知識に逆らって高ぶるあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、」*

私たちには、自分の思考を使って誘惑や恐れ、否定的な考え、ゴミを想像の中に取り入れるという選択肢もありますし、自分の思考を主に集中させるという選択肢もあります。

**従うべきガイドライン**

* **聖霊の現在の動きに反対しないでください。**
* **預言の使命を独占しないでください。**
* **繰り返しを避ける:**同じことを繰り返したり、何度も同じことを言ったりしないように注意してください。
* **長さよりも正確さを優先する:**予言の正確さは長さよりも重要です。
* **リーダーシップの承認を求める:**続行する前に、リーダーシップの承認を得ていることを確認します。
* **パラメータに従う:**預言の働きのために設定された境界内に留まります。

**1コリント14:3** : 「しかし、*預言する者は 人々に語りかけて、徳を高め、勧め、慰めを与えるのです。」*

どのような預言をするにしても、この聖句を導きとして使ってください。わたしたちは行うすべてのことにおいて、他の人を啓発し、励まし、慰める義務があります。

# 第五章預言的治癒が解き放たれる

神の言葉が語られたり、書き記されたりするのは、いつでも素晴らしいことです。純粋な神の言葉は、私たち一人一人が聞きたいと切望するものです。神は私たちの医者であるという信仰を持つことが必要です。この信仰は、イエスの鞭打ちは私たちを癒すためであったという理解に根ざしています。私たちが病人に手を置けば、彼らは回復するはずです。これは理解するのが難しいかもしれませんが、知識の言葉とそれに関連する賜物が組み合わされると、より大きな力が解き放たれます。完全なパッケージは、預言的な癒しを行う力とともに信仰で構成されています。

**身体の治癒**

**イザヤ書 53:5** : *「しかし、彼は私たちの罪のために傷つけられ、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらす懲罰が彼に下され、彼の傷によって私たちは癒された。」*

**ペテロの手紙一第2章24節**： *「キリストは、十字架の上で私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪に対して死んで、義に生きるためです。キリストの傷によって、あなたがたは癒されたのです。」*

**ヨハネの手紙第三 1:2** : 「愛する者よ、私はあなたがあなたの魂*が栄えるように、何よりもあなたが繁栄し、健康でいることを望みます。」*

**マタイ 9:28-29** : 「イエスが家に*入られると、盲人たちがイエスのもとに来た。イエスは彼らに言われた。『わたしにそれができると信じますか。』彼らはイエスに言った。『はい、主よ。』そこでイエスは彼らの目に触って言われた。『あなたがたの信仰どおりになりますように。』 」*

これは私が癒しの集会でいつも投げかける質問です。「もしイエスが今この瞬間にここに立っていて、あなたの上に手を置いてくれたら、あなたは癒されるでしょうか？」答えはいつも「はい」です。なぜなら、油注ぎが束縛を断ち切るからです。

**ヨハネ 14:12-15** : *「よくよくあなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行うわざをも行うでしょう。そればかりか、もっと大きなわざを行うでしょう。わたしが父のもとに行くからです。あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、わたしはそれをしましょう。それは、父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが何事でもわたしの名によって求めるなら、わたしはそれをかなえてあげます。あなたがたがわたしを愛するなら、わたしの戒めを守りなさい。」*

**ルカ14:18** : *「すると、彼らはみな一斉に弁解し始めた。最初の者が言った。『わたしは土地を買ったので、見に行かなければなりません。どうかお許しください。』」*

**癒しについての考え**

1. **神を信じる必要がある。**
2. **あなたはイエスがあなたの中にいると信じる必要があります。**
3. **あなた自身が癒される、あるいはあなたが祈っている人が癒されると信じる必要があります。**
4. **あなた（またはあなたが祈っている人）が癒されることが神の意志であることを理解してください。**

「イエスは昨日も、今日も、そして永遠に同じです。」

この世には、何らかの形で傷ついた人がたくさんいます。多くの場合、私たちは自分が傷ついたことにさえ気づいていません。傷を癒すには、まずその傷がどのようにして生じたかを理解する必要があります。痛みに気づかずに突き進むと、ほとんどの場合、自分自身にさらなる害を与えてしまいます。傷が蓄積すればするほど、それを乗り越えるのが難しくなります。しかし、神は私たちが回復するための手段を与えてくださいます。

**詩篇 147:3** : *「主は心の打ち砕かれた者を癒し、その傷を包み治してくださる。」*

**心が折れる**ということは、悲しみ、悲嘆、または失望によって打ちのめされることを意味します。

**傷とは**、感情や名誉などに対するあらゆる苦痛や傷害を指します。

**詩篇 147:4** : *「主は星の数を数え、そのすべてをその名で呼び、その数を増やし、心の傷を癒し、その傷を包みます。」*

言葉を発して世界を創造した同じ神が、その慈悲によって傷ついた者を慰め、傷ついた心を癒します。人間の各構成要素、つまり肉体と魂は、痛みや苦しみを経験することができます。人間は肉体と魂の両方から構成される二重の存在です。肉体の傷は大きな苦痛をもたらしますが、慈悲深い神は治癒と修復の手段を与えてくださいます。怪我は認識されますが、必ずしも理解されるとは限りません。

私の最初の本「障害を乗り越える」には、傷ついた人々へのケアの提供に関する追加情報が含まれています。

# 第六章: 預言の基準

大きな賜物を持ちながら、個人的な問題のために成功できない牧師が多すぎます。神は私たちが基準を引き上げ、私たちの苦悩の根底にある根本的な問題に取り組むことを望んでおられます。

**ヘブル人への手紙 12:15** : *「だれも神の恵みを失うことのないように、また、苦い根が生えてあなたがたを悩ませ、それによって多くの人が汚されることのないように、注意深く見守りなさい。」*

これらの問題が私たちの性格とパフォーマンスの両方に深く根付く前に、対処する以外に選択肢はありません。

**キャラクター**

重大な逆境に耐えた後でなければ、人の本当の性格が明らかになることはほとんどありません。いかなる状況でも、暴露は噂を広めたり、誰かの信用を傷つけたり、破滅を引き起こしたりする手段として使われるべきではありません。私たちには、啓発し、勧め、慰める責任が課せられています。

**神は私たちが目的を見つけるのを助けてくれる**

**詩篇 28:7** : *「主はわたしの力、わたしの盾です。わたしの心は主に信頼し、わたしは助けられました。それゆえ、わたしの心は大いに喜び、わたしは歌をもって主をほめたたえます。」*

**詩篇 40:17** : *「しかし、私は貧しく、困っています。しかし、主は私を顧みてくださいます。あなたは私の助け、私の救い主です。私の神よ、ためらわないでください。」*

**ヨハネの手紙一 2:27** : *「しかし、あなたがたは、キリストから受けた注ぎの油が、あなたがたのうちにとどまっています。あなたがたは、だれからも教えを受ける必要はありません。その注ぎの油が、あなたがたにすべてのことを教えているのです。それは真理であって、偽りではありません。その油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキリストのうちにとどまるべきです。」*

**舌の力**

**箴言 18:21** : *「死と生は舌の力の中にある。舌を愛する者はその実を食べる。」*

歴史を通じて、神は預言者の民を無視しているように見えました。しかし、神が人々の心の中に神への畏敬の念を復活させておられることに気づいてほしいと思います。私たちの口から発せられるべきものは、肉ではなく、神の言葉です。預言の賜物を持つ神の民には、教会の水準を高め、真実を語るという使命があります。

矯正を必要とする特定の指導者に関しては、預言者たちがその問題を回避しているのを私は見てきました。神が私たちのような成熟した牧師たちに、他の人々に矯正を分かち合うことを望んでいるなら、私たちもそれを分かち合う必要があります。私たちが接触した、または接触することになるすべての人が、私たちに責任を負わせるでしょう。

**個人の誠実さと預言の働き**

高い預言者としての基準を維持する上で最も重要な側面の 1 つは、個人の誠実さです。預言者としての奉仕者として、私たちは自分の生活が他の人に伝える教えや価値観を反映していることを確認しなければなりません。これは、個人生活と職業生活において正直で、透明性があり、責任があることを意味します。

**個人的な問題への対処**

個人的な問題が、預言者としての賜物を効果的に働かせ、奉仕する能力を妨げることがあります。これらの問題に正面から取り組み、必要に応じて癒しと回復を求めることが重要です。これには、矯正を受け入れ、助言を受け入れ、神が私たちの心に働きかけて変化を起こさせてくださるようにすることが含まれます。

**強い精神的基盤を築く**

預言者としての奉仕には、強い霊的基盤が不可欠です。これには、祈りに時間を費やし、神の言葉を学び、聖霊との深い関係を育むことが含まれます。霊的な歩みが進むにつれて、私たちは神の声にもっと敏感になり、他の人々に奉仕する準備がより整います。

**説明責任とコミュニティ**

預言的な奉仕者にとって、支援的なコミュニティの一員であることは不可欠です。責任あるパートナー、メンター、同僚は、貴重なフィードバック、励まし、訂正を提供できます。一緒に、私たちは預言の賜物を成長させ、強化し、誠実さと卓越性をもって活動することができます。

# 第七章預言的な世代

初めから、主は預言者の民を望んでおられました。神は、神の言葉を語り、神の心を明らかにするよう召された私たちのような個人と交わりを持つことを選ばれます。聖書全体を通して、神が預言者の世代を望んでおられることを示す、現代にも当てはまる箇所が数多くあります。

**出エジプト記 7:1** : *「主はモーセに言われた。『見よ、わたしはあなたをファラオの神とした。あなたの兄弟アロンはあなたの預言者となるであろう。』」*

**申命記 34:10** : *「主が顔と顔を合わせて知っておられたモーセのような預言者は、イスラエルにはその後現れなかった。」*

**創世記 20:7** : *「それゆえ、今その人は妻を返しなさい。彼は預言者ですから、あなたのために祈るでしょう。そうすれば、あなたは生きることができます。もし妻を返さないなら、あなたも、あなたのすべての者も、必ず死ぬことを知りなさい。」*

**サムエル記上 9:9** : *「(昔、イスラエルでは、人が神に尋ねに行くとき、こう言った。『さあ、先見者のところへ行こう。今は預言者と呼ばれている者は、昔は先見者と呼ばれていた。)」*

**民数記 11:27-30** : *「すると、ある若者が走って来て、モーセに告げて言った。『エルダデとメダデが宿営で預言をしています。』 モーセの従者で、若者のひとりであるヌンの子ヨシュアは答えて言った。『わが主モーセよ、彼らを禁じてください。』 モーセは彼に言った。『あなたは私のためにねたむのですか。主の民がみな預言者となり、主が御霊を彼らに授けてくださるよう、神は願われるでしょう。』 そこでモーセはイスラエルの長老たちとともに、彼を宿営に連れて行った。」*

**終末の兆し**

終わりの時が近づくにつれ、神の霊が力強く解き放たれることがその兆候の一つとなります。

**ヨエル 2:28** : *「その後、わたしはわたしの霊をすべての肉なる者の上に注ぐ。すると、あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見るであろう。」*

**コリント人への第一の手紙 14:31** : *「あなたがたはみな、ひとりずつ預言しなさい。それは、すべての人が学び、すべての人が慰められるためです。」*

神が新しい真理を明らかにすると、サタンはすぐにその真理の偽りのバージョンを作り出します。

**イザヤ書 14:12-15** : *「ああ、暁の子ルシファーよ、どうしてあなたは天から落ちてしまったのか。諸国を弱めたあなたは地に切り倒されたのか。あなたは心の中でこう言った。『わたしは天に昇り、わたしの王座を神の星々よりも高く上げよう。わたしは会衆の山、北の果てに座ろう。わたしは雲の頂よりも高く昇り、いと高き者のようになる。しかし、あなたは地獄に、穴の底に落とされるであろう。』」*

サタンは、神がなさっていることすべてを真似しようとします。サタンは神を妬み、神からスポットライトを奪おうとします。この本の内容を深く掘り下げていくと、私たちは霊的な側面に対する感受性を維持し、まるでギアを別のギアにシフトするかのように、霊の領域に移行するよう求められます。私たちはその次元を認識し始め、神と私たちの中にある神の霊の存在を認識する責任を持ち始めます。

**ヘブル人への手紙 12:1** : *「こういうわけで、私たちも、このように大勢の証人たちに雲のように囲まれているのですから、すべての重荷と絡みつく罪とをかなぐり捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐して走り続けようではありませんか。」*

**預言的啓示の性質**

預言的とは、次のことを意味します。

1. 預言の言葉は天から雨粒のように降ってきます。
2. 預言者はそれを見つめ、見て、認識し、そしてそれを思い描きます。
3. 預言の言葉は預言者の唇から湧き出て流れ出て、人々の心の土壌に水を注ぎます。
4. それは、送られた目的を達成します。

**イザヤ書 55:10-11** : *「雨が降って、雪が天から降って、天に戻らず、地を潤し、種を蒔く者に種を与え、食べる者にパンを与えるように、わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくわたしのもとに帰らず、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが命じたことを必ず成し遂げる。」*

**新約聖書の預言の言葉**

**Propheteuo (ギリシャ語)** : 93 回使用。意味は「出来事を予言する、霊感を受けて話す、預言者の職務を遂行する」。

**予言の領域**

**預言の霊**: 集会に預言者または預言者のグループが出席している場合、「預言の霊」として知られる神の霊の顕現が集会に入ると言われています。預言に関する指示が与えられるときにも、預言の霊は顕現します。

**黙示録 19:10** : *「そして私はイエスの足元にひれ伏して拝んだ。すると彼は私に言った。 『そんなことをしてはならない。私はあなたの仲間の僕であり、イエスの証しを持っているあなたの兄弟の一人だ。神を拝みなさい。イエスの証しは預言の霊である。』」*

# 第8章真の牧師の決定

多くの研究と熟考を経て、私は真の牧師には、他の牧師とは異なるいくつかの共通の特徴があることを発見しました。これらの特徴により、牧師は効果的に奉仕できるだけでなく、誠実さと正義の最高水準を堅持することができます。

**男らしさ**

**創世記 1:26-27** : *「神はまた言われた。『われわれのかたちに、われわれに似せて人を造ろう。そして彼らに海の魚、空の鳥、家畜、地のすべての獣、地を這うすべてのものを支配させよう。 』神はご自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女に創造された。」*

**ローマ人への手紙 8:29** : *「神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じものとなるようにあらかじめ定めておられた。それは、御子を多くの兄弟たちの中の長子とするためである。」*

**1テモテ2:5** : *「神は唯一であり、神と人との間の仲介者も唯一、すなわち人であるキリスト・イエスです。」*

神は、強力な奉仕の業を明かす前に、人類を創造しました。イエスの30年間続いた人間としての生涯と、3年半続いた奉仕の生涯の比率は、10対1です。これは、奉仕の業に踏み出す前に、個人的な成長と成熟が重要であることを強調しています。

**省**

**マタイ7:15-21** : *「偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたがたのところに来るが、その内側は貪欲な狼である。あなたがたは、その実によって彼らを見分けなければならない。人は、いばらからぶどうを、あざみからいちじくを集めるであろうか。そのように、良い木はみな良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。良い木が悪い実を結ぶことはなく、悪い木が良い実を結ぶこともない。良い実を結ばない木はみな切り倒されて、火に投げ込まれる。だから、あなたがたは実によって彼らを見分けなければならない。わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天にいますわたしの父の御心を行う者だけが入るのである。」*

**申命記 18:20-22** : *「しかし、わたしが命じていないことを、わたしの名によって語る預言者、あるいは他の神々の名によって語る預言者は、死ななければならない。もしあなたが心の中で、 『主が語られたのではない言葉を、どうして知ることができようか』と言うなら、預言者が主の名によって語ったことが実現せず、実現しないなら、それは主が語られたことではなく、預言者が傲慢に語ったことである。あなたは彼を恐れてはならない。」*

あなた方は彼らを、油注ぎ、成果、説教の生産性、証明された性格、純粋さ、そして積極性といった実によって知るべきです。

**コミュニケーション**

**エペソ人への手紙 4:15** : *「愛をもって真理を語り、あらゆる点で、頭であるキリストにまで成長しなさい。」*

**マルコ 16:20** : *「そして、彼らは出て行って、至る所で宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、御言葉を実証し、それに続くしるしも現れた。アーメン。」*

をもって真実を語り、命を与えるような方法で真実を伝えなさい。

**成熟**

**ジェームズ 3:17** : *「しかし、上から来る知恵は、第一に純粋であり、次に平和で、柔和で、寛容であり、あわれみと良い実に満ち、偏見や偽善がありません。」*

ためには、成熟している必要があります。これには、キリストのような性格、聖霊の実の証拠、信頼性（約束を守ること）、そして忍耐力が含まれます。

**エペソ人への手紙 4:14** : *「私たちは、もはや子供ではなくなり、人々の策略や欺く悪巧みによって、さまざまな教えの風に吹きまわされたり、もてあそばれたりすることがなくなります。 」*

**エペソ人への手紙 5:14** : *「それゆえ、神はこう言われます。 『眠っている者よ、目を覚ませ。死人の中から起き上がれ。そうすれば、キリストがあなたを光で照らされるであろう。』」*

**方法**

**テトス 1:16** : *「彼らは、神を知っていると公言しますが、行いにおいては神を否定しています。忌まわしい者であり、不従順な者であり、あらゆる良い働きに対して失格者です。」*

**ローマ人への手紙 1:18** : *「というのは、不義をもって真理を守ろうとする人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。」*

牧師は厳格に正義を貫き、倫理的で、正直で、誠実であるべきです。不正直であったり、人を操ったりしてはなりません。良い結果が出たからといって、非聖書的な方法が正当化されるわけではありません。

**エチケット**

**テトス1:7** : *「監督は、神の管理人として、非難されるところのない者でなければなりません。わがままを言わず、すぐに怒らず、酒に溺れず、殴打せず、不道徳な利得にふけらず。」*

**テトス 3:1-2** : *「彼らに、支配や権威に服従し、役人に聞き従い、あらゆる善行に備え、だれの悪口も言わず、争いをせず、柔和で、すべての人に柔和な心を示すように勧めなさい。 」*

**エペソ人への手紙 4:9** : *「彼が昇られたのは、まず地の低い所に下られたからでなくて何でしょう。」*

**エペソ人への手紙 5:4** : *「汚れた言葉や、愚かな話や、冗談はよくありません。むしろ感謝しなさい。」*

預言の賜物を持つ人は、無私で、礼儀正しく、親切で、紳士的で、思慮深くあるべきです。

**富**

**1テモテ3:6** : *「初心者であってはなりません。高慢になって、悪魔の裁きを受けることのないためです。」*

**1テモテ6:10** : *「金銭を愛することはすべての悪の根です。ある人たちは金銭をむさぼり求めて、信仰から迷い出て、多くの悲しみをもって自分を刺し通しました。」*

**1テモテ6:17** : *「この世で富んでいる人たちに戒めなさい。高慢な思いを抱かず、不確かな富に頼らず、すべてのものを豊かに与えて楽しませてくださる生ける神に頼りなさい。」*

大臣は富を欲しがったり、それを得るために非倫理的な行為に従事したりすべきではない。

**道徳**

**コロサイ 3:5** : *「ですから、地上にあるあなた方の肢体、すなわち、不品行、汚れ、好色、悪い情欲、また貪欲、すなわち偶像礼拝を殺しなさい。」*

**コリント人への第一の手紙 6:9-10** : *「不義な者は神の国を受け継がないことを、知らないのですか。惑わされてはいけません。不品行な者、偶像を拝む者、姦淫する者、男色をする者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、ののしる者、ゆすり取る者は、いずれも神の国を受け継ぐことはありません。」*

**コリント人への第一の手紙 6:18** : *「不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外に起ります。しかし、不品行を犯す者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。」*

**マタイ5:28** : *「しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫を犯したのです。」*

牧師は、考えと行動において聖書の性的貞潔の基準を守り、貞潔で名誉ある関係を維持すべきである。

**動機**

**マタイ6:1** : *「人に見せようとして、人前で施しをしないように気をつけなさい。そうしないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられなくなります。」*

**コリント人への第一の手紙 13:1-3** : *「たとい、私が人々の言語や天使の言語を語っても、愛がなければ、やかましい鐘やうるさいシンバルと同じです。また、たとえ預言の賜物を持ち、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、また、山を動かすほどの強い信仰を持っていても、愛がなければ、私は無に等しいのです。また、たとえ私が自分の持ち物を全部施して貧しい人々に食べさせ、また、たとえ私の体を焼かれるために渡しても、愛がなければ、私は何の役にも立ちません。」*

神のために何かをする前に、自分の動機を調べてください。あなたは注目されるために奉仕していますか、それとも奉仕するという真の動機から奉仕していますか。啓示を明らかにするのは、人に聞かせるためですか、それとも神を讃えるためですか。あなたの行動が、権力、名声、または認知への欲望ではなく、神の愛によって動機づけられていることを確かめてください。

# 第9章励まし役になる

**真の預言者の心**

神は私たちが励まし手、つまり啓発、勧告、慰めの言葉を通して他の人を励ます人になることを望んでおられます。これが預言者としての働きの中心的な側面です。

**1コリント14:3-5** : 「しかし、*預言する者は 異言を語る者は自分の徳を高め、勧め、慰めを与えます。異言を語る者は自分の徳を高め、預言する者は自分の徳を高めます。 教会の徳を高めます。あなたがたはみな異言を語ることを望みますが、それよりも預言する方がよいのです。異言を語る者よりも預言する者の方が偉大です。異言を解釈して教会の徳を高めなければ、なおさらです。*

**コリント人への第一の手紙 14:12** : *「同じように、あなたがたも、御霊の賜物に熱心なのであれば、教会の徳を高めるために、それがさらに豊かになるように努めなさい。」*

**1コリント14:26** : *「兄弟たちよ。では、どうですか。あなたがたが集まるときには、それぞれ賛美歌を歌い、教えを語り、異言を語り、啓示を語り、解き明かしをするのです。すべては徳を高めるためにしなさい。」*

**コリント人への第一の手紙 14:31** : *「あなたがたはみな、ひとりずつ預言しなさい。それは、すべての人が学び、すべての人が慰められるためです。」*

**エペソ人への手紙 4:29** : *「あなたたちの口から悪い言葉を一つも出さないようにしなさい。むしろ、聞く人に恵みを与えるために、人の徳を高めるのに役立つ良い言葉を語りなさい。」*

**あなたは奨励者ですか、それとも批評家ですか?**

他人を励ますのが上手な人は、個人、社会、教会、グループの良い点を見ることができます。一方、批判的な人は欠点、失敗、問題に焦点を当てます。励まし合う人は、人々を元気づけ、鼓舞し、人々が自信と幸福を感じられる環境を作ります。一方、批判的な人は、否定的な雰囲気を作り出し、他の人を防御的かつ緊張させます。

励ましを与える人は、不幸な知らせを伝えるときでも、元気づける言葉を使います。彼らは巧みに誤りを正し、あなたがより良い人間になったように感じさせます。箴言 10:11 にあるように、 *「彼らの口は命の泉である」。*

対照的に、批判する人は皮肉を言うことが多く、他人をけなすことで自分が優れているように見せようとします。彼らの言葉は剣で突き刺すようなもので、傷つけることがあります（箴言 12:18）。批判する人は否定的な感情を引き出し、励まし合う人は他人の長所を引き出します。

**互いに築き上げることは神から与えられた責任である**

**ローマ人への手紙 14:19** : *「ですから、私たちは平和に役立つこと、互いの徳を高めることを追い求めましょう。」*

**コリント人への第二の手紙 12:19** : *「また、あなたがたは、私たちがあなたがたに対して弁解していると思っているのですか。私たちは、キリストにおいて神の御前に話しているのです。愛する者たちよ。私たちは、すべてのことをあなたがたの徳を高めるためにしているのです。」*

**ローマ人への手紙 15:2** : *「私たちはみな、隣人を喜ばせ、その益を図って、その徳を高めなさい。」*

**使徒行伝 20:32** : *「兄弟たちよ、今、私はあなたがたを神とその恵みの言葉にゆだねます。その恵みは、あなたたちを築き上げ、聖別されたすべての人々と共に、あなたたちに財産を与えることができます。」*

神の言葉は預言と同じように私たちを築き上げます。異言を話すことは自分自身を築き上げますが、預言は教会を築き上げます（コリント人への第一の手紙 14:4）。異言と解釈は教会を築き上げ、愛は他人の善を求めることによって他人を築き上げます（コリント人への第一の手紙 8:1）。

**励ましの精神の鍵**

聖霊は、非難や告発、裁きの言葉ですぐに個人を攻撃することはありません。その代わりに、私たちは神の道に精通する必要があります。

**ローマ人への手紙 2:4** : *「それとも、神の慈しみがあなたを悔い改めに導くことを知らないで、神の慈しみと寛容と寛容の豊かさを軽んじているのですか。」*

神は私たちに悔い改める機会を与え、私たちが何者になれるかをしばしば予言します。独立心が強く、頑固で、批判的な教会員には、しばしば素晴らしい励ましの言葉がかけられます。神はこう言われます。「もしあなたが邪悪な道から離れるなら、わたしはあなたと共に、そしてあなたを通して、次のことができる。」

神が私たちに明らかにされた事柄だけを語り、私たち自身の解釈を加えないことが不可欠です。不正確な解釈は多くの偽りの預言の原因となります。個人的な預言を語るときは、いくつかの啓示を自分自身の内に留め、慎重さと成熟さを働かせなければなりません。

**ルカ2:19** : *「しかしマリアはこれらのことをすべて心に留めて、思いを巡らしていた。」*

愛は最初の実りであり、知恵は最初に与えられた賜物です。神の真の預言者の適切な精神は、回復、癒し、励まし、そして動機付けをもたらさなければなりません。

悲観的な仮定を、希望を与える明るく励みになる言葉に変えてください。聖霊は、愛、喜び、平和、優しさ、忍耐、善良さ、誠実さ、柔和さ、自制心を体現する、私たちの弁護者、仲介者、助け手です。

**ガラテヤ人への手紙 5:22** : *「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、誠実です。」*

# 第10章預言的な奉仕を築く

使徒と預言者は、神の家を建てる礎石としての役割を果たします。

**エペソ人への手紙 2:20** : *「そして、使徒と預言者という土台の上に建てられ、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石です。」*

預言の働きを通して、預言者は人々にそれぞれの賜物と召命を与えます。彼らは放浪者が自分の居場所を見つけるのを助け、人々に新しい命を吹き込み、彼らが恐れを克服するように励まします。預言者は教会にビジョンを与え、牧師が教会に対して抱くビジョンを確認します。

**年齢を問わず電話を受ける**

人はどんな年齢でも召命を受ける可能性があります。モーセは80歳、アブラハムは75歳、アロンは83歳でした。若いサムエルは子供だったときに召命を受けました。エレミヤは生まれる前から聖職に就いており、洗礼者ヨハネとイサクの誕生は彼らが受胎する前から預言されていました。

五重の大臣になることは、無作為に選べるものではありません。

**コリント人への第一の手紙 14:1** : *「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物を求めなさい。しかし、預言する賜物を求めなさい。」*

**エペソ人への手紙 4:7-11** : *「しかし、私たちはみな、キリストの賜物の量りに従って、恵みを与えられています。それで、神はこう言われます。 『高い所に昇られたとき、捕囚の民を捕囚として連れて行き、人々に賜物をお与えになった。』 昇られたとは、まず地の低い所に下られたということではないでしょう。下られた方は、すべてのものを満たすために、すべての天よりも高く上られた方です。』 そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師、教師としてお立てになりました。」*

人は一つの役職に就き、その後、良い働きをすれば別の役職に昇進することができます。もし断ったらどうなるでしょうか。ヨナが拒否すると海に嵐が起こり、神の召命に従わなかった場合の結果が明らかになりました。

**エレミヤ書 7:13** : *「主は言われる。『あなたたちはこれらのすべてのわざを行った。わたしは朝早く起きてあなたたちに語ったが、あなたたちは聞かなかった。わたしはあなたたちを呼んだが、あなたたちは答えなかった。』」*

**マタイ 22:3** : *「そして、イエスは僕たちを遣わして、婚宴に招かれていた人々を呼びに行かせたが、彼らは来ようとしなかった。」*

神の召命に従うまで、私たちは決して幸せにはなれません。あなたの賜物や召命は実り多いものです。伝道者はしばしば伝道者を生み出しますが、同じことは五重の聖職者全員に当てはまります。癒しの賜物に従って歩むことは、癒しの心を持つ他の人々を鼓舞し、預言に従って歩むことは、預言するように他の人々を鼓舞します。

**預言者の精神**

チームワークは真の奉仕の強みです。

**使徒行伝 13:1** : *「アンティオキアの教会には、預言者や教師がいた。バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデのもとで育ったマナエン、そしてサウロである。彼らが主に仕え、断食していると、聖霊がこう言われた。『バルナバとサウロを、わたしが召した働きのためにわたしのために分けなさい。』 」*

**使徒行伝 15:32** : *「ユダとシラスも預言者であったので、兄弟たちを多くの言葉で励まし、力づけた。」*

1. 彼らはチームワークを信じてリーダーを交代し、全員が交代で風の矢面に立たされます。
2. 彼らは混乱に対処できる人を選びます。

**箴言 18:16** : *「人の賜物はその人に場所を与え、その人を偉大な人々の前に導く。」*

**預言者の準備**

実際の解雇と召命には違いがあります。準備に費やす時間は楽ではありません。この間、神は心の中の思いや感情を扱い、人格を洗練させます。油注ぎは人格に授けられるのであって、肩書きに授けられるのではありません。間違った理由による昇進は神からのものではなく、神の油注ぎを伴うものではありません。

**コリント人への第二の手紙 10:12** : *「私たちは、自分をほめ称える人たちと比べたり、その仲間入りをしたりすることを敢えてしません。しかし、彼らは互いに自分を量ったり、互いに比べたりしますが、それは賢明ではありません。」*

**預言者の訓練**

預言者の訓練方法は様々です。様々な背景を持つ人々が、預言者になるという呼びかけに応じます。牧師、教師、農業、案内係などの役割を担ってきた人もいれば、隠れていたり学校で発見されたりした人もいるでしょう。

**訓練中の預言者を認識する**

1. **神は彼らを隠す**: エリヤが宣教を始めた後、神は彼に隠れるように指示しました。神は個人を準備したり保護したりするために彼らを隠すことがあります。

**列王記上 18:4** : *「イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、オバデヤは百人の預言者を連れて行き、彼らを五十人ずつ洞窟に隠し、パンと水を与えて養った。」*

**ヨシュア記 2:4** : *「女は二人の男を連れて隠し、こう言った。『人々が私のところに来ましたが、どこから来たのか分かりませんでした。』」*

**マタイ 2:13** : *「彼らが立ち去った後、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。『立って、幼子とその母親を連れてエジプトに逃げなさい。そして、わたしが告げるまでそこにいなさい。ヘロデがその幼子を捜して殺そうとしているからである。』」*

このブートキャンプの経験は、次のような点で役立ちます。

* + 生まれつきの才能に頼るのをやめましょう。
	+ 励ましやサポートを他人に頼るのはやめましょう。
	+ 成長に影響を与える可能性のある管理や政治的圧力を避けてください。
	+ 彼らの源、供給者、そして保護者としての神と契約または同盟を結びます。
1. **預言の一貫した実践**: 教会のほとんどの人は時折預言しますが、長期にわたって一貫して預言する人だけが預言の務めを果たします。
2. **預言の結果**: 人生を変え、会衆に神の存在をもたらす預言は、預言の賜物の指標です。
3. **賜物を喚起する能力**: 預言者は必要に応じてその能力を使用し、主の言葉を知らせる方法を知っています。

**列王記下 3:15** : *「しかし今、わたしのために琴を奏でる者を連れて来なさい。琴を奏でる者が琴を奏したとき、主の御手が彼の上に臨んだ。」*

1. **真の啓示の賜物**: 預言者の職務には通常、一貫した啓示、神秘、神の計画、特定の事柄の周知が含まれます。

真の預言者は、謎や神の計画を明らかにし、古い真実を明らかにします。しかし、預言者が完全に明らかになるには時間がかかります。

# 第11章：デュナミス・パワー

私たちは預言の働きに関わる中核的な価値観と基本原則への道を切り開き始めました。この時点で、私たちはさらに深く探求し、より多くの啓示を得るとともに、賜物の力を増大させています。

癒しの 4 つの段階についてお話ししたいと思います。過去 3 年間、私は奇跡と癒しに取り組み始めました。その旅は冒険ではありましたが、実際には巡礼のようなものでした。それは、イエスの使命と神の王国の解放のために争い、戦うことでした。私が癒しのプロセスと、神からのデュナミスの力の奇跡的な解放に関与するようになった経緯をお話しします。

**治癒の段階**

**信仰の言葉**

奇跡が解き放たれるのを目にする最初の場所は、信仰の言葉を通してです。それは癒しをもたらす言葉です。この段階では、癒しについて聖書が語っていることをすべて教えることが含まれます。神の癒しに関する説教と指導も含まれます。それは私たちが「信仰の言葉」と呼んでいるものです。

救いを説けば、人々は救われます。同様に、癒しを説けば、人々は良くなります。しるしと不思議は、神がご自身の言葉を実証する方法です。人々が癒されるのを見るには、奇跡と癒しについて聖書に書かれていることを最初から最後まですべて教える必要があります。それが癒しの過程の 1 つの段階です。

**信仰の祈り**

治癒プロセスの 2 番目の側面は、「信仰の祈り」です。これは、あなたと患者が互いに信仰を持つ場所です。信仰をもって患者のため祈り、患者に油を塗り、患者に手を置き、神が約束したことが成されるように祈れば、患者は治癒します。

その結果、私たちは多くの奇跡を目撃します。しかし、多くの牧師は、「説教し、信仰の祈りを捧げているにもかかわらず、奇跡や治癒をほんの少ししか見たことがない」と言うかもしれません。これは挑戦となる可能性があり、神の存在へのより深い信頼につながります。

**デュナミスパワーの役割**

私の奉仕活動中、ジャック・コーの奉仕活動を通して神はご自身を現されました。ジャック・コーは、神のデュナミスの力によって、一晩で 126 台の車椅子を空にしました。ジャック・コーは、単に教えたり病人に手を置くこととは別の、癒しの油注ぎの重要性を理解していました。その力はデュナミスから来るものであり、この美徳を持つことは不可欠です。

奇跡を起こす賜物があれば、どんなテーマでも説教することができ、人々は癒されます。奇跡を起こすための油注ぎは、プログラムの組織を超越します。その力の手綱を緩めましょう。そうすれば、奇跡が起こります。私たちではなく、イエス様が中心であることを覚えておくことが重要です。聖霊と協力することが大切なのです。

私はいつでも、癒しの波の中に入り込み、変化することができます。時には、礼拝を奇跡へと移行させるか、説教を控えるかの許可を神に求める必要があります。この識別力は、神の導きに従うために不可欠です。

**知識の言葉**

3 番目で最後のレベルである「知識の言葉」について簡単に説明させてください。これは、イザヤ書第 11 章に記されている知識の木の 3 番目のレベルを表しています。イエスは助言と力の両方のレベルで奉仕しました。助言は力の源であり、力の精神をもたらします。これは、癒しと助言の両方である癒しのプロセスの 3 番目で最後の段階につながります。イエスは、父がなさっているのを観察したこと以外、何もしませんでした。

イエスは、父が語っているのを聞いた以外のことは決して口にしませんでした。父とのこの親密な関係が、イエスの奇跡的な働きの基盤でした。イエスは山に登って、「私が行って奇跡を行う前に、今日の奇跡を見せてください」と祈ったことがありました。神の洞察を受けた後、イエスは出かけて行って、以前天で見てきたことをただ話しました。助言の霊は力の霊を伴い、神の力を利用できるようにしました。

**信仰と癒しの力**

私たちが経験した最も深い癒しのいくつかは、信仰の祈りと、癒しについて聖書が語っていることを教えることによってもたらされました。これらの自然治癒は、神の教えと組み合わされた信仰の力を示しています。しかし、私は、他の人に信仰を持つよう説得することに依存しない、さらに高いレベルの癒しの力を求めました。この望みが、癒しの油注ぎと知識の言葉が作用する力の領域へと私を導きました。

礼拝の前に、私は神に祈り、奇跡を見せてくださるようお願いしました。私は霊に身を任せ、幻を見たり、トランス状態になったり、名前を聞いたり、病気を見たりしました。目的は、神が集会で何を成し遂げたいのかを理解し、その力が訪れたときにそれに応じて行動することでした。この方法により、癒しの油注ぎがより自由に流れるようになりました。

**奇跡における信仰の役割**

イエスの宣教活動の中で、イエスが人々に「わたしにこれができると信じますか」と尋ねたり、「あなたの信仰どおりにそうなるように」と言われた場面がよく見られます。マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネに記録されている多くの奇跡において、信仰は重要な役割を果たしました。ほとんどすべての記述において、神は奇跡を可能にした信者の信仰を称賛しています。

しかし、別の次元として、「主の治癒の力が存在した」というものがあります。デュナミスと呼ばれるこの力は、信仰と治癒の通常の力学を超越しています。たとえば、人々がイエスの衣の裾に触れると、治癒の原則に従っているかどうかに関係なく、彼らは治癒しました。ペテロの影には、触れた人々を治癒する力がありました。

**教育と権力の必要性**

神の民に信仰を植え付け、神の癒しと神の約束について聖書が語っていることを教える時と場所があります。これには、癒しの基本と神の癒しの力を妨げるものについて教えることが含まれます。信仰の祈りと油注ぎが必要です。しかし、それ以上に、油注ぎと助言の霊に頼って奇跡を起こすデュナミスの力が必要です。

**権力対権威**

教会は、権威を持って歩む方法と、その権威がどのようにして癒しの油注ぎと癒しの力をもたらすことができるかを教えられる必要があります。使徒行伝 1:8 には、「聖霊があなたに臨むと、あなたは力を受ける」とあります。この力、デュナミスは、ダイナミックで奇跡を起こす力、大きな強さ、不可能を可能にする能力を意味します。

デュナミスは非常に陽気な性格で、神の前に立ち入るのと同じような個人的な体験を強調します。デュナミスの中にいるとき、またはその力を目撃したときはいつでも、何時間もエネルギーがみなぎります。聖霊が私たちに降りてくるとき、私たちはこのダイナミックな力にアクセスできます。

**使徒行伝 2:4** : *「そして、彼らはみな聖霊に満たされ、聖霊が話させてくださるとおりに、他国の言葉で話し始めた。」*

**使徒行伝 4:31** : *「彼らが祈りを終えると、彼らの集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされ、大胆に神の言葉を語り続けた。」*

聖霊に満たされる経験は、私たちにデュナミスのダイナミックな力へのアクセスを与え、奇跡を起こして神の王国を広める力を与えてくれます。

使徒行伝全体を通して、使徒たちは聖霊に満たされていました。使徒パウロでさえ、信者たちに「満たされる」ように勧めています。これは、神の力と定期的に出会うことを意味します。権威に忠実であることは、人生において癒しの力と癒しの油注ぎを受けるための鍵です。

**権威と権力**

**マタイ 10:1** : *「そこで、イエスは十二弟子を呼び寄せて、権威をお与えになった。」*ここでの「権威」とは権威を意味します。イエスは彼らに、汚れた霊を支配し、追い出し、あらゆる病気や病を治す権威を行使する権利、許可、委任、指示を与えました。

彼らがこの権威を行使し始めると、神は彼らに福音を宣べ伝え、病人を癒し、らい病人を清め、死者を蘇らせ、悪霊を追い出すように指示しました。彼らはこれらの業を行う権威と権利を与えられ、その力で活動し始めました。

**リーチの拡大**

**ルカ10:1** : *「その後、主はほかに七十人を選び、これから行こうとしているすべての町や村に、二人ずつ先に遣わされた。」*

イエスは、十二使徒に与えたのと同じ権威を七十人にも与えました。この権威は拡大を続け、120人、3000人、さらにそれ以上にまで達しました。**使徒行伝 1:8** : *「しかし、聖霊があなたがたに臨むと、あなたがたは力を受け、わたしの証人となるでしょう。」*このデュナミスの力は、奇跡的な出来事、しるし、不思議によって特徴づけられました。

**ペテロの例**

**使徒行伝 5 章**: *「彼らは病人を道端の病院のベッドに寝かせた。ペテロが通り過ぎると、癒す力と油注ぎの力を持っていたので、道端やその付近の病人は皆癒された。」*

この力は選ばれた少数の人に限定されたものではなく、すべての信者に与えられました。それは福音を宣べ伝え、病人を癒し、らい病人を清め、死者をよみがえらせ、悪霊を追い出すためのものでした。

**大宣教命令**

大宣教命令には、イエスが遂行した奉仕をすべての信者の心と精神に解き放つことが含まれます。これは、聖書の最初の節から最後の節まで、常にすべての人とすべてのものに関するものでした。聖徒たちが奉仕の働きのために解放され、神から与えられた力と権威に従って歩むことが常に重要でした。

**権限の行使**

70人の弟子たちは与えられた権威を行使し、喜びながら戻ってきてこう言いました*。「主よ、あなたの名によって、悪魔さえも私たちに従います。」*イエスはこう答えました。 *「私はサタンが稲妻のように素早く天から落ちるのを見ていました。」*天からある程度の力が降りてきて、天の領域を変えました。

**ルカ10:19** : *「見よ、わたしはあなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を与えた。また、あなたがたに害を及ぼすものは何一つない。」*

この力は権威の表現であり、信者はこれによって悪魔の力や支配力を服従させ、踏みにじることができます。これは単に悪霊を追い払う以上の意味を持ちます。それは神から与えられた権威を行使して、地上に神の意志をもたらすことです。

**要点**

* **権威に対する忠実さ**: 権威に対する忠実さは、癒しの力と油注ぎにつながります。
* **権威の拡大**: 十二使徒に与えられた権威は七十人に拡大され、その後さらに多くの人に与えられました。
* **大宣教命令**：すべての信者は福音を宣べ伝え、奇跡を起こすよう召されています。
* **権威の行使**: 神の意志を成就するためには権威と力を行使しなければなりません。

霊的な権威を得るには、土地を奪い、要塞を踏みつけ、支配下に置くことが必要です。**ルカ 10:19**には、 *「見よ、わたしは、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威をあなたたちに与えた。そうすれば、あなたたちに害を及ぼすものは何一つないだろう」とあります。*

この力は悪魔に対してだけではなく、君主や要塞、つまり都市や地域全体を支配する悪魔の君主に対しても与えられます。イエスが「私はあなた方に力を与える」と言ったとき、それはイエスの指示を従順に実行した者たちに対してでした。彼らは従順さを通して霊的な権威を増し、その結果、イエスは彼らに敵対者に対してより大きな力を与えました。

**権威を持って歩く**

目覚めたいと願っていたとき、私は治癒に熱中していました。私は、神の王国は言葉だけでなく行為の中にも見出されるという力ある伝道を信じていました。それは権威の地位から始まりました。

**マタイ10:1** : *「そこで、イエスは十二人の弟子を呼び寄せて、汚れた霊を追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒す権威を彼らにお与えになった。」*

私に与えられたのは、権利、許可、神の言葉、そして病人に手を置くという使命だけでした。そうすれば病人は回復するでしょう。私は、許すことと同じくらい、癒すことも神の意志であると信じていました。私は聖書が癒しについて語っていることに没頭しました。私はまだデュナミスの力に従って歩んではいませんでしたが、癒しの油注ぎを求めました。

**忠実さと忍耐**

私は自分の権限の範囲内で行動し、人々のために祈り、病人に手を置き始めました。たとえ最初は誰も癒されなかったとしても、私には権限と権利と委任があり、聖書が何を言っているかを知っていたので、続けました。

神から与えられた権威を行使し始めると、その結果に驚くかもしれません。**サムエル記上 16:13** : *「サムエルは油の角を取って、兄弟たちの中でダビデに油を注いだ。その日から主の霊がダビデに臨んだ。」*

ダビデは荒野で忠実であり続け、従者たちを戦いのために訓練しました。同様に、あなたが持っている権威に忠実であれば、神はあなたを高く上げてくださいます。

**奇跡を起こす環境を作る**

奇跡を見るには、奇跡が起こりやすい環境を作らなければなりません。これは、ときどき癒しの儀式を行うことではなく、聖霊が常にしるしと不思議を伴って来られるよう、場所を作ることです。

**マルコ 16:20** : *「そして、彼らは出て行って、至る所で宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、御言葉を実証し、それに続くしるしを示された。アーメン。」*

**イエスに焦点を当て続ける**

最中も、イエスに集中し続けてください。たとえその話題が奇跡に直接関係していなくても、あらゆる宣教の機会には、人々が癒される余地がなければなりません。

神は忠実です。それは私のことではなく、神への渇望とイエスへの愛についてです。私は神が私に与えてくださった権威で、神が望むことをできると信じていました。聖書の原則を適用し、積極的に信仰を持つことで、私の人生に神の力が解き放たれるのを見ました。

**結論**

ある日、神は私にこう言いました。「今、私は力を解き放つ。そして、あなたがその力を手にしたら、あなたは決して同じではなくなるだろう。」この変革の瞬間は、神が私たちに与えてくださった権威に忠実であることの重要性を強調し、神の力のより大きな解放につながります。

# 第12章: 油注ぎを増やす

**親密さ**！親密さというテーマは、最近ほとんどすべての人の心に浮かんでいるようですが、それは依然として議論すべき重要な主題です。神とのつながりは、私たちと、私たちを通して現れる神の王国を例証するあらゆるものとの間のつながりです。神とのこの親密さには永遠の意義と栄光があります。私たちが神と親密な個人的な関係でつながっているとき、つまり私たちが神の友人であるとき、神の油注ぎが自然に私たちを通して流れるだけでなく、それはより強くなります。この章では、あなたに与えられた油注ぎを増し加える方法についてお話ししたいと思います。

油注ぎの中を歩み、その増加を経験することは、すべての人に意図されています。それは不自然であったり、普通ではないことではありません。神の油注ぎの中を歩み、その油注ぎの増加を経験するための第一歩は、私たちの心の本当の状態を発見することです。まず、私たちの心が本当はどこにあるのかを見つけましょう。

**心と行動の葛藤**

時々、私たちの心にあることと、私たちが考えること、そして私たちが取る行動との間に矛盾が生じます。私たちの心は一つのことを言っているかもしれませんが、私たちの行動はまったく異なる意味を指し示しているかもしれません。例えば、雅歌のシュラムの花嫁について考えてみましょう。彼女は、人生の愛する人がノックしてきたときにベッドから起き上がってドアを開け、彼を迎えるのが非常に面倒だと感じました。

**雅歌 5:3** : *「わたしは上着を脱いだ。どうして着ることができようか。わたしは足を洗った。どうしてそれを汚すことができようか。」*

表面上、彼女の態度は、

**雅歌 5:2** : *「私は眠っているが、私の心は目覚めている。私の愛する人の声が戸をたたいて言う。『わが妹、わが愛する者、わが鳩、わが汚れなき者よ、開けてください。私の頭は露で満たされ、私の髪は夜のしずくで濡れているからです。』」*

しかし、もっと重要なことが明るみに出なければなりませんでした。それは花嫁の心を試すテストでした。このテストの結果、彼女は情熱的な恋人のように反応しなかったため、愛を失ってしまいました。彼女の洞察力と注意力の欠如はすぐに彼をうんざりさせ、彼は去ってしまいました。

**神との関係を検証する**

花嫁が愛する人に対して無関心であることは、考えたくはないけれど、私たちの中の一部の人の振る舞いを反映しています。ですから、正直に考えてみましょう。私たちは神とどれほど親密な関係にあるのでしょうか。神は本当に私たちの友人なのでしょうか。私たちは神だけを渇望しているのでしょうか。神との真の親密さは、油注ぎの中を歩み、祝福を増やすための不可欠な基礎要素です。

**神への渇望を育む**

皆さんの多くは、神が私に与えてくださったあらゆることの鍵は、神への渇望と油注ぎへの渇望から来ることをすでにご存じです。私は、神に仕えるために十分に備えられるよう、神が私のために用意してくださったすべてのものを受け取り、反映させたいのです。だからこそ、私は神と神が与えてくださるものに対して貪欲な渇望を持つことの重要性を強調するのです。渇望は、私たちの中にある神の力と油注ぎを解き放つための重要な要素なのです。

聖霊が私を訪れて話しかけてくださるとき、まるで生きている人が部屋にいるように感じます。私たちの友情はかけがえのない、かけがえのないものです。神との親密な友情を育むことは、油注ぎと増加の働きにおけるもう一つの基本的な要素です。

**学びと祈りの役割**

聖霊の洗礼を受け、異言を話し、聖霊の賜物によって働いたにもかかわらず、聖霊を渇望するまで、私は聖霊を個人的な友人として知ったことはありませんでした。私は聖霊について、そして聖霊の復活の力について学ぶ旅に出ていました。弟子はイエスに言いました。 *「イエス様、私はあなたのようになりたいです！」*私の心は、聖霊の御前にいて神の偉大な力を体験したいという願いで燃え上がりました。

私が最初に始めたとき、主は私にこう語りかけました。 *「ビル、もし彼らが得たものを得るために行ったことをあなたが行うなら、私がこれまでにどんな男性や女性、あるいはどんなミニストリーにも与えたどんな油注ぎでもあなたに与えることができる。」*これが、私が彼らの戦略を研究し、彼らの経験から学ぶきっかけとなりました。

**エヴァン・ロバーツの例**

神がウェールズのリバイバルに火をつけるために用いたエヴァン・ロバーツのことを考えてみましょう。聖霊は彼を午前 1 時に起こし、彼は 4 時か 5 時まで祈りました。その後、彼は 9 時頃に起きて午後 3 時まで祈りました。神がその強力なリバイバルを解き放つまで、この状態が数年間続きました。この熱心な祈りの生活は、神が彼を牧師として準備する上で重要な要素でした。

**さらなる聖化への渇望**

油注がれた男女の生涯を研究するうちに、私は彼らの上に「増加」と呼ばれる油注ぎがあることに気が付きました。これらの人々の上には、今日多くの人々には見られない神の力のようなものがありました。このため、私はその力の増加、つまり油注ぎのより大きな部分を渇望するようになりました。

神が私を形作るために働かれるにつれ、私の見方は変わり始めました。エヴァン・ロバーツが毎日 8 時間祈るなら、私も長時間祈るべきだと思いました。聖霊の油注ぎを私の人生に与えるために必要な代価は何でも払うと心に決めました。心の奥底で、私は「何があろうとも、どんなに費用がかかっても、神の栄光のために自分の命を捧げる覚悟がある」と決意しました。

私は、どんな犠牲を払っても聖霊に満たされ、聖霊に油を注がれることを決意しました。この決意により、私は努力して油注ぎを増すことに集中するようになりました。初めのうちは、油注ぎを祈りながら頻繁に時計をチェックし、数分以内に祈る話題が尽きていました。しかし、聖霊との交わりと親交を優先することにしました。その後の 30 分間は、ただ神を愛し、神を抱きしめ、神の御前にいました。30 分ではなく 6 時間のように感じました。

**聖霊との出会いを求めて**

全身全霊で主を追い求め、求め、捜そうと決心しました。聖霊との交わりのために毎日時間を取ることを習慣にしました。私の人生と奉仕の両方において、神の油注ぎと力のより高い臨在を望みました。本当に重要なことは、歴史を通じて国々を揺るがすために神が油注ぎした他の男女に宿る神の霊の油注ぎに対して、私が聖なる形の嫉妬心を育てていたことです。

**聖なる嫉妬と献身**

油注ぎと増加の中を歩みたいと願うなら、聖なる嫉妬は必要な基礎要素です。私は聖霊を体験するために、他のすべてを脇に置くことを決意しました。私たちは人間関係と信仰を維持することを優先する生き方が必要ですが、増加も必要です。

**油注ぎを維持し、増やす**

神が私たちの生活や奉仕の中でなさっていることのレベルは、私たちによって維持、維持、または向上されるものではありません。時々 、モーターを分解して徹底的に点検し、必要な修理を行う必要があります。自動操縦で動けばいいというものではありません。改修後は、しばしば「最高の状態で動いていたときのような感じだ」と言いながら、新たな気持ちでリフレッシュした気分になります。

祈りに費やす時間の長さだけでなく、善良な心を持ち、飢え渇き、神の前に立つ努力をすることも重要です。まるで神が私たちを真剣に改造したいと望んでいるかのようです。神は私たちが引き続き善行を続けながら、同時に私たちの油注ぎの度合いを高めてほしいと願っておられます。

**聖霊の注ぎを経験する**

神が私たちに約束してくださった油注ぎと増加の中を歩めるように、神が私たちを導いてくださる輝かしい旅に、さらに深く踏み込んでいきましょう。私たちが神の力の中を歩み、より大きな油注ぎの注ぎを経験するなら、ペンテコステの日に弟子たちが受けた聖霊の注ぎもまた私たちのものです。私たちは聖霊の洗礼で輝き、巨大な基礎の柱に火をつける必要があります。

**洗礼者ヨハネの黙示録**

洗礼者ヨハネは、神の御前に長い時間を過ごした後、啓示を受けました。彼は火を伴う聖霊の洗礼が来ることを知っていました。

**マタイ 3:11** : *「わたしは悔改めのために水であなたたちにバプテスマを授けている。しかし、わたしのあとに来られる方はわたしよりも力のある方で、わたしはその方の履物を脱ぐ値打ちもない。その方は、聖霊と火であなたたちにバプテスマをお授けになるであろう。」*

使徒行伝の最初の数章を研究すると、エルサレムにリバイバルが起こる前にペンテコステが起こったことがわかります。その偉大な日に、神は、上階の部屋で突破口を求めて押し寄せた約 120 人の信者に聖霊を注ぎました。聖霊は上階の部屋を満たし、突然の「激しい嵐の突風」に例えられました。その後、舌に似た火が各人に降りかかりました。イエスが言われたとおり、彼らはすぐに聖霊と力に満たされました。

**ルカ 24:49** : *「見よ、わたしは父の約束をあなたがたに送ります。しかし、上から力が与えられるまでは、エルサレムの町にとどまっていなさい。」*

彼らに約束が与えられた後、ペテロが初めて大胆に神のメッセージを宣べ伝え始めたとき、エルサレムの町で復興運動が起こりました。

**使徒行伝 2:41** : *「そこで、イエスの言葉を喜んで受け入れた人々は、バプテスマを受けた。そして、その日のうちに、三千人ほどの人が彼らに加わった。」*

ペテロが説いたメッセージを心の底から受け入れた人は皆救われ、神への熱意を燃やしながら故郷に戻ったことでしょう。リバイバルを見たい、油注ぎの中を歩みたい、その油注ぎが増していくのを見たいなら、私たちはあの二階の部屋で弟子たちがしたように努力する必要があります。同じレベルの成功を達成するには、彼らの戦略を採用する必要があります。

**弟子に倣う**

弟子たちの足跡をたどって、私たちは神に対する貪欲な欲求を持たなければなりません。使徒行伝に記録されているように、彼らが神が彼らになさるようにと命じられたことを絶えず追求することによって、どのように復興運動を継続させたかが分かります。

彼らは*「神様、私たちは諦めません！」と宣言しました*。彼らは屈服せず、神様は彼らにさらなるレベルを与えました。そして彼らは再び屈服せず、神様はまたさらなるレベルを与えました。新約聖書の教会におけるリバイバルの勢いは加速しているように見えました。

しかし、何よりもまず、彼らは聖霊から父の約束を受けるために、急いで二階の部屋に向かいました。彼らはそこへ行くと、神の恵みと天使の助けを経験し、脅迫と迫害を克服し、奇跡、しるし、不思議を行い、大いなる力と恵みをもって歩み、主に対する途方もない畏れを抱かせ、何千人もの人々の救いに貢献しました。

**火を絶やさない**

新約聖書の弟子たちや他の信者たちのようになるためには、聖霊によって私たちの内に火を灯し、その炎を常に保っておく必要があります。

**ルカ12:35** : *「腰帯を締め、ともし火をともしていなさい。」*

あなた方のうち、燃えて輝くランプになりたい人は何人いますか?

**出エジプト記 27:20-21** : *「あなたはイスラエルの人々に命じて、ともしびのためにオリーブの実を砕いた純粋な油を持って来させ、ともしびが常に燃えるようにしなさい。会見の幕屋の垂れ幕の外、すなわち証しの箱の前にある場所で、アロンとその子らは夕から朝まで主の前にこれを立てなければならない。これはイスラエルの人々の代々の永遠の定めとなる。」*

この文脈では、油は聖霊と塗油を表しています。アロンとその息子たちは会見の幕屋で油を監視し、夕方から朝まで途切れることなく神の前に継続的にいることを象徴していました。

**出エジプト記 30:8** : 「アロンは夕方にともしび*をともすとき、その上で香をたかなければならない。それはあなたたちの代々主の前に絶え間なくたたえられる香である。」*

お香は祈りを象徴し、常香は途切れることのない継続的な祈りを意味します。

**絶え間ない祈りとランプの手入れ**

神の御霊による油注ぎは、あなたが絶えず祈り、ランプを大切にする結果としてもたらされます。細部に注意を払わないと、ランプは消えてしまいます。絶えず祈りを捧げることで、油と火が燃え続け、聖霊の光と啓示が輝き続けます。ランプスタンドを大切にすることで、私たちは火と輝きを失うことがなくなります。成長はすぐそこにあります。

**増殖の神**

あなたの信仰と決意がさらに強くなる準備をしてください。あなたはこの勝利を獲得しました！基礎に構成要素を組み込むと、新たな始まりと油注ぎの新たなレベル、そして油注ぎの増加を経験するでしょう。

油注ぎの拡大について考えるとき、神は増殖の神であることを思い出してください。イエスは5,000人を養うためにパンと魚を増やしましたが、12個の籠を満たすほどの残りがありました。

**マタイ14:20** : *「みんなは食べて満腹した。残ったパンくずを集めると十二のかごにいっぱいになった。」*

これは、神がいつも寛大であった多くの方法のうちの、ほんの一例にすぎません。聖書に従って神が何かを回復するたびに、神は譲歩し、祝福を残します。さらに、神は必ず状況を以前の状態に戻し、さらに改善します。神は決して、さらなる恵みを重ねることをやめません。

**箴言 6:31** : *「しかし、もし見つかったら、彼は七倍にして償い、自分の家の財産をすべて与えなければならない。」*

**ダブルポーション**

ここで、イザヤ書とヨブ書のいくつかの聖句を見て、二倍の分量について話したいと思います。さらに、重要な聖句の文脈で、預言者エリヤとエリシャの生涯におけるいくつかの重要な出来事をさらに深く調べ、二倍の油注ぎが実現するために何が必要だったかを調べます。

**イザヤによる預言**

**イザヤ書 61:7** : *「あなたたちは恥辱の代償として二倍の報いを受け、恥辱の代償として彼らの分を喜ぶ。それゆえ、彼らはその土地で二倍の報いを受け、永遠の喜びが彼らにある。」*

名誉は二倍、幸福は二倍、分け前は二倍。これらはすべて当然私たちのものです。なぜなら、キリストが私たちを贖い、私たちが第二の誕生を経験した後、私たちは王なる祭司の一員とみなされるからです。

**イザヤ書 61:6** : *「しかし、あなたたちは主の祭司と呼ばれ、人々はあなたたちを私たちの神の奉仕者と呼ぶ。あなたたちは異邦人の富を食い、その栄光を誇る。」*

**ペテロの手紙一 2:9** : *「しかし、あなたがたは選ばれた種族、王なる祭司、聖なる国民、神の神に属せられた民です。それは、あなたがたを暗闇から驚くべき光の中に招き入れてくださった方の栄光を、あなたがたが宣べ伝えるためです。」*

**ヨブ記 42:10** : *「ヨブが友人のために祈ったとき、主はヨブの捕囚を解き、また主はヨブに以前の二倍のものを与えられた。」*

**エリシャと二倍の分**

**列王記下 2:9** : *「彼らが渡ったとき、エリヤはエリシャに言った。『わたしがあなたから取り去られる前に、あなたのために何をしたらよいか尋ねなさい。』 エリシャは言った。『どうぞ、あなたの霊の二倍をわたしに与えてください。』」*

エリシャがエリヤの霊の二倍を受け取ったかどうかを知る前に、エリヤの偉業と歴史的背景を見てみましょう。エリヤは最も革新的な預言者の一人で、バアルに仕える 450 人の預言者を打ち負かした能力で知られています。

**列王記上 18:19-40** : *「それで、今、人をやって、イスラエルの全員をカルメル山に集め、バアルの預言者四百五十人と、イゼベルの食卓で食事をするアシラ山の預言者四百人をわたしのもとに集めなさい。 」アハブはイスラエルの子ら全員に人をやって、預言者たちをカルメル山に集めた。エリヤはすべての民のところに来て言った。「いつまで二つの考えの間で迷っているのか。主が神なら、主に従いなさい。バアルなら、それに従いなさい。」民は彼に一言も答えなかった。そこでエリヤは民に言った。「主の預言者は私一人だけだ。しかし、バアルの預言者は四百五十人いる。それで、彼らに雄牛二頭を与え、一頭の雄牛を自分たちで選び、切り裂いて薪の上に載せ、火をつけないでおきなさい。私はもう一頭の雄牛を料理して、それを薪の上に載せ、火をつけてはならない。あなたがたはあなたがたの神の名を呼びなさい。わたしは主の名を呼びます。火で答える神を神としましょう。」民はみな答えて言った、「それはよく言われました。 」エリヤはバアルの預言者たちに言った、「あなたがたは大ぜいの者だから、まず雄牛一頭を選んで、それを料理しなさい。あなたがたの神の名を呼びなさい。ただし、火をつけてはならない。」彼らは与えられた雄牛を取って料理し、朝から昼までバアルの名を呼び、「バアルよ、わたしたちに聞いてください」と言った。しかし、声もなく、答える者もいなかった。そこで彼らは造られた祭壇の上に飛び乗った。昼になって、エリヤは彼らをあざ笑って言った、「大声で呼ばわりなさい。彼は神だ。彼は話しているか、追跡しているか、旅の途中か、あるいは眠っていて、起こされなければならない。彼らは大声で叫び、ナイフやメスで自分たちの習慣に従って自分の体を傷つけたので、血が彼らの上に噴き出しました。そして、正午が過ぎて、夕べの供え物を捧げる時まで、彼らは預言しましたが、声もなく、答える者もなく、注意する者もいませんでした。エリヤはすべての民に、「わたしに近づきなさい」と言いました。民は皆彼のもとに近づき、彼は主の祭壇のこわばりを直しました。エリヤは、主の言葉が彼らに臨んだとき、ヤコブの子らの部族の数に従って、十二の石を取り、主の名によってその石で祭壇を築き、祭壇のまわりに、種二セアを入れるほどの大きさの溝を掘った。そして、たきぎを並べ、雄牛を切り分けて、たきぎの上に載せ、そして言った、「四つの桶に水を満たし、それを全焼のいけにえとたきぎの上に注げ」。そして彼は言った、「二度目にそれをせよ」 。彼らは二度目にそれをした。また彼は言った、「三度目にそれをせよ」 。彼らは三度目にそれをした。水は祭壇のまわりを流れ、彼は溝にも水を満たした。さて夕べの供え物をささげるころ、預言者エリヤは近寄って言った、「アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。イスラエルでは、あなたが神であられ、わたしがあなたのしもべで、あなたの言葉に従ってこのすべての事を行ったことが、きょう、知られますように。主よ、わたしの言うことを聞き、わたしの言うことを聞いてください。そうすれば、この民は、あなたが主なる神であり、あなたが彼らの心を戒められたことを知るでしょう」。すると主の火が下って、燔祭と、たきぎと、石と、ちりとを焼き尽くし、溝の水をなめつくした。民は皆それを見て、ひれ伏して言った、「主こそ神です。主こそ神です」。エリヤは彼らに言った、「バアルの預言者たちを連れて行きなさい。ひとりも逃がしてはならない」。彼らは彼らを捕らえ、エリヤは彼らをキション川に連れて行き、そこで彼らを殺した。」*

**エリシャの油注ぎ**

この勝利の後、神はエリヤに、エリシャを彼に代わって預言者として任命し、さらに二人の将来の王を任命するように命じました。

**列王記上 19:16** : *「あなたはニムシの子エヒウに油を注いでイスラエルの王とし、アベル・メホラのシャファトの子エリシャに油を注いであなたに代わって預言者としなさい。」*

そこでエリヤは従い、自分の外套をエリシャに投げかけました。

**列王記上 19:19** : *「そこで彼はそこから出発し、シャファトの子エリシャを見つけた。エリシャは十二くびきの牛を引いて耕作をしていたが、エリヤは十二番目のくびきを引いて耕作をしていた。エリヤは彼のそばを通り過ぎ、外套を彼の上に投げた。」*

エリシャはすぐに偉大な預言者の後を追って走りましたが、最後にもう一度別れを告げる機会を両親に求めました。

**列王記上 19:20** : *「彼は牛たちを捨ててエリヤの後を追って走り、言った。 『どうか、父と母に口づけさせてください。それから、私はあなたに従います。』するとエリヤは言った。『戻って行きなさい。私はあなたに何をしたというのですか。』」*

**テストと犠牲**

エリヤは許可を与えず、代わりに*「戻って来なさい。私があなたに何をしたというのか」と答えました*。これは試練でした。エリシャは、自分の人生に対する神の召命と、エリヤが彼に指導者の地位を与えるという決断の重要性を認めました。彼は、油注ぎの拡大に参加するには、何らかの犠牲が必要であることを理解していました。2頭の雄牛を殺して犠牲にした後、彼は仲間と犠牲を分け合い、急いでエリヤの後を追いました。

**列王記上 19:21** : *「彼は彼のもとから帰ってきて、一くびきの牛を取り、それを殺し、牛の道具でその肉を煮て、民に与えたので、民は食べた。それから彼は立ち上がってエリヤに従い、彼に仕えた。」*

エリシャは、仕事、土地、さらには国までも含め、すべてを放棄する覚悟でした。エリヤが望むところならどこへでも行き、エリヤが命じたことは何でも行い、その過程で自分自身のアイデンティティーをすべて失う覚悟でした。私たちは神に尋ねなければなりません。 *「神の油注ぎの増大に踏み込むために、私は何を断ち切る必要があるでしょうか。」*これからの季節から、どんな行為が許されなくなるのでしょうか。合法ではあっても、必ずしも価値があるとは限らないものがあります。

**聖油注ぎの代償を受け入れる**

*、「この油注ぎがどんな犠牲を払おうとも」*という心構えで臨んでください。エリシャはエリヤと共にこのプロセスを開始する覚悟ができていました。あなたの目標や願望のいくつかは妥協しなければならないかもしれません。時には、神の計画や夢は私たちのものと同じではないこともあります。

準備をしてください。神はこの終わりの日に働き手を求めます。収穫は豊かですが、働き手が足りません。一夜にして、神はパウロとバルナバにされたように、聖霊を通して神の民に語りかけます。

**使徒行伝 13:2** : *「彼らが主に仕え、断食していると、聖霊がこう言われた。 『バルナバとサウロを、わたしが召した仕事に引き渡せ。』」*

どれほど多くの敬虔な男女が、神の要求を手放したくないという理由で、油注ぎを求めないことを選んでいるでしょうか。あるいは、準備ができていないと信じて行かない人もいます。それでも、私たちが望むなら、神は私たちを初期の段階から先に進めるように備えてくださいます。神は私たちを目的地まで導いてくださいます。エリシャは、エリヤがマントを彼に投げかけ、新しい場所とレベルが開かれた後、これを経験しました。

**列王記下 2:1-2** : *「主がエリヤを旋風で天に上げようとされたとき、エリヤはエリシャとともにギルガルから出発した。エリヤはエリシャに言った。『ここにとどまっていなさい。主が私をベテルに遣わされたのです。』 エリシャは彼に言った。『主は生きておられます。あなたの魂も生きておられます。私はあなたを離れません。 』そこで彼らはベテルへ下って行った。」*

**ギルガル：第一レベル**

多くの人は、特に感情的になっているときに約束をします。間違った理由で約束をする人もたくさんいます。ギルガルは第一レベルであり、信仰の精神的な場所を表しています。歴史的には、ヨシュアがヨルダン川を渡った後、イスラエルの息子たちを連れて行った最初の場所でした。

**ヨシュア記 5:1-9** : *「ヨルダン川の西側にいたアモリ人の王たちと、海沿いにいたカナン人の王たちは皆、主がイスラエルの人々の前からヨルダン川の水を干上がらせ、我々が渡ったと聞いて、イスラエルの人々のゆえに、彼らの心は消え失せ、もはや元気がなくなった。その時、主はヨシュアに言われた。 『鋭い刃物を作り、イスラエルの人々にもう一度割礼を施せ。』ヨシュアは鋭い刃物を作り、包皮の丘でイスラエルの人々に割礼を施した。ヨシュアが割礼を施した理由は次の通りである。エジプトから出てきたすべての民、すなわちすべての男、すなわちすべての戦士は、エジプトから出てきた後、道中の荒野で死んだ。出てきたすべての民は、イスラエルの人々は四十年の間荒野を歩き、エジプトから出てきた戦士たちは皆、主の声に聞き従わなかったために滅ぼされた。主は彼らに、主が彼らの先祖に与えると誓われた地、乳と蜜の流れる地を見せないと誓われたのである。ヨシュアは彼らに代わって立てられた彼らの子供たちに割礼を施した。彼らは途中で割礼を受けていなかったので、無割礼であった。民が皆割礼を終えると、彼らは健康になるまで宿営の自分の場所にとどまった。主はヨシュアに言われた。「わたしは今日、エジプトの恥辱をあなたから取り除いた。それゆえ、この場所の名は今日までギルガルと呼ばれている。」*

それは彼らが初めて土地の産物の一部を消費した場所であり、そしてマナの継続的な超自然的な供給が終了した場所です。

**ヨシュア記 5:12** : *「その地の古い穀物を食べた翌日には、マナはやんだ。イスラエルの人々はもはやマナを得られなかったが、その年はカナンの地の産物を食べた。」*

したがって、神は過去 40 年間、従来どおりの振る舞いを続けるつもりはなかったことは明らかです。ギルガルで大きな変化が起こり、信仰による新しい生き方が必要になりました。ギルガルから、見えるものによってではなく、信仰によって歩むことが不可欠であることを学ぶことができます。

**コリント人への第二の手紙 5:7** : *「私たちは、見えるものによらず、信仰によって歩んでいるのです。」*

**ローマ人への手紙 4:17** : *「（聖書に書いてあるとおり、わたしはあなたを多くの国民の父とした）彼が信じた方、すなわち、死者を生かし、存在しないものを存在するかのように呼び出す神の前で。」*

私たちがどう感じるか、何を見るかは問題ではありません。大切なのは、神が私たちに油を注ぎ、神の奉仕に私たちを使いたいと望んでいるという信仰を心に持つことです。それは、自分自身で油注ぎを受けることができるという信仰を持つことです。キリスト教徒の大多数は、ギルガルに定住したいという気持ちを感じています。彼らは信仰と希望の聖域から離れません。彼らは行動の真っ只中に身を置き、物事を起こしたり、行動を起こしたりしません。彼らが持っているのは信仰だけです。

**ヤコブ 2:17** : *「同じように、行いが伴わない信仰は、それだけでは死んだものです。」*

**列王記下 2:2** : *「エリヤはエリシャに言った。『ここにとどまっていなさい。主が私をベテルに遣わされたのです。』 エリシャは彼に言った。『主は生きておられます。あなたの魂も生きておられます。私はあなたを離れません。 』そこで彼らはベテルへ下って行った。」*

**ギルガルから始まる**

覚えておいてください、私たちはギルガルから始めます。ギルガルは、私たちが増加と二倍の分け前を得る前に、新しいレベルの信仰を持つことができる霊的な場所です。これは非常に重要です。私たちはその場所で、新しいマントに信仰を置くのです。それは、神が私たちに与えてくださった次の段階や任務のために私たちの信仰を強めるために、私たちを連れ戻す場所です。たとえば、私はあるレベルの油注ぎに聖なる不満を感じたときはいつでも、「ギルガル」と呼ばれる霊的な場所に戻らなければなりませんでした。そこでは、私は心の中で別のレベルに行くことができると信じています。

**ベテル：決断と誓いの場所**

ベテルは、決断や誓いがなされる精神的な場所です。ヤコブが神に誓いを立てたのはまさにこの場所でした。預言の点では、ベテルは心の奥底で、より高いレベルの油注ぎを受けたいと決意しなければならない場所です。それはまったく新しいレベルの献身、自己否定、犠牲を必要とします。神は、こうした種類の質問に対する私たちの心の内からの適切な応答を求めておられます。ヤコブが言ったように、良い応答は、 *「神よ、もしあなたが私をこの場所（ベテル）に連れ戻して下さるなら、私はあなたが私に与えてくださるすべてのものの十分の一を捧げることを約束します」というものです。*

**創世記 28:20-22** : *「ヤコブは誓いを立てて言った。『神がわたしとともにおられ、わたしの行くこの道でわたしを守り、わたしに食べるパンと着る物を与え、わたしが平安のうちに父の家に帰れるようにしてくださるなら、主はわたしの神となられるでしょう。わたしが柱として立てたこの石は、神の家となります。あなたがわたしに与えてくださるすべてのものの十分の一を、わたしは必ずあなたにささげます。』」*

**神はヤコブをベテルに連れ戻す**

聖書によれば、ヤコブの揺るぎない忠誠心のおかげで、神は定められた時に彼を神の家であり天国への入り口として知られるベテルに連れ戻した。

**創世記 28:17** : *「彼は恐れて言った。 『この場所はなんと恐ろしい場所だろう。ここは神の家であり、ここは天の門なのだ。』」*

**創世記 35:1** : *「神はヤコブに言われた。『立ってベテルに上り、そこに住みなさい。そして、あなたの兄弟エサウの前から逃げたとき、あなたに現れた神のために、そこに祭壇を築きなさい。』」*

**ベテルで行動を起こす**

ですから、神があなたをベテルに連れて行くとき、それはあたかも神がこう言っているかのようです。

* あなたには今、それに対する信念があります。
* あなたには今、そのための夢があります。
* あなたは私があなたに代わって行動できると信じています。
* 行動を起こす必要があります。

では、油注ぎを増やすプロセスに移りましょう。この時点で、エリコへ移る時です。しかし、エリコはまったく別の領域です。エリヤがエリシャに次のような言葉を伝えた可能性があります。

**列王記下 2:4** : *「エリヤは彼に言った。『エリシャよ、ここにとどまっていなさい。主が私をエリコに遣わされたのです。』 彼は言った。『主は生きておられます。あなたの魂も生きておられます。私はあなたを離れません。 』そこで彼らはエリコに着いた。」*

**ジェリコの挑戦**

エリヤはこう言ったかもしれません。「あなたは油注ぎを望み、私は油注ぎを与える用意があります。しかし、あなたは私と一緒にエリコに行きたくないと思います。エリコは戦いの場所だからです。」エリヤは、油注ぎには戦い、悪魔、論争、迫害、その他すべてが含まれることを指摘しています。

エリシャが言ったことを思い出してください。「私はあなたを離れません。」 エリコは、戦いが繰り広げられる霊的領域を表す、もう 1 つのレベルです。神の霊の油注ぎがあなたの人生に降りかかると、あなたは分裂を招く人物になります。そして、油注ぎを受けながら同時にすべての人を幸せにすることはできないという考えを受け入れなければなりません。敵意、対立、監視があるでしょう。

**聖油注ぎのコスト**

私が現在活動しているレベルでは、教会は私たちが何をしているかを監視することに関心があります。人々が今や私の言うことやすることすべてに注目しているので、それには代償が伴います。あなたの人生に油注ぎがもたらされ、物事が軌道に乗り始めると、人々はあなたを認め、あなたをリーダーとして頼るようになります。その認識には、重大な責任と激しい対立が伴います。

悪魔はあなたの正体を知っています。あなたは悪魔の標的リストに載っています。ですから、あなたは準備しなければなりません。何をしようとも、代償を払う覚悟をしてください。武力衝突が起こるエリコに行く準備をしてください。

**ヨルダン川を渡る**

**列王記下 2:6** : *「エリヤは彼に言った。『ここにとどまっていなさい。主が私をヨルダンに遣わされたのです。』 彼は言った。『主は生きておられます。あなたの魂も生きておられます。私はあなたを離れません。』 そして二人は進み続けました。」*

私は今あなたに宣言したいと思います。もしあなたが今戦争の場にいて、地獄のすべての悪魔があなたに敵対しているなら、それはヨルダン川でしょう。

ヨルダン川は、新たな霊的レベルと新たな地平を表しています。それは油注ぎの場所です。イエスが洗礼を受けたのはこの川で、その瞬間、天が裂けて、聖霊が鳩の形でイエスの上に降りてきました。

**マタイ 3:16** : *「イエスはバプテスマを受けると、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の霊が鳩のように下って、自分の上にとどまるのを、ごらんになった。」*

ヨルダン川を無事に渡ると、神が約束した地に到着します。ギルガル、ベテル、エリコの段階を終えると、ついにヨルダン川へ進む準備が整います。逆境の試練を乗り越えると、ヨルダン川が向こう岸であなたを待っています。あなたは神から新たな油注ぎを受けるでしょう。天に裂け目ができて、油注ぎの分量が拡大され、倍増してあなたの人生にもたらされるでしょう。

**ヨルダン川の奇跡**

見てください！エリヤとエリシャが一緒にヨルダン川を無事に渡った後、奇跡的な出来事が起こりました。

**列王記下 2:8** : *「エリヤは外套を取り、それを巻いて水を打った。すると、水はあちこちに分かれ、二人は乾いた地面を渡った。」*

エリシャは、エリヤが旋風にのって天の栄光に引き上げられたとき、地面に落ちたエリヤの外套を拾い上げました。この外套には、エリヤに与えられた油注ぎの増加と霊の二倍の分量が含まれていました。

**列王記下 2:11** : *「彼らが進みながら話していると、見よ、火の戦車と火の馬が現れて、彼らを二つに分けた。そしてエリヤは旋風に乗って天に昇った。」*

**列王記下 2:13** : *「彼はエリヤの落ちた外套を拾い上げ、引き返してヨルダン川の岸辺に立った。」*

彼がそのマントでヨルダン川の水を打った瞬間、彼はそれが二倍の分量であり、彼の祈りの答えであることを知りました。そして彼がそのマントでヨルダン川の水を打った瞬間、水が分かれたのです。

**列王記下 2:14** : *「エリシャはエリヤから落ちた外套を取り、水を打って言った。『エリヤの神、主はどこにおられるのか。』 彼もまた水を打つと、水はあちこちに分かれた。そしてエリシャは渡って行った。」*

エリシャはヨルダン川を渡ったとき、濡れることさえありませんでした。エリシャがギルガル、ベテル、エリコ、そしてヨルダン川を巡って新たなレベルの油注ぎを受ける過程を経たように、あなたも神があなたの人生と奉仕を新たなレベルに引き上げる準備ができたときに、その過程を経ることになります。

神があなたを次のレベルに導く準備ができたら、あなたはそのプロセスをもう一度やり直さなければなりません。あなたはもう一度死を経験し、今度は代償を払うことになります。次のレベルに進むためには、もう一度信仰を持つ必要があります。あなたにはもう一つの夢があります。一歩踏み出してより大きな次元を経験する準備が整います。それとともに、あなたはもう一度まったく新しいレベルの争い、そしてまったく新しいレベルの敵からの反対を経験することになります。 *「私はこれを支払う準備ができているかどうかわかりません。こんなことになるとは予想していませんでした。」というフレーズのまったく新しい解釈です。*

そして、そのプロセス全体を完了すると、さらに別のレベルがあなたを待っていることに気づくでしょう。これらすべてのことを念頭に置いて、今日、油注ぎを増やすべきかどうかという質問に「はい」と答える準備ができていますか?

# 第十三章: 聖別された目と耳

この章を読み進めていくと、預言の能力を伸ばすことが極めて重要であることが明らかになります。これを達成するには、まず視覚と聴覚を聖化する必要があります。

**啓示のための戦略的鍵**

私たちが切実に必要としている知恵と啓示の精神を呼び起こすのに役立つ戦略的な鍵をいくつか概説したいと思います。

**イザヤ書 43:5** : *「恐れるな。わたしはあなたと共にいる。わたしはあなたの子孫を東から連れて行き、あなたを西から集める。」*

当時の本名がベルテシャザルであったダニエルは、ペルシャ王キュロスの治世の3年目に啓示を受けました。そのメッセージは正確でしたが、与えられた時間は過ぎていました。ダニエルは、そのメッセージと与えられたビジョンの両方を理解しました。

神の王国を取り巻く謎を解明するという課題に、あなたはどのように取り組みたいですか。ダニエルのように幻や夢を解釈し、その幻や夢を私たちに明らかにしてもらいたい人は、私たちの何人いるでしょうか。今年は、神が私たちに与えたいと願っている啓示とまったく同じ種類の啓示が大量に発表される年になると思います。しかし、啓示を深く理解するには、戦略的な鍵が必要です。主は、この要素が最も重要であると私に説明してくださいました。

**鍵：断食**

**ダニエル書 10:3** : *「私は三週間が満ちるまで、おいしいパンを食べず、肉もワインも口にせず、身に油を塗ることもしなかった。」*

ファストがリリースしたものをご覧ください:

**ダニエル 10:21** : *「しかし、わたしは真理の聖書に記されていることをあなたに示そう。これらのことに関してわたしと共にいる者は、あなたの君ミカエル以外にはいない。」*

ダニエルの断食により天使は解放され、天使はダニエルに真理の書からの啓示をもたらしました。真理の聖書、別名真理の書は、神によってまったく新しい方法で開かれようとしています。ダニエルは天使から天に保管されている書物を受け取ったとき、そこにすでに記録されていた内容についての洞察を与えられました。神はその書物に書かれていることをさらに私たちに明らかにしたいと願っています。

**隠された宝のたとえ話**

聖書には、王国の宝物が畑に埋められていたという話が記されています。宝物が発見されると、ある男がそれを隠し、それを見つけた喜びのあまり、所有物をすべて売り払って畑を買いに行きました。

**マタイ13:44** : *「また、天の王国は畑に隠された宝のようなものである。人はそれを見つけると、それを隠し、喜びのあまり、行って持ち物を全部売り払って、その畑を買う。」*

**啓示の代償**

啓示は、私たちの側に犠牲を要求します。神は、私たちにかなりの代償を払わせることなく、知恵と啓示の精神のより高い次元や領域へのアクセスを与えることはありません。王国の宝を発見した人は、土地を購入するために所有していたすべてのものを売りました。

私たちには宝を探す義務があり、イエス・キリストこそが埋蔵された宝であり、啓示であるということを悟らなければなりません。預言者イザヤは、子供や息子の形で私たちに与えられる、計り知れない宝について預言し、統治の責任がその肩に負わされるだろうと述べています。

**イザヤ書 9:6** : *「ひとりの子供がわれわれのために生まれ、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。」*

**イザヤ書 9:7** : *「ダビデの王座とその王国には、その統治と平和が増し加わって限りなく続く。今より永遠に、公正と正義をもって、これを秩序立て、堅く立てられる。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。」*

「統治」という言葉は、統治する権利を意味します。イエスが死と復活を通して私たちのためにしてくださったことのゆえに、主は私たちに、主と協力し、主とともに統治するようにという招きを与えてくださいました。この地上では、自然界と霊界の両方が私たちの管理と支配下にあります。イエス・キリストを通して、私たちは罪、病気、疾患、死、貧困を克服する権威を与えられています。アダムとイブには罪に対する支配権がありませんでした。しかし、私たちにはこの権威が与えられています。

**ダビデの鍵**

しかし、神と協力し、神を支配するためには、基本的な鍵が必要です。主はこの重要な点について、私と意見を交わしてくださいました。それは一般にダビデの鍵と呼ばれています。私たちがイエス・キリストの啓示を受けるとき（イエスは啓示です）、私たちは実際にダビデの鍵を持っていることになります。イエスは不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君です。イエスのこの4つの名前に含まれる意味は、神の統治、神の王国、そしてダビデの鍵の基礎となります。これらの概念は、この4つの名前に含まれる意味によって支えられ、その上に成り立っています。ダビデの鍵を利用するには、まずこの4つの名前に含まれる啓示を発見しなければなりません。

これら 4 つの名前のそれぞれの機能を見てみましょう。

* **素晴らしい助言者**: 助言の精神と天の助言について論じます。神の意志は力の精神をもたらします。そして、神の助言は、全能の神として知られる神の英雄戦士の側面を解放します。助言がなければ、力である力の精神を養うことはできません。
* **永遠の父**: 王国の力の働きは父の心から流れ出なければなりません。勧告は力をもたらしますが、王国の力の働きは父の心から流れ出なければなりません。
* **平和の君**: 父の愛は平和の君の可能性を解き放ちます。ヘブライ語で平和を意味する「シャローム」は、富、完全、健康を意味します。

の鍵はダビデの鍵の別名です。隠された真実を明らかにし、目に見えない領域を覗き込む力が知識の鍵の核心です。

**知識への鍵**

聖書には、知識の鍵が取り除かれることと、それが王国に入ろうとする人々にとってどのように障害となるかについての議論があります。

**ルカ11:52** : 「律法学者たちよ、あなたたちは災いである。あなたたちは知識*のかぎを取り去った。あなたたち自身は入らず、入ろうとする人たちをも妨げた。」*

の鍵に取って代わると、鍵へのアクセスは失われます。今日の教会で知識の鍵が奪われたのは、律法主義と人間の伝統を神よりも高い地位に高めることで、神の国が入るのを妨げてきたからです。私たちは妥協し、宗教文化と、神の力の重要性を軽視する敬虔さの形を受け入れるようになりました。

**テモテへの手紙二 3:5** : *「敬虔なふりをしながらその実を否定する人たち、こうした人たちから離れなさい。」*

**見る、そして行動する**

父なる神がなさっていることに従って行動する能力も私たちから奪います。

**ヨハネ 5:19** : *「すると、イエスは答えて言われた。『よくよくあなたがたに言っておく。子は父のなさることを見てする以外には、自分からは何事もすることができない。父のなさることはすべて、子も同じようにするのである。』」*

**ダビデの鍵の機能**

ダビデの鍵の働きをご存知ですか? それは、新しくて刺激的な機会への道を開きます。それは、神がすでに天国で断ち切った鎖からあなたを解放します。しかし、私たちが見ることができないなら、天国で何が解き放たれたのかをどうして知ることができるでしょうか? ダビデの鍵は、私たちの家族に祝福の扉を開き、私たちの奉仕に供給と癒しの力の扉を開き、私たちの生活、家族、経済状況から敵を排除することに関係しています。

今日、神はダビデの鍵についてのより深い理解を解き放ち、私たちが神の王国を解き放つことができるようにしてくださっています。神の王国とは、「父の愛の心から人々にもたらされる繁栄、健康、癒し、完全さ」です。

**戦略キー**

父なる神が全人類に対して抱く愛は、神がその唯一の息子を与えただけでなく、失われた人々に十字架の福音を伝え、彼らが救われることを願うための戦略的な鍵も与えてくださったという事実によって証明されています。戦略的な成功の鍵は、神の王国の大義を推進します。たとえば、神はこれまでに行われたすべての十字軍、会議、癒し、解放の秘密を所有しています。

イエスは状況に応じてさまざまな鍵を使い分けました。聖書の中で、イエスは3人の盲人のために3つの異なる方法で祈りました。私たちが誰かのために祈ってその人が回復したとき、同じ病気の2人のために祈っても、異なる治療法が必要なため、どちらも回復しない可能性があります。イエスは*「私がこれを行うことができると信じますか」と尋ねて、2人の男性の視力に疑問を抱きました。*

**マタイ 9:28** : *「イエスが家に入られると、盲人たちがイエスのもとに来た。イエスは彼らに言われた。 『わたしにそれができると信じますか。』彼らはイエスに言った。『はい、主よ。』」*

一方、イエスは別の人の目に粘土を塗りました。

**ヨハネ 9:6** : *「イエスはこう言ってから、地面につばきをし、そのつばきで粘土を作り、その粘土で盲人の目を塗られた。」*

そして、別の人には、目に唾をかけました。

**マルコ 8:23** : *「イエスは、その盲人の手を取って町の外に連れ出し、その両目につばきをし、両手をその人の上に置いて、何か見えるかと尋ねられた。」*

イエスは3つの異なるアプローチを持っていました。同じ状況にもかかわらず、イエスは3つの異なるアプローチを持っていました。

**使徒の鍵**

神は鍵を持っておられ、私たちが神の力で行動し、神の王国を前進させるためには、あらゆる状況や状況に王国をもたらす鍵が必要です。使徒の鍵はまもなく解放され、神はそれを行おうとしています。これらの「鍵」は、最終的に都市、地域、国家を私たちに授けます。この不可欠な要素は、一言か、あるいはたった一つの行為かもしれません。問題の解決策は、その鍵を使うことにあるかもしれません。その鍵は、人の心を開き、そこに隠された事柄を明らかにするメッセージや預言の言葉かもしれません。

神は太古の昔から、自分自身を含め、すべての人から特定の事柄を隠してきました。使徒マタイはこう書いています。

**マタイ13:35** : *「それは、預言者によって言われたことが成就するためである。『わたしは口を開いてたとえ話をし、世の初めから隠されていたことを語る。』」*

**隠された謎を解き明かす**

神はこの世の初めから隠され封印されてきた秘密を持っており、それらの秘密は私たちの時代まで明らかにされません。さて、神は弟子たちに王国の秘密のいくつかを明らかにされましたが、神は今日まで天国の秘密を隠しておき、私たちにそれを明らかにしたいと願っています。

**ハガイ 2:9** : *「この後の家の栄光は、前の家よりも大きくなる、と万軍の主は言われる。また、この場所にわたしは平和を与える、と万軍の主は言われる。」*

私たちは、この場所に入ったときよりもさらに大きな歓声とともにこの場所を去ることになります。耳を澄ませて聞くように、そして目で注意深く観察するようにという要求があります。

**マタイ13:11** : *「イエスは答えて言われた。 『天の御国の奥義を知ることは、あなたがたに許されているが、彼らには許されていないからである。』」*

神秘を知ることは私たちに与えられていると信じている人はどれくらいいるでしょうか? 神秘という言葉は、神によって明らかにされた隠された真実、または主の秘密を意味します。

**隠された真実にアクセスする**

主の秘密や隠された真実を知る能力があるにもかかわらず、実際に主から隠された真実を受け取っている人は何人いるでしょうか。私たちが完全に率直であるならば、私たちに共有されている秘密や啓示はそれほど多くありません。私は王国の秘密を与えられるつもりですし、あなたにもそれを与えられてほしいと思います。私に与えられた情報は他にもたくさんありますが、私が話したのは、私に明らかにされた王国の秘密のほんの一部にすぎません。

これらの神秘を理解する能力は神から私たちに授けられたものですが、私たちがそれを受け取るのを妨げるものがあります。これは主が私に明らかにされたことです。多くの人々が理解するのを妨げる障壁があり、その結果、私たちには見ることも聞くことも不可能なのです。

**マタイ13:12** : *「持っている人はさらに与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。」*

持っている人には、さらに与えられ、啓示は増し加わる。持っていない人は、持っているものまでも取り上げられる。知識のない人、御言葉を聞くだけで行わない人である。

**マタイ13:13** : *「だから、わたしは彼らにたとえで話すのです。彼らは見ても見ず、聞いても聞かず、また悟らないからです。」*

理解する能力と、私たちが持つ目や耳の間には、必ずつながりがあります。霊的な目や耳が閉ざされていると、私たちは周りで何が起こっているのか理解できません。さらに、心が鈍くなっていると、周りで何が起こっているのか理解する能力を失ってしまいます。

**マタイ13:14-15** : *「彼らの中に、イザヤの預言が成就した。『あなたがたは聞くには聞くが、理解せず、見るには見るが、悟らない。この民の心は鈍く、耳は聞こえず、目は閉じられている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞き、心で悟り、心を変えて、わたしが彼らを癒すことのないためである。』」*

理解の過程において、目と耳の重要性を認識することは不可欠です。聴覚や視力が衰えて周囲の世界を認識できなくなると、理解することも、王国の鍵を与えられることもできなくなります。聴覚が衰え、視力がほとんど失われる原因は一体何なのでしょうか。なぜ私たちは理解力のせいで目標を達成できないのでしょうか。

**イザヤ書 29:9** : *「立ち止まって驚け。叫べ、叫べ。彼らは酔っているが、酒のせいではない。よろめいているが、強い酒のせいではない。」*

私の言っている意味が分かりますか？私たちは自らを盲目にしているのです！

**イザヤ書 29:10** : *「主はあなたたちに深い眠りの霊を注ぎ、あなたたちの目を閉じ、あなたたちの預言者たち、あなたたちの指導者たち、あなたたちの先見者たちを覆われた。」*

ことができる人たちは、旅をするときには頭にフードをかぶっているということに、皆さんは気づいてほしいと思います。頭が覆われているため、預言者として召された人たちや、見るように召された人たちの多くは、見ることも聞くこともできません。私たちは、自分が見たいもの、信じたいものだけを見て信じようと意識的に決めることがあります。不安にさせるもの、本当に罪悪感を抱かせるもの、近づきすぎるものはすべて避けます。

何かが本物だとわかっていても、自分の価値観や信念に反するため、それを無視することもあります。しかし、他の人が私たちに言うことを一貫して無視すると、私たちの耳はやがて聞こえなくなります。見ないことを固執すると、自分自身が盲目になります。しかし、神は私たちが理解することを望んでおられます。

**ルカ10:23** : *「そしてイエスは弟子たちのほうを向いて、ひそかに言われた。『あなたがたが見ているものを見る目は幸いです。』」*

神がそれを覆っていたベールを取り除いた後、啓示は私たちに明らかになります。神は書物と巻物に書かれていることをすべて明らかにします。聖書の一節を読んで、理解を妨げる障壁があるかのように、理解不能だと感じたことはありませんか。

**イザヤ書 29:11** : *「すべての幻は、あなたにとっては封印された書物の言葉のようになった。人々はそれを学者に渡し、『これを読んでください』と言う。すると彼は、『それは封印されているので読めない』と言う。」*

私たちの盲目さには理由があります。教会全体の盲目さにも理由があります。イザヤの言葉をもう一度見てみましょう。

**イザヤ書 30:9-10** : *「これは反逆の民、偽りの子ら、主の教えを聞こうとしない子らだ。彼らは先見者たちに『見てはならない』と言い、預言者たちに『正しいことを預言するな、巧みな言葉を語って、偽りの預言をせよ』と言う。」*

わたしたちは神の裁きについて語る言葉を聞きたいとは思っていません。矯正や懲罰の言葉を聞きたいのではなく、むしろ励ましや慰め、啓発の言葉を聞きたいのです。

私がさまざまな場所で奉仕してきたとき、その地域の牧師から次のような指示を受けました。「ビル、もし預言するなら、励ましと慰めになる言葉だけを発しなさい。」このようなことを聞くたびに、私は思わず*「ああ、あなたは私にあなたの罪を指摘してほしくないのね」と考えてしまいます。*あなたは、あなたの指導者たちの間で起こっている妥協について私と話したくないのでしょう。神があなたの街に裁きを下す理由を私に説明してほしくないのでしょう。

私たちには、聞きたいことだけを聞き、本当に見たいことだけを見るというひどい習慣があります。私たちは、真実の特定の側面だけを考慮しようとします。多くの場合、私たちが本当に見たい、聞きたいと思えるのは、それが特定の流れから発信されたもの、特定のパッケージに含まれているもの、または私たちが望む方法で届いたものだけです。一方、*私は彼らからそれを望んでいません。*音量が大きすぎるなら、*私はそれを望んでいません。*小さすぎるなら、*私はそれを望んでいません。*それが何らかの形で私に利益をもたらさない限り、私はそれを持つことに興味がありません。*両耳にチクチクする感覚を引き起こさない限り、私はそれを望みません。*それが他の人の前で私を愚か者のように見せるのであれば、私はそれを望みません。それが罪を暴露する可能性があれば、*私はそれを望みません。*

**聞き取りや理解に苦労する4つの理由**

1. **啓示と理解を守り、大切にしなければ、その賜物を失ってしまうかもしれません**。

**マタイ13:12** : *「持っている人はさらに与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。」*

1. **私たちが御言葉に根ざしていないとき、苦難や迫害は効果を発揮します**。

**マタイ13:19** : *「だれでも御国のことばを聞いて悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪い去ります。道端で種を蒔かれたのは、この人のことです。」*

**マタイ13:21** : *「しかし、彼は自分自身の中に根を張っていません。ただ、しばらくは耐えているだけです。御言葉のために苦難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまうからです。」*

1. **私たちがこの世の問題や富の魅力に夢中になってしまうと、私たちに与えられた賜物を見逃してしまう危険があります**。

**マタイ13:22** : *「いばらの中に種を蒔かれた者とは、御言葉を聞く者だが、この世の思い煩いや富の惑わしが御言葉をふさぐので、実を結ばなくなる。」*

1. **もし私たちが反抗的であれば、私たちは決定を下す側になりたいのです**。そして神は私たちの心が望むものをすべて与えてくれるでしょう！したがって、預言者や先見者が主が明らかにしたいことを聞きたくない、または見たくない場合、主は彼らの願いを尊重し、彼らがそうするのを妨げるために彼らの頭にフードをかぶせます。彼らの大多数は現在この苦境に陥っており、それは彼らがもはや彼らの召命に従っていないことを意味します。

**フードとベールを外す**

フードとベールを脱ぐことは可能です。私たちが主を喜ばせ、啓示を大幅に増やすために、クリスチャンとしての歩みにおいて一貫していなければならないいくつかの側面についてお話ししたいと思います。

**エペソ人への手紙 1:17-19** : *「私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、あなた方に神を知る知恵と啓示の霊を与え、あなた方の心の目が開かれ、神の召しによってもたらされる望みが何であるか、聖徒たちに対する神の相続財産の栄光の富が何であるか、また、神の全能の力の働きによって、私たち信じる者に与えられる神の力の非常に大きな力が何であるかを、あなた方が知るようになるためです。」*

**エペソ人への手紙 3:8-10** : *「すべての聖徒のうちで最も小さい者である私に、この恵みが与えられました。それは、キリストの測り知れない富を異邦人に宣べ伝え、世の初めから、イエス・キリストによって万物を創造された神に隠されていた奥義の交わりがどんなものであるかを、すべての人に明らかにするためです。それは、今や、天にある支配と権威に、教会を通して神の豊かな知恵が知られるようになるためです。」*

**エペソ3:16** : *「どうか、神は、あなたがたに、その栄光の豊かさに従い、御霊によって、内なる人を力強く強くして下さるようにしてくださいますように。」*

**エペソ人への手紙 3:19** : 「また、人知をはるか*に越えたキリストの愛を知るようになり、神の満ち満ちた豊かさのすべてに満たされるようになるためです。」*

**コロサイ人への手紙 1:27** : *「神は、この奥義の栄光の富が異邦人の間にどれほどあるかを、彼らに知らせようとしておられるのです。この奥義とは、あなたがたのうちにおられるキリスト、すなわち栄光の望みのことです。」*

私たちが御言葉とキリストの愛に根ざし、しっかりと立っているとき、悪魔は動けなくなります。悪魔はやって来て、王国のメッセージを奪い取ることはできません。

**フードとベールを脱ぐための神聖な原則**

あなたはこれまで、予知能力を発揮したことがありますか。しかし、今では空が真鍮でできているかのように見え、あなたは興味をそそられる存在ではなくなりました。夢も幻も啓示も経験していないので、神があなたに腹を立てているのではないかと疑問に思うようになります。では、ヘブル人への手紙第3章と第5章に注目してみましょう。そこには、正しい道に戻り、預言の賜物を磨くのに役立つ重要な鍵が記されています。

毎朝、神が私たちから隠しておいた神秘と秘密が私たちを待っています。私たちは神がその創造物を通して私たちに語りかけてくださるのをどれほど期待しているでしょうか。

**ヘブル人への手紙3章7節**： *「それゆえ、聖霊が言われるように、あなたがたは今日、御声を聞くならば、*

毎日が今日と同じ。この驚くべき事実に気づいている人は何人いるでしょうか。この時点で、私たちの期待は大幅に高まる必要があります。今日、心を石のように固くしないでください... どうすれば心を強くできるでしょうか。

**ヘブル人への手紙 3:18** : *「では、だれに対して、神の安息にはいることはできないと誓われたのか。信じない者たちに対してではないか。」*

もし私たちが神に従わなかったり、神が与えてくださった以前の預言の言葉に従って行動しなかったら、なぜ神は私たちに別の預言の言葉を与えようとするのでしょうか。聖霊の油注ぎに従わなければ、私たちははっきりと聞く能力を失ってしまいます。神が与えてくださる夢、ビジョン、預言的な導きに従わず、人生のあらゆる面で心を固くすると、預言の領域における私たちの鋭い刃はますます鈍くなります。

**心を開いて**

聖霊は、私たちが他人に対して冷淡な態度を取らないようにと促しています。これはまた、私たちがお互いに対して冷淡にならないようにすべきだということも意味しています。意識的に心を開いたままにし、それによって私たちの生活の中に神の意志が実行される余地を作ると、私たちは正しい方向に進んでいることが分かります。

ことは可能です。預言の言葉が届いたら、それを実行する義務があります。洞察力を得ることは、値段のつけられないほどの価値があります。それは埋蔵された富を発見するのと同等です。私たちは貴重な財産をどのように扱うべきでしょうか。慎重に扱い、大切にし、大切にすることが不可欠です。それは私たちを絶対にすべて後退させます。

神のやり方に通じると、私たちの聴覚が向上するだけでなく、神に対してより敏感になります。一方、神に関して私たちが知っていることが神の行為だけであり、神自身を実際に知らないのであれば、私たちは聞くことが難しくなり、ほとんど見ることもできなくなります。神は、私たちが神とそのやり方に通じていることを最も重要視しています。

**ヘブル人への手紙 3:10** : *「それゆえ、わたしはその世代のことを憂慮して言った、 『彼らはいつも心の中で迷い、わたしの道を知らない。』」*

危険な真実をお見せしましょう。

**マタイ7:21-23** : *「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の王国に入るのではなく、天にいますわたしの父の御心を行う者だけが入るのです。その日には、多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ、私たちはあなたの名で預言をし、あなたの名で悪霊を追い出し、あなたの名で多くの不思議なわざを行ったではありませんか。』 しかし、そのとき、わたしは彼らにはっきり言います。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法を行う者どもよ、わたしから離れ去れ。』」*

「私はあなたを知らなかった」とはどういう意味かご存じですか? それは、私たちが神に親密に接しなくなったため、私たちが知られることがなくなったという意味です。神が私たちを知っていた時代がありましたが、私たちが知られることがなくなったため、今は神は私たちを知りません。それは私たちの責任です。私たちは神に親密に接することをやめ、もう自分を知られることを許していません。親密さに関して心の中で神から遠ざかれば遠ざかるほど、私たちは鈍くなります。神を知り、神に知られたいと願い、神に近づくほど、神の声が聞こえてきます。それはくぐもったものではありません。神が語られることを信じると、私たちの信仰は生き生きとし、霊的な感受性は整います。

しかし、もし私たちが不信仰な心、つまり聖書が邪悪な心と呼んでいる心を持っているなら、私たちは実際に真に生きておられる神から遠ざかっており、もはや神からの真の啓示を受ける立場にはありません。

**ヘブル人への手紙 3:12** : *「兄弟たちよ。あなたがたのうちに、悪い不信仰の心が生じて、生ける神から離れ去ることがないように気をつけなさい。」*

罪を告白し、罪から離れ、神に喜ばれる道を歩むようあらゆる努力をすることで得られる、私たちの体、魂、霊の清めは、神からの真の啓示を受ける立場に立つための道を開きます。しかし、罪の欺瞞に陥ってしまうと、聞く能力を失ってしまいます。信者の中には、罪を犯しても罰を受けないと思っている人もいるかもしれませんが、罪の欺瞞は、彼らの霊的な耳と霊的な目を彼らから奪ってしまいます。私たちが説教したことを実践し、神が私たちに明らかにしてくださった啓示に従って行動する度合いに応じて、私たちは霊的に成熟していきます。

**ヘブル人への手紙 5:14** : *「しかし、強い食物は、慣れによって感覚を訓練され、善悪を識別するようになった成人のものです。」*

練習すればするほど、預言の能力は磨かれていきます。神から与えられた啓示を実践するとき、私たちはただ物事について聞く段階を超え、実行する段階に到達します。神の指示に従って何かをするたびに、記憶が作られます。

神が私たちの人生で起こしてくださった様々な奇跡について思いを巡らすとき、私たちは神への信頼と信仰を強めることができます。主が私たちに与えてくださった祝福について思いを巡らすとき、私たちは神に栄光を帰します。

**マルコ 8:14** : *「弟子たちはパンを持ってくるのを忘れていた。また、船の中にはパン一つしか持っていなかった。」*

パンの数を増やして何千人もの人々に食べ物を与えるという、驚くべき奇跡をいくつか行ったばかりでした。しかし、彼らはその事実を完全に無視したのです。

**マルコ 8:17-21** : *「イエスはそれを知って、彼らに言われた。 『なぜ、パンがないからと、考えるのか。まだ悟らないのか、理解しないのか。心はまだかたくなになっているのか。目があっても見ないのか。耳があっても聞かないのか。思い出さないのか。パン五つを五千人に分けたとき、パンくずをいくつ籠に集めたか。彼らは言う、『十二です』。パン七つを四千人に分けたとき、パンくずをいくつ籠に集めたか。彼らは言う、『七です』。イエスは言われた。 『どうして、わからないのか』」*

イエスは弟子たちに、パンがないという事実に彼らが集中していたのは、イエスが行ったことを彼らが見聞きしたことを忘れていたからだと説明しようとしていた。イエスが示した親切を思い出せなかったため、彼らの心は冷淡なままだった。イエスは弟子たちに「覚えていないのか」と尋ねた。そして弟子たちを、5,000人に食事を与えたときと4,000人に食事を与えたときの過去に戻した。それはまるで、イエスが弟子たちに「私が5,000人に食事を与えたときのことを覚えていないのか。あなたたちはメッセージを受け取っていないのか。私は宇宙の支配者であり、それまで存在しなかったものを私が生み出す。この時点で私が誰であるか分からないのか」と尋ねているかのようだった。

数多くの奇跡を目撃したにもかかわらず、彼らはあまり学ばなかったようです。彼らの心は鈍くなり、神が以前になさったことを忘れていました。私たちも同様です。この時代に教会がなぜ耳も目も聞こえないのかを説明します。私たちは忘れてしまうのです。しかし、神は私たちがこの経験を通して知恵を得ることを心から望んでおられます。

実際にその言葉を発することなく、「私は目的を持ってあなたたちの人生に困難をもたらす」と私たちに告げているかのようです。「私が前回やったことを利用してどうやって打ち勝つかあなたたちが気づくまで、私は何度も何度も困難をあなたたちの前にもたらすつもりです。」

主は、私たちが主の善良さの信頼性を理解することを望んでおられます。さらに、私たちがキリストにおいて何者であるか、また、私たちが持つ権威を認識し、指導力と支配力の正当な地位に就くことができるように、主は私たちが望んでおられます。

数々の啓示を数分間思い出すと、これが私にとって霊的啓示への扉を開く最大の鍵の一つであることが分かります。その後、私はそれらについて話し始めます。すると血が騒ぎます。私たちは、神が私たちに与えてくださった預言の言葉や約束だけでなく、以前の夢やビジョンのいくつかを再び振り返る必要があります。私たちの多くは、この嵐を一度以上経験しています。

神は、私たちに神への信仰を持ち、神が問題の解決策を与えてくださることを忘れないように教えるために、私たちの人生で特定の出来事が起こり続けることを許しているのかもしれません。

**詩篇 106:13** : *「彼らはすぐに神の御業を忘れ、神の計らいを待たなかった。」*

私たちの中には、霊的な面ではあまり強健でない人たちがいます。私たちは神の助言を待たず、主を待たないので、知恵と啓示を受けていません。その結果、私たちは神の導きを受けていません。イエスは父が何をしようとしているのかを知るために一晩中待ったでしょうが、私たちは5分も待つことができません。

数年前、私は一度に 1 ～ 3 時間主を待つことを習慣にしようと決めました。神の王国の目と耳にアクセスするには、代価を払わなければなりません。それはあらゆる点で私たちを後退させるでしょう。神の王国に関する隠された神秘を受け取り、理解するためには、神の助言を待つことが不可欠です。

神がご自身の中に秘めてきた秘密を私たちが明らかにすることができるように、神は今、預言の領域を私たちに開放してくださっています。

**知恵と啓示を語る**

使徒パウロは、守られてきた秘密について議論するために何が必要かに関して重要なヒントを与えています。

**1コリント2:6-7** : *「しかし、私たちは完全な者たちの間では知恵を語ります。しかし、それはこの世の知恵ではなく、この世の滅びる支配者たちの知恵でもありません。私たちは神の知恵を奥義として語ります。それは神が私たちの栄光のために、世に生まれる前から定められた隠された知恵です。」*

知恵と啓示について考える前に、ある程度の成熟度に達していなければならないことは、私たちにとって明らかです。神が太古の昔から隠しておいた知恵の啓示は、自分の潜在能力を完全に発揮した人々のために用意されています。

**1コリント3:1-3** : *「兄弟たちよ。私はあなたがたに、霊の人としてではなく、肉の人として、キリストにある幼子として語りました。私はあなたがたに乳を与え、食物を与えませんでした。今まであなた方がそれに耐えられなかったのに、今も耐えられないからです。あなた方は依然として肉の人です。あなた方の間にねたみ、争い、分裂があるのは、あなた方が肉の人であって、人間として歩んでいるのではないですか。」*

私たちは、今日の分裂や争いのない成熟した教会を目指しています。今日の教会ではさまざまなことが起きているので、神が与えてくださる知恵を受け取ることは到底期待できません。よく聞いてください。この秘密の知識は、肉欲的な人のためのものではなく、むしろ成熟した信者のためのものです。

**霊的成熟を求めて**

あなたは、私たちの生活に神の知恵が欠けている理由をご存知ですよね? その理由は、私たちが過度の自然の心と過度の世俗的な精神を持っているからです。自然の人の心は、肉の欲望に集中しています。霊的な人は、御霊が望むことに心を定め、そのことに心を定めています。

**ローマ人への手紙 8:5** : *「肉に従う者は肉のことを思い、御霊に従う者は御霊のことを思うからです。」*

あなたの心の時間のうち、聖霊が望むことを熟考することに費やす時間はどのくらいですか。一方、あなたの心の時間のうち、肉が望むことを熟考することに費やす時間はどのくらいですか。どちらに多く住んでいますか。啓示は、世の霊に支配された自然の人のためのものではなく、霊的な人のためのものです。私たちが世に参加してそれを楽しむことができないと言っているのではありません。しかし、啓示が私たちにもたらされるためには、私たちの心のどのくらいが聖霊が望むことに集中しているか、またどのくらいが肉が望むことに心を奪われているかをチェックし、バランスを保つ必要があります。

**1コリント2:14** : *「しかし、生まれながらの人間は、神の霊の賜物を受け入れません。それは彼には愚かなものだからです。また、御霊によって判断されるべきものであるため、彼はそれを理解することができません。」*

**神の霊を受ける**

私たちが受けたのは誰だと思いますか。神の内なる働きを熟知している神の霊です。神の霊の存在です。

**コリント人への第一の手紙 2:10-12** : *「しかし、神は御霊によって、これらのことを私たちに明らかにされました。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ぶからです。人の思いは、人の内にある霊以外には、だれが知っているでしょうか。同様に、神の思いも、神の霊以外には、だれも知りません。私たちは、この世の霊ではなく、神の霊を受けました。それは、神から賜わった恵みを、私たちが知るようになるためです。」*

神が私たちに御霊を与えてくださったおかげで、私たちは地球が創造されて以来ずっと秘密に包まれてきた謎や真実を明らかにすることができます。

今日の教会では、私たちは未熟でありたくありません。なぜなら、それは王国の奥義を受け取る機会を逃してしまうことになるからです。

**黙示録 2:7** : *「耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者に、神の楽園の真ん中にある命の木の実を食べることを許そう。」*

**聞くという選択**

聞くことは、私たちが選択することです。聞く耳のある人は、聖霊が語っていることを聞きましょう。私たちは、開かれた心と、学ぶ意欲のある心を持つ必要があります。それを遮断して、「知っている、聞いた、退屈だ」と言わなければ、何千回も読んだ同じ聖書の言葉を聞くたびに、信仰を持つ可能性があります。あるいは、説教された、聞いた、退屈だ。私は「聖書を開いてください」と何度頼んだかわかりません。そして、私が一言も発する前に、誰かがすでに聖書を引用し始めています。聖書のヨハネ3章を開くと、ほとんどの人はすぐに、それは生まれ変わることの必要性についての説教だろうと推測します。あるいは、「ああ、彼は私たちが5回聞いたメッセージを説教している」と言うこともできます。同じ言葉を何度も聞くことは、信仰に必要です。私たちは何を聞くか選択できます。

**ローマ人への手紙 10:17** : *「信仰は聞くことから始まり、聞くことは神の言葉によるのです。」*

意識的に聞くという選択をするのと同じように、私たちは神の隠された神秘を真剣に求めるかどうかも決める必要があります。隠された宝が欲しければ、すべてを犠牲にしなければなりません。隠された宝を見つけた人は、畑を買うために持っていたすべてのものを売りました。

**隠された謎を探る**

先週お話ししたことを覚えていますか? ダニエルが天使の訪問を受け、真理の書の内容を明らかにした話でした。しかし、ダニエルは何かを犠牲として捧げましたね? 天使からのメッセージの啓示を受ける前に、21日間の断食を完遂しなければなりませんでした。ダニエルにとって、それは代償を伴うものでした! さらに、私たちが探しているのは宝ではなく、キリストであることを認識する必要があります。

**1コリント2:9** : *「しかし、聖書に書いてあるとおりです。『目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために用意しておられる。』」*

ただキリストを愛することが、計り知れない宝への扉を開く道です。

**マタイ13:35** : *「それは、預言者によって言われたことが成就するためである。『わたしは口を開いてたとえ話をし、世の初めから隠されていたことを語る。』」*

**コリントの信徒への手紙一第4章1節**： *「人は私たちを、キリストの奉仕者、また神の奥義の管理者とみなすべきです。」*

わたしは、隠された天の奥義を扱うことが期待されています。世界の始まりから秘密にされてきた隠された真実は、わたしの管理者としての役割において、わたしによって世界の他の人々と共有されることになっています。神はわたしが神の奥義の管理者として行動することを望んでおられます。啓示管理者として奉仕する可能性について考えたことはありますか。

**1コリント4:2** : *「さらに、管理人には忠実であることが求められます。」*

**スチュワードの役割**

管理人は所有者ではなく、むしろその施設の運営者です。委ねられた権限、資源、責任を管理する人を管理人と呼びます。管理人は、常に事業の最善の利益に気を配ります。私たちが啓示を受けるための条件を満たしていない理由をご存知ですか。それは、自分の関心事、自分の王国、自分の名前、自分の奉仕を常に念頭に置いているからです。信じられないほど多くの理由がありますが、残念ながら、所有者の最善の利益を念頭に置いていません。私たちは所有者ではなく、むしろ、所有者の最善の利益を念頭に置きながら、委任された力、資源、責任を遂行する権限を委ねられた運営者です。管理人は従う意志によって識別されます。

**ヨセフの例**

管理に関しては、旧約聖書のヨセフの物語が私たちのモデルとなっています。ヨセフは、どんなに小さなことにも揺るぎない献身をしました。彼の実績は、彼が多くの責任を任せられることを証明しました。彼は、政府によるファラオの莫大な富の管理を監督していたときと同じように、それほど重要でない事柄を扱うときも信頼できました。私たちは天からの情報に関して信頼できるでしょうか。神は、人が銀行にお金を預けるのと同じように、私たちを信頼したいと願っています。神は、私たちがそれを引き出して世界に分配できるように、私たちの中に啓示の預金を置きたいと願っています。良い管理者になる方法を理解するようになった信者には、王国の秘密を守る責任が与えられています。

**異言で祈ることの重要性**

次の章に進む前に、成熟した信者を特徴づけるもう一つの重要な特質についてお話ししたいと思います。これは、異なる言語で祈ることの神秘的な効果に関係しています。聖霊のバプテスマを受け、異なる言語で話すことについて教会でもっと説教する必要がありますが、私たちはそれをあまり頻繁に行いません。私たちの大多数は、おそらく毎週1時間以上異言で祈ることはなく、祈るときは、通常はグループで行います。私が見たところ、異言はもはや本来の目的を果たしていないようです。

さて、私はこれまで他のどこでも論じられたことがない、異言に関連する主要な機能の 1 つについてお話ししたいと思います。これは私たちの興味をそそるでしょう。使徒パウロがコリントの人々に語ったことを見てみましょう。

**コリント人への第一の手紙 14:2** : 「*異言を語る者は、人に語るのではなく、神に語るのです。だれもそれを理解できないからです。しかし、御霊の中では奥義を語るのです。」*

「神秘」という言葉の定義は、「神聖な源によって明らかにされた秘密」です。私たちが異言で神に祈るとき、私たちはあらゆる機会に神の最も奥深い秘密を神に明らかにしています。私たちが異言で話すとき、私たちは私たちに知らされた神聖な真理を話し、世界の初めから秘密にされていた啓示を神と伝えています。私たちは単に最も神聖な信仰を強め、その過程で自分自身を啓発しているだけではありません。聖霊は私たちの祈りを助けるだけでなく、それ以上のことをしてくださっています。実際、私たちは謎を語っているのです。神秘や隠された真実を語ることに関心があるなら、異言で祈ることが必要なのです。

**コリント人への第一の手紙 14:13** : *「ですから、異言を話す者は、それを解釈できるように祈りなさい。」*

私が自分の言語で言っていることを翻訳することは可能でしょうか。そうすれば、私の理解が深まります。パウロが言及しているのは、私たち一人ひとりが神と話す個々の言語であり、大衆の言語ではないことを心に留めておくことが重要です。パウロは、私たちが自分の言語で祈るとき、聖霊が明らかにした奥義を聖霊が神に語り返すことを許しているのだ、とほのめかしています。聖書は、知らない言語で祈る人は誰でも、他の言語で祈る人の祈りを解釈して下さるよう祈るようにと私たちに勧めています。

**コリント人への第一の手紙 14:14-15** : *「もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈っても、私の知性は実を結びません。それでは、どういうことでしょうか。私は霊で祈り、知性でも祈りましょう。私は霊で歌い、知性でも歌いましょう。」*

異言で祈るとき、啓示の霊に関連して何か力強いことが起こります。主は私に語りかけ、異言で祈るとき、私は物事を生み出す能力があるが、それは 10 分以上かかるだろうと告げておられます。主は、私が 8 時間にわたって異言で祈り続けたら何が起こるかを考えるように私に挑戦されました。私は一度に集中力を 3 時間以上持続できたことはありません。

異言で約 10 分間祈ると、大多数の人が、より力強くなり、神に近づいているように感じると報告しています。これは私が観察したことです。しかし、実際にはほとんどの場合、私たちは自分の舌が何を言っているのかまったく理解していないため、心が非常に占領され、気が散ってしまいます。そのため、私たちは通常、一度に約 10 分以上集中することができません。約 5 分間異言で祈り、その後数分間礼拝し、その後聖書を読み、最後に異言で祈るという実践は、集中力を維持するのに役立ちます。

# 第十四章: 啓示と預言のマント

主はあなたに直接現れ、あなたの人生を驚くべき預言的なビジョンと経験で満たしていますか? あなたは奇跡であると同時にしるしでもありますか?

**イザヤ書 11:1-2** : *「エッサイの根から一本の芽が出て、その根から一本の若枝が生え出る。主の霊が彼の上にとどまる。それは知恵と悟りの霊、計りごとと力の霊、主を知る知識と主を畏れる霊である。」*

**黙示録 4:5** : *「そして、玉座からは稲妻と雷鳴と声が起こった。また、玉座の前には七つの火の灯火が燃えていた。これらは神の七つの霊である。」*

**新たな預言的啓示**

聖霊は私に、まもなく預言的な情報が新たに流れ込むであろうことを明らかにしました。この章の前半では、信者一人ひとりに与えられる啓示の川と、主に献身し、献身し、献身した人生を送る必要性について論じます。

まもなく、預言的啓示の新たな出版物が出版されるでしょう。それは啓示の栄光の雲であり、主の栄光の天幕に住み続ける人々、神聖さと奉献において主に完全に身を捧げる人々、献身と祈りと断食の人生に身を捧げる人々に降りかかるでしょう。

**サムエル記上 19:20-24** : *「サウルは使者を遣わしてダビデを捕らえさせた。彼らは預言者の一団が預言し、サムエルが任命されたように彼らの上に立っているのを見た。神の霊がサウルの使者たちの上に臨み、彼らも預言した。このことがサウルに伝えられると、彼は他の使者を遣わしたが、彼らも同じように預言した。サウルは三度目に使者を遣わしたが、彼らも預言した。それからサウルもラマに行き、セクにある大きな井戸に着いた。そして彼は尋ねた。「サムエルとダビデはどこにいますか。」ある者は言った。「ラマのナヨテにいます。」そこでサウルはラマのナヨテへ行った。神の霊が彼にも臨み、彼は進み続けて預言し、ラマのナヨテに着いた。彼もまた衣服を脱ぎ捨て、同じようにサムエルの前で預言し、その日は一日中裸で横たわっていた。夜。それで彼らは言う、「サウルも預言者の一人なのか？」*

サウル王とその使者たちが神の霊の訪れを受けた後、彼らは終わりのない預言の流れを与えられました。聖霊が啓示の天蓋の形でサウルに降りたため、サウルはただ一つの預言の言葉だけでなく、預言の流れを増やしていきました。信者として、私たちは現在豊富にあるこの絶えず拡大する啓示の供給を受けることができます。

**知恵と知識の精神に流れ込む**

神にとって、私たちが知恵の言葉や知識の言葉や預言を実行するだけでは十分ではありません。むしろ、神は私たちが知恵と知識の霊に流れることを望んでおられます。私たちは主と常にコミュニケーションをとることができます。

**イザヤ書 50:4** : *「主なる神はわたしに学者の舌を与え、疲れた者に時宜にかなった言葉を語る術をわたしに授けられた。主は朝ごとにわたしを目覚めさせ、学者のようにわたしの耳を開かせてくださる。」*

**詩篇 16:7** : *「わたしに助言を与えてくださった主をわたしはほめたたえます。わたしの心は夜の間にわたしを教え導いてくれます。」*

**1コリント2:9** : *「しかし、聖書に書いてあるとおりです。『目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために用意しておられる。』」*

聖霊が私たちの上に宿るとき、私たちはまた、神の深遠なる事柄と神の国の深遠なる神秘を理解するための油注ぎを受けます。

**コリント人への第一の手紙 2:10-16** : *「しかし、神は御霊によってそれを私たちに明らかにされました。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ぶからです。人の思いは、人の内にある霊のほかに、だれが知っているでしょうか。同じように、神の思いも、神の御霊のほかは、だれも知りません。私たちは、世の霊ではなく、神の霊を受けました。それは、神から自由に与えられたものを知るためです。私たちは、そのことを、人の知恵が教える言葉ではなく、聖霊が教える言葉で語り、霊のことを霊で比較します。しかし、生まれながらの人は、神の御霊の思いを受け入れません。それは、彼には愚かなことだからです。また、御霊によって判断されるので、理解することもできません。御霊の人はすべてのことを判断しますが、自分自身はだれからも判断されません。主の思いをだれが知って、主を教えることができたでしょうか。しかし、私たちはキリストの思いを持っています。」*

神は御霊の働きを通して、隠された事柄を明らかにしようとされます。神の内に宿る神の御霊だけが、神が私たちのために用意しておられる隠された事柄を知っています。友よ、私たちはこの御霊を与えられたのだと言わせてください。

私たちには、キリストと同じ精神状態を常に保てる能力があります。これが、神がこの時代に私たちに開こうとしている奉仕と啓示の領域です。聖霊の賜物は素晴らしいものですが、私たちを通して流れる主の臨在の川はもっと素晴らしいものであり、私たちは心からそれを切望し、追い求めるべきです。神が私たちに尽きることのない供給を与えてくださるのに、なぜ私たちはたった一つの言葉、一つの啓示、または一つの知恵の真珠で満足しなければならないのでしょうか。この油注ぎは、一度に数日から数週間にわたって、個人だけでなく集団にも降りかかります。

**ヤコブの啓示**

ヤコブは開かれた天から啓示を受けました。彼はそこが神の住まいであり、天国への入り口であると説明しました。この経験の文脈では、梯子は天から地に降りるのではなく、むしろ地面から天に上るものでした。

**創世記 28:11-17** : *「そして彼はある場所に降り立ち、日が沈んだので、一晩中そこにとどまり、その場所の石を取って枕にし、その場所に横になって眠った。そして彼が夢を見ると、地上に梯子が立てられ、その頂は天に達していた。そして神の御使いたちがその上を上り下りしていた。すると、主がその上に立って言われた。『わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが横たわっているこの地を、わたしはあなたとあなたの子孫に与える。あなたの子孫は地のちりのように多くなり、あなたは西、東、北、南に広がる。あなたとあなたの子孫によって、地上のすべての民族が祝福される。そして、わたしはわたしはあなたとともにいて、あなたが行く所すべてであなたを守り、あなたをこの地に連れ戻す。わたしは、あなたに語ったことを成し遂げるまでは、あなたを離れないからである。ヤコブは眠りからさめて言った、「確かに主はこの所におられる。わたしは知らなかった」。そして彼は恐れて言った、「この所はなんと恐ろしい所だろう。ここは神の家にほかならない。ここは天の門だ」。*

**黙示録 4:1-2** : *「その後、私は見ていると、見よ、天に門が開かれた。そして、私が最初に聞いた声は、まるでラッパの音のように私に話しかけて言った。『ここに上って来なさい。これから起こるはずのことをあなたに示そう。』すると、私はたちまち御霊に満たされた。すると、見よ、天に玉座が設けられ、その玉座に座っている方がいた。」*

**開かれた天からの啓示**

選ばれた者たちは、何日も開かれた天から啓示を浴びせられるでしょう。この問題の解決法は、天国に通じる門に近づくことにあります。天国には、一度も閉められたことがないので、常に大きく開いている扉があります。

イエスの生涯と奉仕は、啓示の開かれた天である栄光の雲の中で適切に生き、奉仕する方法の模範です。イエスは神の考えにアクセスし、神を構成する 7 つの霊の中で機能することができました。

**イザヤ書 11:1-2** : *「エッサイの根から一本の芽が出て、その根から一本の若枝が生え出る。主の霊が彼の上にとどまる。それは知恵と悟りの霊、計りごとと力の霊、主を知る知識と主を畏れる霊である。」*

**黙示録 4:5** : *「そして、玉座からは稲妻と雷鳴と声が起こった。また、玉座の前には七つの火の灯火が燃えていた。これらは神の七つの霊である。」*

彼は知恵と知識に満ち溢れていた。

**黙示録 4:1-2** : *「その後、私は見ていると、見よ、天に門が開かれた。そして、私が最初に聞いた声は、まるでラッパの音のように私に話しかけて言った。『ここに上って来なさい。これから起こるはずのことをあなたに示そう。』すると、私はたちまち御霊に満たされた。すると、見よ、天に玉座が設けられ、その玉座に座っている方がいた。」*

選ばれた者たちは、何日もの間、開かれた天から啓示を浴びせられるでしょう。この問題の解決法は、天国に通じる門に近づくことにあります。天国には、一度も閉められたことがないので、常に大きく開いている扉があります。

イエスの生涯と奉仕は、啓示の開かれた天である栄光の雲の中で適切に生き、奉仕する方法の模範です。イエスは神の考えにアクセスし、神を構成する 7 つの霊の中で機能することができました。

**イザヤ書 11:1-2** : *「エッサイの根から一本の芽が出て、その根から一本の若枝が生え出る。主の霊が彼の上にとどまる。それは知恵と悟りの霊、計りごとと力の霊、主を知る知識と主を畏れる霊である。」*

**黙示録 4:5** : *「そして、玉座からは稲妻と雷鳴と声が起こった。また、玉座の前には七つの火の灯火が燃えていた。これらは神の七つの霊である。」*

彼は知恵と知識に満ち溢れていた。

**ヨハネ 1:43-51** : *「その翌日、イエスはガリラヤへ出かけようとされ、ピリポを見つけて、「わたしに従ってきなさい」と言われた。ピリポは、アンデレとペテロの町ベツサイダの出身であった。ピリポはナタナエルを見つけて言った、「わたしたちは、モーセが律法に書き、預言者たちが書いた方、ヨセフの子ナザレのイエスに出会った」。ナタナエルは彼に言った、「ナザレから何か良いものが出るだろうか」。ピリポは彼に言った、「来て見なさい」。イエスはナタナエルが自分の方に来るのを見て、彼について言われた、 「見よ、まことのイスラエル人だ。この人には偽りがない」。ナタナエルは彼に言った、 「どうしてわたしを知っておられるのですか」。イエスは答えて言われた、 「ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下におられたのを、わたしは見ました」。ナタナエルは答えて言った、「ラビ、あなたは神の子、イスラエルの王です。」イエスは答えて言われた、「わたしはあなたをいちじくの木の下で見たと言ったので信じるのか。あなたはこれよりも大きなことを見るであろう。」するとイエスは言われた、「よくよくあなたに告げます。これから後、あなた方は天が開け、神の御使いたちが人の子の上に上り下りするのを見るであろう。」*

**より大きな力の証明**

ナタナエルはイエスが語った知識の言葉に驚き、その結果、彼の信仰は深まりました。イエス・キリストは開かれた天であり、天への門でもありました。そして、知恵と啓示に満ちていました。彼は開かれた天でした。

ナタナエルは、イエスが言葉をもたらす能力よりもさらに偉大な力で働いていることを彼に明らかにした後、将来イエスの力がさらに大きく示されるのを見るだろうと告げられました。

私は主に尋ねました。 *「この雲は誰の上に来るのですか？」*それから私はヨシュアとモーセの物語を思い出しました。彼らのどちらかが集会が開かれているテントに入ると、その集会の上に雲が降りてくるのです。栄光の雲の中で、モーセは親しい友人が別の親しい友人と話すのと同じように、神と直接会話する機会を得ました。

**出エジプト記 33:8-11** : *「モーセが幕屋に出て行くと、民はみな立ち上がり、おのおの自分の天幕の入口に立って、モーセが幕屋に入るまで見守った。モーセが幕屋に入ると、雲の柱が降りてきて、幕屋の入口に立った。そして主はモーセと語られた。民はみな、雲の柱が幕屋の入口に立っているのを見た。民はみな立ち上がり、おのおの自分の天幕の入口で礼拝した。主は、人がその友に語るように、顔と顔を合わせてモーセに語られた。モーセは宿営に引き返したが、そのしもべで、ヌンの子である若者ヨシュアは、幕屋から出なかった。」*

**民数記 12:8** : *「わたしは彼と口と口で語り、暗黙の言葉ではなく、主の似姿を見るであろう。それなのに、なぜあなたたちはわたしのしもべモーセに逆らって語ることを恐れなかったのか。」*

と似た啓示が、神の友である人々にも与えられるでしょう。今こそ、私たちが、あいまいな方法ではなく、はっきりと語られていることを聞くべき時です。そうして初めて、私たちは主の出現を見ることができるのです。テントの中に留まり、神の顔を求め、神の存在を自分の中に浸透させ、神のために時間を作ることが、この種の啓示を受けるための鍵です。

神の存在はいつでも私たちを圧倒する準備ができています。

**ヨエル 2:17** : *「主の奉仕者である祭司たちは、玄関と祭壇の間で泣き、こう言いなさい。 『主よ、あなたの民を赦してください。あなたの嗣業を、異邦人に支配させて、辱めないでください。なぜ、民は『彼らの神はどこにいるのか』と言うのですか。」*

**エゼキエル 44:4-9** : *「彼は私を北の門の道から神殿の前へ連れて行った。私が見ると、主の栄光が主の神殿に満ちていた。私はひれ伏した。主は私に言われた。『人の子よ、主の神殿のすべての定めとすべての掟について私があなたに言うことをすべてよく心に留め、あなたの目で見、あなたの耳で聞きなさい。神殿に入ることと聖所から出ることをいつもよく心に留めなさい。あなたは反逆者、すなわちイスラエルの家に言いなさい。主なる神はこう言われる。イスラエルの家よ、あなたがたの忌まわしい行いはもう十分だ。あなたがたは心にも肉にも割礼を受けていない異邦人をわたしの聖所に連れ込み、わたしの聖所を汚した。あなたがたはわたしのパン、脂肪、血を献げているのに、あなたがたは忌まわしい行いのゆえにわたしの契約を破った。あなたがたはわたしの聖なるものの務めを守らず、わたしの務めを守る者をわたしの聖所に立てた。主なる神はこう言われる。「イスラエルの子らのうちにいるすべての異邦人のうち、心に割礼を受けず、肉に割礼を受けない者は、だれもわたしの聖所に入ることはできない。」*

信頼できる個人は将来的に認められ、報酬を受けるでしょう。

**エゼキエル 44:15** : *「しかし、イスラエルの子らがわたしから離れて迷い出たとき、わたしの聖所の務めを守ったザドクの子孫であるレビ人の祭司たちは、わたしに仕えるためにわたしに近づき、脂肪と血をわたしの前にささげるためにわたしの前に立たなければならない、と主なる神は言われる。彼らはわたしの聖所に入り、わたしの食卓に近づき、わたしに仕え、わたしの務めを守らなければならない。」*

**信頼性と堅実性**

神は、激動の試練の時期に神への忠実さと堅固さを示した人々に栄誉を与え、困難にもかかわらず神への奉仕を諦めなかった人々を神への奉仕に雇います。私たちが神との親密な関係を維持するなら、神も私たちに同じことをしてくださいます。

栄光の啓示の雲が現れる時が近づいています。その雲に足を踏み入れるだけで、癒し、解放、回復がもたらされます。天蓋のようにあなたの上に漂う神の存在とともに歩き回れば、豊かな人生を体験できます。キリストの心の流れに身を任せ、常に拡大し、より速く流れている知識と啓示の川の中で生きてください。

**コリント人への第一の手紙 2:12** : *「私たちは、この世の霊ではなく、神の霊を受けました。それは、神から賜わった恵みを、私たちが知るようになるためです。」*

超自然界の現実、預言的啓示の栄光の雲、つまり神ご自身の中に生きることこそ、あなたが注意を集中すべきところなのです。

**超自然を受け入れる**

超自然の存在、開かれた天、そして天の栄光の背後にある真実を理解することは、私たちにとって不可欠です。私たちには啓示を求め、奇跡が湧き出る霊の場所に到達する責任があります。これが、神が今この時に神の民に注ぎたいと願っている油注ぎです。

あなたの人生は素晴らしいもので、預言者からのビジョンや主との出会いに満ちているべきです。もしあなたが神ご自身である啓示の栄光の雲の中に生きているなら、そうなる可能性はあります。どうすればこれに近づくことができるでしょうか。

私たちの生活の中で知恵と啓示の量を増やしたいのであれば、この鍵は私たちが使える最も重要なツールの 1 つです。

**知恵と啓示を増やす鍵**

* **神の言葉を聞いて読む**
* **言われたことに対して精神的、感情的な反応を示す**
* **神の意志に心と精神を開きながら、自分自身を中心に戻す**
* **神の御前に安息の地**

キリスト教の信仰は趣味や余暇活動ではなく、むしろ生き方です。したがって、私たちはそれを非常に真剣な問題として扱うしかありません。神とその道を熟考するときに軽々しく扱うべきものではありません。私たちはスケジュールを調整して、神の言葉について瞑想し、熟考し、熟考する時間を確保する必要があります。

騒音やその他の気を散らす可能性のあるものがない場所を見つけます。

**ピリピ人への手紙 4:8** : *「最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて正直なこと、すべて正義のこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いこと、徳とされることや称賛されることがあれば、これらのことに心を留めなさい。」*

神の教えを熟考し、祈りに答えてくださったことに感謝しましょう。その日の活動を思い起こし、熟考し、評価し、神の法則がそれぞれにどのように当てはまるかを考えましょう。

**詩篇 119:59** : *「私は自分の道を思い巡らし、あなたの証しに足を向けました。」*

**瞑想のメリット**

* **瞑想は知恵と理解をもたらします。**

**詩篇 119:98-99** : *「あなたは、あなたの戒めによって、私を敵よりも賢くしてくださいました。それは、戒めがいつも私とともにあるからです。私は、私のすべての教師よりも理解力があります。あなたの証言は、私の瞑想です。」*

* **繁栄と成功をもたらすためには、神の言葉を黙想する必要があります。**

**ヨシュア記 1:8** : *「この律法の書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさみ、そこに書かれていることをすべて守り行わなければならない。そうすれば、あなたの道は繁栄し、あなたは成功する。」*

* **瞑想は希望をもたらします。**

**限界 3:19-23** : *「私の苦しみと悲惨、苦よもぎと胆汁を思い出してください。私の魂は今もそれを思い起こし、謙虚になっています。私は心にこれを思い起こし、それゆえ希望を持ちます。私たちが滅びないのは主の慈悲によるのです。主の慈悲は尽きることがないからです。それは毎朝新しく、あなたがどれほど忠実であるかの証です。」*

* **瞑想を実践すると多くの恩恵が得られます。**

**詩篇 1:3** : *「彼は水路のほとりに植えられた木のようで、季節が来ると実を結び、その葉は枯れることなく、その行うことはすべて栄える。」*

**詩篇 77:5-12** : *「私は昔の日々を思い起こし、昔の年月を思い起こした。夜になると、私は自分の歌を思い起こし、自分の心に語りかけ、私の霊は熱心に尋ねた。主は永遠に捨て去られるのだろうか。もはや恵みを与えられないのだろうか。その慈悲は永遠に消え失せたのだろうか。その約束は永遠に果たされないのだろうか。神は恵みを忘れたのだろうか。怒りによって、その慈悲の心を閉ざしたのだろうか。セラ。そして私は言った。「これは私の弱さだ。しかし、私はいと高き方の右の御手の年月を思い起こそう。私は主の御業を思い起こそう。あなたの昔の奇跡を確かに思い起こそう。私はあなたのすべてのみわざを思い起こし、あなたのみわざを語り伝えよう。」*

**非凡な人生を生きることを選択する**

他のすべての追求よりも神の前で過ごす時間を優先して、並外れた人生を送ることを選びましょう。神の言葉を読み、神の呼びかけに応え、神の驚異を思い出して覚え、主の栄光である雲の中の神の壮大な存在の中で安らぎましょう。

神の栄光に対する貪欲な欲求をお持ちなら、私の著書「神の栄光を明らかにする」を必ず読んでください。

# 第15章預言の活性化

この章の目的は、皆さんに預言してもらうことです。ですから、この章を読むときは、そのことを念頭に置いてください。皆さんの中には、常に自分の中に存在していた潜在能力を再び目覚めさせるだけの人もいます。また、以前に預言の特定のレベルで活動していた人もいるでしょう。そのような人は、これまでよりも高いレベルで預言するように求められます。一方、まだ預言したことのない人もいますが、この章が終わる前に、皆さん全員が初めて預言する機会を得ることになります。この集まりを預言パーティーと呼ぶこともできます。

聖霊があなたに語られることは、あなたを啓発し、励まし、慰め、築き上げるものとなり、あなたの人生における預言的な時期へとあなたを導くことになると私は信じています。聖霊があなたに語られるからこそ、これが起こるのだと私は信じています。近い将来、あなたの人生は預言の霊に訪れることになるでしょう。

**預言の準備**

預言においてあなたを活性化する前に、預言の言葉を調べる方法、それを受け取る方法、そして預言し神の言葉を語れるようにあなたの人生に油注ぎをかき立てる方法についてお話ししたいと思います。これは、私が預言においてあなたを活性化したときに、預言し神の言葉を語れるように準備することになります。

預言者の人々と預言者の油は、神の継続的な働きの結果として利用可能になっています。私たちが預言の知識を持っているだけでは神にとって十分ではない、と神は言っています。ですから、この章の終わりまでには、あなたは預言をもっと多くできるようになるでしょう。私は神が成し遂げられることに制限を設けようとはしません。たとえあなたが開かれた天の下に座って本を読んでいるとしても、いつでも何が起きてもおかしくありません。あなたの人生でこれから起こるすべての素晴らしい出来事について聞くのが待ちきれません。

**預言を活性化する**

これから、あなたが預言的に活性化される方法を説明し、その指示に従うためのガイドラインをいくつかお伝えします。神はあなたが預言の賜物を持つことを望んでおられ、また、あなたの預言の賜物が、単に地元の教会の文脈内で預言の油注ぎを受けて奉仕する以上のものになることを望んでおられます。私たちが神の預言の民であるなら、私たちは自分の家庭、職場、そして私たちがいるほとんどすべての場所で預言的である、というのが私の信念です。あなたは、神を信じていない人々の間でさえ、どこでも預言の賜物を行使することができます。

ですから、このレッスンで学んだことを実践してください。次に公共の場で聖霊を待つときには、聖霊が他の人のために知識の言葉を与えてくださることを期待できます。神は、預言者たちが霊的に満たされた集まりの環境にいるときだけでなく、いつでも預言することを意図しておられると私は確信しています。レストランを預言者が訪れたかのような雰囲気にしてみませんか。自宅を預言を解釈できる場所にしてみませんか。

**預言を日常生活に取り入れる**

あなたは、子供たちや家庭内の他の人たちに、知識の言葉や啓示を説いたことがありますか? 知識の言葉は、最も自然なときに私から出てきます。私はビジョンを見たり、神から超自然的な洞察を受けたりして、それを市場で伝えます。これは私が真実だと分かったことです。神は、私たちが職場で、同僚と昼食をとっているときに、その言葉を聞けるように望んでおられます。あなたの隣に座っている人を見て、聖霊に満たされた状態で祈り、 *「主よ、彼について何か教えてください」と尋ねてください。*

次に頭に浮かぶ質問は、 *「最近、血圧に何か変化を感じていますか？高血圧だと言われたことはありますか？」といったものでしょう。*そして突然、あなたは牧師として奉仕していることに気づきます。

おそらく彼は*「どうしてそれを知ったのですか？」と尋ねるでしょう*。その後、あなたは*「神があなたに話しかけたいと思っていたので、私はただ神の声を聞いていたのです。神が私に、あなたが高血圧症であることを示してくれたように思えます。あなたのために祈ってもいいですか？」と答えることができるでしょう。*

**未知への一歩**

預言の働きをしたいなら、船から出て水上に出て未知の世界に入る覚悟をしなければなりません。それは、今がそうすべき時だからです。油注ぎは未知を表しますが、預言も未知を表します。さらに、イエスは教会の場以外で預言の油注ぎの経験をすることを楽しみました。ヨハネの福音書第 4 章の井戸でのイエスとサマリア人の女性の出会いを思い出してください。そこでイエスは、聞いている人々に深い知識の言葉を与えました。預言は知識の言葉と同じものです。預言を表現する方法が違うだけです。

**イエスと預言的な油注ぎ**

聖霊が預言の領域で私を使うことを選んだとき、私が最も喜んで使われる方法の一つは、知識の言葉を通してです。私は過去、現在、そして未来の人々についての知識を持ちます。ヨハネ14章でイエスがそのようなレベルの預言の油注ぎで女性に仕えたとき、イエスは彼女の人生で起こった出来事について彼女に話しました。彼女は救いを受けただけでなく、起こったことを町の人々に伝え、その結果、彼らはイエスの話を自ら聞くためにやって来ました。そして、町は一つの預言の言葉の直接的な結果としてルネッサンスを経験しました。

そのため、私は皆さんに、単にお互いに預言するだけでなく、信じていない人々に預言を伝える預言者になるよう挑戦したいと思います。預言を家庭に持ち込み、子供たちに関する興味深い事実を学ぶために使ってください。子供たちが今の状況に閉じ込められている理由を見つけ、彼らの人生に良い変化をもたらす扉を開く鍵を見つけてください。人間の知恵だけでなく、神の語られたレーマの言葉が必要です。

**日常の場面における予言**

とても簡単ですが、皆さんは家にいるときはどうでしょうか? まるで宣教の場であるかのように仕事に取り組んでみてはいかがでしょうか? あるとき、私はドライブスルーの窓口で働いている女性に情報を共有しました。地球上で最も美しい場所で、ただ主の言葉を宣べ伝えましょう。

聖書には、超自然現象について論じた箇所が数多くあります。とはいえ、「超自然」という言葉の意味について議論しましょう。最初の部分は「超」として知られています。皆さんが「超」を楽しんでいることはよくわかっています。しかし、2 番目の部分では、超自然は自然から派生したものであることが明らかになっています。私は超自然と日常の世界を組み合わせたいと思っています。預言は、神が私たちを通して解き放ちたいと心から願っているものであり、神はそれを可能な限り最も自然な状況と方法で実現したいと願っています。さらに、私たちはいつでも預言できるように準備しておく必要があります。

最初は、私自身が言葉を持つ前に、神が私を動かして誰かに言葉を与えようとしました。これはとても奇妙なことでした。

ために教えられている方法は、考えやイメージが浮かぶまで待つことだということを私は知っています。彼らは、そのとき初めて御言葉を語ることができ、それを伝えるにつれて御言葉は成長し続けると信じています。一方、私が集会で説教しているときに、神が私に預言してほしいとおっしゃることもあることを、皆さんに知っておいていただきたいと思います。私が*「主よ、私は誰に対しても何も持っていません」などと言う可能性もあります。*

にもかかわらず、主はこうおっしゃるでしょう。 *「あそこに並んでいる人たちが見えますか？礼拝の途中で、彼ら全員を前に呼び出して、一人一人に預言しなさい。」*

**限界を超えて**

過去には、他の預言的牧師たちと協力する機会があり、彼らは私を知的、精神的に限界まで追い込んでくれました。正直に言うと、彼らが*「よし、ビル、建物内の全員に預言するんだ」と言ったとき*は、とても無理でした。その理由をお話ししましょう。今日、私は本当にこの時間を楽しんでいます。それが今私が自由である理由であり、預言的に他の人を活性化させるのが楽しい理由です。しかし、私はいつも、会議に参加しているかどうかに関係なく、預言的に歩むように努めています。私はよく、座って*「主よ、私に一言お与えください。あの人について、何らかの方法で私を啓蒙してください」と祈る立場にいることに気づきます。*

**預言の注ぎ出し**

疑いなく、今は神がその民に預言の霊を豊かに注いでいる時代です。この聖句はよく知られていますが、考えてみましょう。

**使徒行伝 2:17** : *「神は言われる。終わりの日に、わたしはわたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子、娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。その日、わたしはわたしの男奴隷や女奴隷にわたしの霊を注ぐ。彼らは預言する。」*

すべての息子と娘が預言する能力を持つことを望んでいるので、これらの聖句は、神が神を信じるすべての人に御霊を注ぐ方法について語っています。この注ぎから恩恵を受けるのは、預言者と預言者の働きだけではありません。神は私たち一人ひとりが独自の目標と願望を持つことを望んでいます。あなたは、 *「預言の仕方が分からない。何を言えばいいのだろう？」と考えているかもしれません。*

**聖霊を信頼する**

*「わたしはわたしの霊を注ぐ」*という言葉は父なる神の口から出たものです。聖霊があなたに降りて来た時、その時初めて主の言葉があなたを通して流れ始めます。預言することがいかに簡単であるか、あなたはご存知ですよね？

ただ神を信頼し、自由に話すことを許すだけで、神はあなたの必要をすべて満たしてくださいます。イエスを死から蘇らせたのと同じ霊があなたの中に生きているので、あなたにも預言する能力があると信じる十分な理由があります。あなたに必要なのは、神があなたに語っていることを聞く能力だけです。神は常にあなたに語りかけています。何らかの理由で、あなたの霊的な耳が神の声に同調していない可能性があります。しかし、神の約束に従って聖霊があなたに与えられているという事実を考慮すると、何が起こっているかを積極的に聞いているなら、神の声が聞こえないということはあり得ません。あなたはイエスを死から蘇らせたのと同じ霊を持っており、預言の言葉をもたらし、知らせるのは聖霊の存在です。聖書にはこう書かれています。 *「わたしはわたしの霊を注ぐ。あなたは預言するであろう。」*

**聖霊の最初のしるし**

聖霊が解き放たれると、最初に現れるしるしは異言を話すことではなく、預言する能力です。**サムエル記上 10:6**と**19:20の両方に**、このことの例証が記されています。その中には、サムエルや預言者の職に就いていた他の人々が語った預言も含まれています。彼らは、イスラエルの国だけでなく、お互いに対しても預言していました。ここで問題になっている出来事は、預言会議でした。

**旧約聖書における預言の多様性**

ほとんどの場合、旧約聖書には、この時代のキリストの体よりもずっとはっきりと、賜物の多様性が見られます。サウルが王になることは知っていましたが、それだけでした。ダビデは王でした。預言者は預言者でした。アロンは祭司の役割を担っていました。預言の働きはモーセによって行われました。ソロモンは王でした。聖書の記述の 1 つでは、イスラエルの人々は、王であるサウルが預言をするたびに、まったく驚いて反応します。神は預言者サムエルに、他の預言者たちが預言している場所にサウル王を遣わし、彼らの言うことを聞くようにと指示します。預言の外套はサウルに引き継がれ、その時点で聖霊が彼の上に降ります。それからサウルは預言を始めます。

**サウルのように預言する**

彼は王だったので、過去に預言する必要はありませんでした。（おそらく、あなたはこれまで預言を試みたことがないので、そのことに共感できるでしょう。）しかし、聖霊がサウルに降り、その瞬間から、彼は昼も夜も休むことなく預言できるようになりました。その預言の言葉が驚くほど正確だったため、コミュニティの他のメンバーは*「サウルも預言者の一人なのか？」と尋ねました。*

なぜ預言しようと決めたのか、お分かりですか。聖書によれば、サウルに降り、ペンテコステの日に注がれたのと同じ霊が、今、神がご自身のイメージで創造したすべての息子と娘に注がれているからです。

あなたが他の人々に奉仕するとき、聖霊はあなたに、その人々に主の言葉を語る能力を与えてくださいます。聖霊は、家庭、職場、レストランなど、最も自然で日常的な場面であなたと共におられます。サムエル記上 19 章のその箇所を見ると、普通の人々がどのようにして預言者とサムエルの預言的権威の下に入るようになったかが述べられているのがわかります。彼らは預言者ではなく、教会の指導者としても認められていませんでした。サウルは彼らを単に使者として雇ったのです。それでも、主の聖霊が彼らの上に降り、彼らは預言を始めました。

同様に、あなた方は預言の油注ぎ、預言の外套の下に置かれ、互いに啓蒙、慰め、勧告の言葉を預言できるようになると私は信じています。この時代に預言の奉仕をすることは、神の意志ですか? 聖書のどこかに、自分の判断で他の人に預言することが許されていますか? 預言を使うことと使わないことの切り替えはどのようにしていますか? イエスが言ったことに対する私の解釈は、彼は*「私の羊は私の声を聞く」と言ったということです。*

**聞く姿勢を身につける**

もう一つお伝えしたいことがあります。あなたがすべきことは、耳を傾ける立場に身を置くことだけです。神は私たちの天の父であり、アバとして知られていることを心に留めてください。

父の居間に入って、4時間父と一緒に座り、一緒にいる間ずっと父から一言も聞こえないなんて、私には考えられません。そんなことは絶対に起こりません。皆さんの中には、そのようなことが当たり前の、本当に機能不全の家庭で育った人もいるかもしれません。では、なぜキリスト教徒の中には、神は人間とたまにしかコミュニケーションをとらず、絶対に必要なときだけコミュニケーションをとると信じている人がいるのでしょうか。

**神のコミュニケーションを理解する**

自然界に、導きや指示、矯正など、何か重要なことを伝えたいとき以外は決して話しかけてこないような父親がいることを、あなたは想像できますか。誤解のないように言っておきますが、父は年に一度の預言会議でだけあなたと話したいと言っているわけではありません。むしろ、父はいつもあなたと話したいと言っているのです。神は、事実上あらゆる状況で、あなたの人生のあらゆる瞬間に、あなたと話したいと望んでいます。あなたがしなければならないのは、神の言うことを聞けるような自分の位置づけ方を学ぶことだけです。預言を刺激する方法を考え出し、神の霊に自分を委ねる方法を考え出してください。したがって、適切なガイドラインに従う限り、預言の実践を活性化する場があるのです。

**預言活性化のガイドライン**

コリント人への第一の手紙 14 章で、パウロは、神から受けている幻や啓示について傲慢になり始めていたコリント人たちに、矯正といくつかの指針を与えています。彼らは、誰が最も強力な預言の言葉を持っているかを競い合っているようでした。そのため、幻や天使の訪問のせいで、これらの人々の中には、自分を過大評価し始めた人もいました。そこでパウロは彼らにこう言います。 *「あなたがたは、神の時代の人ではないとは何というのですか。あなたがたは、皆が学ぶために、一人ずつ預言しなさい。」*

私は誰にでも電話をかけることができます。そして、もし彼らが未知の世界に足を踏み入れ、尊厳を捨て、応じる用意があるなら、彼らは神からの声を聞くでしょう。同様に、私の読者であるあなたが、神の声を聞く時間を取り、預言的な生活を送るための神の要求を満たし、預言をかき立てるなら、あなたはこの賜物において非常に急速に成長するでしょう。聖書は、私たち全員が一人ずつ預言することができると明確に述べています。そして、なぜかご存知ですか？預言を活性化し、かき立てる場所があるのです。私たちが預言の奉仕を実践するとき、これが私たちが始めるレベルです。 *「… あなた方は皆、一人ずつ預言し、皆が学ぶことができるようにしなさい」*

この活性化の後、あなたは預言者の能力を身につけるわけではありません。その一方で、あなたは預言の仕方を学ぶことで、年に一度だけ神の声を聞くのではなく、定期的に神の声を聞くことで学び、励まされるようになるのです。もし私があなたの前に立って、一日を通して神が私にどれほど頻繁に話しかけてくださっているかを話したら、あなたは私を教会から追い出すでしょう。なぜなら、あなたはこう言うでしょう。 *「『神は言った、神は言った、神は言った』ってどういう意味ですか」*

人々はいつも私のところに来て、 *「神はなんと言ったのですか？」と尋ねます*。彼らは、神は怒ったときだけ話す沈黙の存在であると信じています。 *「神はあなたの罪を明らかにしたいときだけ話すのです」*と彼らは言います*。「他のときは決して話しません。」*

**神はコミュニケーションを望んでいる**

神はあなたと個人的に会話をしたいだけではないのです。それについては忘れてください。神が応答してくれることを期待しようとしないでください。

そうですね、私の理解では、神はそれよりもずっと親密な存在です。朝起きて最初にベッドから出る時、私はいつも主が私に何か語りかけてくださるだろうという期待を抱いています。その言葉の意味は必ずしも旅行や将来に関するものではないことを知っておくべきです。活性化の奉仕をしている間は、将来や方向性に関わることは忘れるべきです。

慰め、啓発、勧告、確信を与えるという預言の働きの指針に忠実に従いましょう（**コリント人への第一の手紙 14:3** ）。デートは避け、結婚相手のことを他の人に話すのは控えましょう。知識を得るために、預言する場所に留まり続けましょう。預言とは、神の考えや気持ちを他の人に話すことと定義できます。正直に言うと、神の声を拾うのはまったく難しいことではありません。

**神の声を待ち望む**

コリント人への第一の手紙の中で、聖書は、あなたの内に宿る聖霊こそが、神の隠された事柄を探究する方であることを明らかにしています。この一節は、なぜあなたが他の人々のために神の声を聞くことを期待すべきか、また、あなたが預言の働きに従事する立場に身を置くときはいつでも神の声を聞くことを期待すべきかを説明しています。この一節では、神が語りたい理由、そして神が預言者や教会の指導者だけではなくあなたに語りたい理由について読みます。神はすべての人に語りたいとも思っています。神はあなたをこの世の預言者の役割に召したのです。

コリントの信徒への手紙一のこの一節を調べてみましょう。

**コリント人への第一の手紙 2:11** : *「人の思いは、人の内にある霊のほかに、だれが知っているでしょうか。同様に、神の思いも、神の霊のほかには、だれも知りません。」*

**神の考えに耳を傾ける**

聖霊は、今この瞬間、これを読んでいる一人ひとりについて父が現在考えていることをすべて知っています。聖霊は、この瞬間、この部屋にいる一人ひとりについて神が持っている深遠な考えをすべて知っています。聖霊は、あなたが聞かなければならない情報を知っています。聖霊は現在、神に関する深遠なことすべてを調べています。聖霊は人々の心を調べ、父の隠された事柄を調べています。そして、聖霊は、父が存在させた一人ひとりについて、これらの独自の考えを持っています。

**コリント人への第一の手紙 2:12** : *「私たちは、世の霊ではなく、神の霊を受けました。それは、神から賜わった恵みを私たちが知るようになるためです。」*

聖霊があなたの内に宿っているように、あなたは啓示の宝庫です。そして聖霊があなたの内に宿っているからこそ、あなたは父があなた自身の人生だけでなく、あなたの人生、私の人生、そして私たち一人ひとりの人生のために用意しておられる深遠な事柄に触れることができるのです。これはあなただけでなく、私のためにもあります。

**聖霊に触れる**

皆さんは、預言できる理由は、皆さんが自分の内にある聖霊の泉に頼って、自分が奉仕する機会を持つことになる誰かについて何かを明らかにしようとしているからです。これが、皆さんが預言できる理由です。詩篇作者ダビデが*「神が私たちに対して抱いている思いは、なんと数え切れないほど多いことか」と書いたことを皆さんはご存知でしょう。*確かに、神はいつでも皆さんに対して無限の思いを抱いているのです。

誰かに預言したいときは、 「*聖霊よ、今すぐ啓示を与えてください。ただ一つの考えに集中させてください」*と言えば、それができるでしょう。神があなたに一つの心象を与え、あなたが解釈さえせず、ただその考えを話すとき、あなたは預言したことになります。言っておきますが、誰かに一つの考えを話すときでさえ、あなたは預言的に奉仕したことになります。あなたは聖霊を通して神が与えてくださる深遠なことに集中し、その結果、無数の考えのうちの一つを受け取ったのです。それが私があなたに求めることです。

無数の考えに触れて、一人の人について 60 分間預言するよう皆さんにお願いするつもりはありません。なぜなら、私はそうするつもりはないからです。簡単に言うと、私たちはこう言うつもりです。 「聖霊よ、あなたが神の隠された事柄を知っておられることに感謝します。あなたは*父に関する事柄に精通しておられます。その個人に関する考えや言葉を一つでも私と共有してください。」*

より積極的に行動すれば、預言できるようになるでしょう。あなたは預言の油注ぎを受ける者です。私たちは、過去、現在、未来を問わず、あなたの霊から湧き上がる何かについて話しているのです。

**神の声を識別する**

さて、この機会に、神の声を識別する方法について少しお話ししたいと思います。神があなたとコミュニケーションをとったとき、あなたはどのように認識しますか？私たちは神とどのような対話をしますか？ヘブル書には、神が預言者とコミュニケーションをとったさまざまな方法についての議論が含まれています。神があなたに与えようとしている預言を、ビジョンや夢の形で明らかにする可能性もあります。私は第三の天国に連れて行かれ、天使が私の人生について話すために来ました。目を開けているときも目を閉じているときもビジョンを見ました。聖霊は聖書の形で私に現れ、聖書のページから直接私とコミュニケーションをとってきました。テレビを含む世界で最も自然なロバが私に近づき、彼らと会話をしました。神の言葉は預言的な奉仕を通して私に語られました。これらは誰からも教わったわけではありませんが、神が私とコミュニケーションをとる方法の一部です。

**知識の言葉を得る**

ここで問題となるのは、どうすれば知識の言葉が得られるか、ということです。どうすれば誰の傷が癒されているかがわかるでしょうか。ここで言っておきますが、そのようなことを言うと、あなたは危険な立場に身を置くことになります。耳が聞こえない女性がいただけでなく、補聴器がないため、両耳から何も聞こえませんでした。彼女の証言によると、その夜が明ける頃には、神が彼女の聴力を回復させてくださったそうです。私は神について、そのことを一度思いつきました。耳が聞こえない人が一人いることに気づきました。しかし、もし私が、それが神ではないかもしれないという恐怖から、その言葉を言うのを控えていたらどうでしょうか。

には、多くの困難を乗り越える必要がありますが、その困難の 1 つは、神を見逃してしまう可能性があることです。2 歳の子供が10 歳のときのようにうまく歩けないのは、まったく普通のことです。最高の人に教えられなくても大丈夫ですし、時々意味のない話をしても大丈夫です。預言の偉大な神秘をすべて理解していなくても大丈夫です。最高の人に訓練されなくても大丈夫です。聖書が*「あなたがたはみな、ひとりずつ預言しなさい。そうすれば、すべての人が学ぶようになるでしょう」と教えているので、問題はありません (コリント人への手紙 1 章 14 節)。*

**間違いを許容する**

なければなりません。何でも試すことができる環境、また預言的に語り、預言活動に従事できる環境が必要です。そうすれば、その人が*「あなたは私の代わりに神の声を聞いてくれました」と言うとき、*それはあなたにとって励みになるでしょう。将来を予測するとき、あなたは少し自信を持つでしょう。

このため、私はあなたが預言的に活性化し、預言できるようになるだけでなく、預言してその言葉を受け取る人がそれを確認したときに、あなたの自信のレベルが高まり始めるような自信を自分自身に築くことができるようにしたいのです。あなたはその緊張を手放すことから始めなければなりません。預言の点だけでなく、油注ぎの点でも、私は見逃しても大丈夫なところまで到達しました。私が観察していると思うことを共有しても、反応がなくても問題はありません。

**神がコミュニケーションをとるさまざまな方法**

それでは、神が私たちとコミュニケーションをとるさまざまな方法についてお話ししましょう。あなたがどこにいても、神はあなたとコミュニケーションをとることをよくご存じでしょう。神はさまざまな方法でコミュニケーションをとりますが、その方法はそれぞれ個人に合わせて調整されます。嗅覚は神からのコミュニケーションの最も初期の形の一つです。私が最初に救われたとき、神は死の霊にとりつかれたある人について私と話し合われました。

私はトレーラーハウスに座っているときに、最近キリストを信じたばかりの男性と話をしていました。私たちが彼を見つけたとき、彼はアルコール依存症の浮浪者として路上生活を送っていましたが、私たちは彼が人生を立て直すのを助けました。彼が私と友人と一緒にそのトレーラーハウスに座っていたとき、聖霊が私にいくつかのことを語りかけました。その一つは、この男性には死の霊が宿っているということでした。当時、私はクリスチャンになってまだ数か月でした。聖霊がどのように私に語りかけたかご存知ですか? 腐った、沼のような、汚い臭いがしました。次に私の頭に浮かんだのは、彼の顔が頭蓋骨に変わり、その後再び顔に戻るというイメージでした。これらの出来事の結果、私は聖霊が私にこの人は亡くなるだろうと告げているという印象を受けました。一週間以内に、彼は亡くなりました。

実際にコミュニケーションを取っていると私が気づいた最初の時でした。つい最近、私は麻薬中毒、懲役、オカルトへの関与、そしてイエスを知る前に私が送っていた無神論的な生活から救われました。数か月後、私が以前の麻薬の売人のトレーラーハウスに住んでいるときに、神は私に話しかけました。当時、私はホームレスでした。それはあらゆる点で驚くべきことでした。神は毎日、匂いを通して私にご自身を明らかにし続けています。

**匂いを通じた神のコミュニケーション**

さらに、私が一人で部屋にいて、それらの香りを嗅いだこともあった。神がついに来られると、空気はバラ、バニラ、シナモン、燃えるお香の香りで満たされる。神は時折、私にその香りを嗅がせ、集会の行方に関する啓示や会話の流れの変化を与えてくれる。そうやって神は私の注意を引き、そうなると、私は私たちがギアを変えていることを理解できる。

神が用いるもう一つのコミュニケーション方法は、物理的な印象を通してです。私が知識の言葉で説教しているとき、特に異言を話しているときは、こうしたことをたくさん感じます。実際、私は複数の人に対してこうした言葉を感じたので、脇腹に何か痛いものがあるという感覚を拭い去ることができませんでした。その後、誰かが「あー」と言い、痛みに苦しみながら反応しているのを目撃しました。これは神が手を差し伸べたいことなのだという圧倒的な感覚を覚えました。

**物理的な印象**

時々、印象を受けると、胸の脇腹に痛みが走ったり、耳鳴りがしたり、目に感覚があったりします。また、耳鳴りがしたり、目に何かを感じたりすることもあります。その時が来たら、聖霊が誰かの心、視力、聴覚を癒すのだと、私は疑いなく分かります。神はまた、人々の心の中に現れるビジョンを通して語りかけます。グループの前で説教をしていると、話している途中で突然、奇跡のビジョンがやって来ることがあります。その時点で、私はやっていることを止めてギアを切り替え、癒しの油注ぎが来るように祈らなければなりません。その時はそれが神だとは気づかなかったかもしれませんが、皆さんの中には実際に神の声を聞いた経験がある人もいます。

**静かな小さな声を聞く**

多くの場合、神は静かな小さな声で語りかけます。通常、「小さな声」とは、思考の通常の流れを妨げる考えです。私が説教をしていて、自分の言っていることに集中しようとしているときに、突然、マクドナルドで食事をしているガンを患っている男性のことを考え始めたら、神が私の注意を引こうとしていることがわかります。それに応じて、私は次のように言うかもしれません。 *「会議でガンを患っている誰かについて神が私にささやくのを聞いたような気がしました。あなたはマクドナルドで働いているのかもしれません。」*

**神の声を認識する**

神の静かな細い声を実際に聞いたと、どうすれば確信できるかということです。あなたがまさにその瞬間に何かを考えたり話したりしていて、突然、それまで考えたり話したりしていたこととはまったく関係のない考えが頭に浮かんだとしたら、その考えはおそらく神によってそこに置かれたものです。会話の途中であっても、何かについて考えていたとしても、あるいは他のことについて空想していたとしても、突然、どこからともなくアイデアが浮かぶでしょう。私が礼拝に出席していて、他の誰かが説教しているとき、私が注意深く話されている言葉を聞いていると、突然、誰かが車椅子から立ち上がるイメージに心がさまようことがあります。

もしかしたら、そのような考え方をするのが嫌になり始めるかもしれません。 *「神様、栄光が落ち、死体が床に転がり、建物の中でみんなが一列に並び、そしてこの人が油注ぎを教えることについて話している間に油注ぎを受けることを考えているのは、一体どういうことなのでしょう？」と*私は祈りました。私は神の静かな小さな声を認識する能力を身につけました。なぜなら、その声が聞こえてくるとき、それは通常、私がその瞬間に考えていることやしていることとは関係がなく、むしろ、抽象的な考えの 1 つであるように思われるからです。これは、私がその声を識別できるようになるのに役立ちました。

**神からのビジョンとメッセージ**

神からのメッセージであるビジョンもあります。目を閉じて見るという選択肢もあります。これは、あなたが内なるビジョンを持っていることを示しています。あるいは、外的なイメージを見ているのか、内的なイメージを見ているのかわからないビジョンを見ることもできます。そして、正直なところ、全体的なメッセージは同じなので、それは無関係です。あなたは、預言の言葉を定量化して分類しようとする人々がいることをご存知でしょう。そして、これらの人々は、あなたが持っている情報をどのように入手したかという詳細に興味を持っています。なぜ、どのように入手したかについてあまり心配することなく、持っているものをただ与えないのですか？それが最も合理的な行動のように思えます。

啓示を受けた後、あなたは解釈（つまり、神が啓示を通して何を伝えようとしているのか）をする必要があります。そして、あなたはその情報を正しく伝える責任があります。これは、預言の最も有用な側面の 1 つです。啓示と解釈を持っていても、伝える際に惨めに失敗する可能性があります。啓示と伝える際に、解釈で完全に失敗する可能性もあります（適切なタイミングが必要です）。

**啓示を共有する**

皆さんに何かお話しさせてください。神が今晩私を天国に連れて行ってくれるなら、私は*「私は今天国にいて、天使が癒しの油注ぎを注いでいるのが見えます。それは黄金の蜂蜜のように降りてきます」と*叫ぶ必要はありません。これは神が集会で時々行うことです。しかし、神がそうしてくださるなら、私はそうします。必要なのは、私からの簡単な発言だけです。 *「癒しの油注ぎが降りてきます」。*

私はそれを霊的なものにしたり、私が得たものをドラマチックに表現したり、あるいはその両方で人々に恐怖感を与える必要はありません。私が得たものをどうやって得たかを知る必要はありません。必要なのは私が得たものだけです。私がそれをどうやって得たかをあなたに伝える必要はありません。 *「それは開かれたビジョンだったのですか？目を開けて辺りを見回していましたか、それとも目を閉じていましたか？眠っていましたか、それとも目が覚めていましたか？トランス状態にあったとでも言うのですか？」と疑問に思う人が常に大勢います。*

**トランスを理解する**

状況について心配しないでください。これから説明するのは、トランス状態とはどのような状態かということです。夢の世界にいるときに夢を見て、目が覚めると、ほんの一瞬だけ眠りに落ちていたことに気づくという状態をご存知ですか? それがトランス状態です。その状態に入るときは立っているか座っているかのどちらかで、その状態から抜け出すと目はまだ開いています。こうすることで、眠りに落ちるのを避けることができます。神が私をトランス状態にすると、完全に目が覚めているときに夢を見ているのと同じような状態に入ることになります。

しかし、トランス状態に入るとき、私が体験した詳細について話す必要はありません。神が私をトランス状態にして、18年間うつ病を患い、性的虐待の経歴を持つ人物の詳細を明らかにすることは可能です。そして、私はその人物が独房から出てくるのを見ます。数か月前、私はこの種のトランス状態を経験しました。神はその人物が誰であるかを私に示し、突破口が開かれる時期を私に告げました。トランス状態の間、私はその人物に取り憑いている悪魔を追い払おうとしていました。彼女は頭を地面に下げて私を見上げ、自分の苦境を私に説明すると、憂鬱な雰囲気が漂っていました。その後、彼女は再び頭を下げ、それが私がトランス状態から抜け出す合図となりました。

**トランスを通して奉仕する**

私が様子を見に行ったとき、彼女は集会に出席していました。私が彼女に奉仕し、悪魔を追い払い、彼女のために祈った後、彼女は治癒しました。しかし、彼女が催眠状態にあるときに私を訪ねてきたことを彼女に告げる必要はありませんでした。私はただ*「神はあなたをその憂鬱から解放してくださるでしょう」と彼女を励まし*、神が私に示された方法で奉仕を続けました。さらに、私たちは神が私たちに授けてくださった賜物を適切に分配するために必要な知識を習得する必要があります。

もし神が、あなたを癒し、あなたに神の愛を注ぐというお言葉を私に与えたとしても、私はあなたのところに行って、あなたに怒鳴ったり、厳しい口調で話したりしてその言葉を伝えるつもりはありません。時には、その場の興奮に流されてしまい、結果として他人の気持ちに敏感になることを忘れてしまいます。神は、私たちが神が与えてくださった言葉を使って効果的にコミュニケーションをとることを望んでおられるので、私たちがどのように言葉を言うかを気にされます。知識を伝える方法は、極めて重要です。

**預言的洞察を伝える**

今日は、機関銃並みの預言的洞察を皆さんに提供しようと思います。つまり、さまざまなトピックについて、ちょっとしたヒントを放ちまくるということです。神が私とコミュニケーションをとるもうひとつの方法は、視覚的なイメージを通してです。例を挙げると、喘息が治った人の写真を見せてくださるかもしれません。それは、私が出席していた集会で癒された人の写真や思い出かもしれません。癒された後、その人は呼吸器を外し、教会の建物の中を走り回りました。ですから、神は私に、以前の出来事を思い出させる写真を示し、その集まりの人々の一人が喘息を患っていることを知らせてくれるのです。私でさえ、写真の中で何が起こっているのか、いつもはっきりと理解できるわけではありません。ですから、私は単に何かを明らかにして、受け取った人が自分で結論を導き出せるようにすることもあります。

神が聞こえる声を通して私たちとコミュニケーションをとるとき、それはまるで誰かがあなたに話しかけ、それをあなたの自然な耳で聞いたかのようです。神が私たちとコミュニケーションをとるもう 1 つの方法は、聞こえる声を通してです。私は自分の内側で神の声を聞くことができた経験があり、それはまるで誰かが私に大声で話しかけているように聞こえました。神の声は、私にも何度も聞こえるようになりました。

**霊感を受けた発言と聖霊のフラッシュバック**

力を持っていることに気づくべきです。神はあなたに預言をさせ、あなたは話さずにはいられなくなるでしょう。そのような話し方は、霊感を受けた言葉として知られています。

神はまた、過去の思い出を通して人間とコミュニケーションをとります。私はそれを聖霊のフラッシュバックと呼んでいます。少し前に触れたように、聖霊がなさることは、私に出来事、言葉、私が追い払った悪魔、あるいは集会で起こったことを思い出させることです。あなたが誰かに奉仕しているとき、聖霊はあなたが行っている最中に、あなたの過去の状況を頻繁にあなたの注意に引き起こします。なぜなら、聖霊はあなたが過去と同じように奉仕することを望んでいるからです。

**あなたの中の予言を呼び起こす**

さて、あなたの中に宿る予言的精神を目覚めさせることについて少しお話しさせてください。以下は、予言的な生き方を身につける際に考慮すべき重要な要素です。予言についてまず知っておくべきことは、神の声を聞きたければ、井戸に水があることを確認する必要があるということです。

神が言葉であるなら、水は神でなければなりません。神の言葉があなたの人生の基礎でなければ、あなたは何も得るものがありません。神の言葉がなければ、築くものは何もありません。主の言葉を聞きたいと言いながら、あなたは1週間も聖書を開いていません。それはあまり頻繁に起こることではありません。誰もが自分だけの預言の「シューッ」という音を探しています。しかし、神の言葉を熟考するために昼夜時間を費やすことはどうなったのでしょうか。聖書から隠された知恵の宝石を掘り出すことはどうなったのでしょうか。聖書、コンコーダンス、ギリシャ語とヘブライ語の本、その他の相互参照ツールを使って神とコミュニケーションを取ろうとすることはどうなったのでしょうか。

はい、井戸が満ちていないのに預言をしたいと願うクリスチャンはたくさんいます。何かに命を与えるには、神が息を吹きかけるものが必要であり、あなたも神が息を吹きかけるものが必要です。主の言葉で十分に養われているとき、あなたの霊の中から何かが現れ始めます。異言の使用は預言活動を呼び起こすもう一つの方法です。預言と異言の使用には強いつながりがあります。実際、**コリント人への第一の手紙第14章**を見てみましょう。 *「異言で祈る者は、それを解き明かせるように祈りなさい。」*

この時点で、その聖句を異言で伝えられるメッセージと会衆内でのその解釈の枠組みの中で自由に考えることができます。しかし、聖書は、異言で話された自分のメッセージを理解できるように祈るべきであるという意味にも解釈できると私は信じています。

なぜ今、誰かのために異言で祈り、その解釈も受けることができないのでしょうか。集会にいるとき、私がしていることはただ聞くことだけです。よく見ればわかると思います。私は応答に耳を傾け、自分を潜在的な情報源として差し出しています。神が特定の人に私の注意を引き続けるとき、私は歩いているときか、他の誰かが礼拝を導いているときかもしれません。そのとき、神がその人に何か言うことを持っていることが分かります。時には、私が言葉をかけようと思っている10人を選びますが、まだ何も思いつきません。その代わりに、礼拝中に彼らの上に聖霊が宿っているのを見るのです。これは私が言葉を受ける準備をするのに役立ちます。そして、私が彼らの名前を呼ぶとき、言葉がそこにあることが分かります。しかし、私はできるだけ近づきやすいように努力し、連絡を期待しています。今日、皆さんはまさにそのような環境に放たれることになります。

**個人的な予言をテストする**

場合にどうするかという計画も必要です。まずは、その言葉を試すことから始めましょう。聖書は、すべてを批判的な目で調べ、発見した真実に固執するようにと教えています。神は預言する人々に誠実さを求めていますが、たとえ神がロバを通して私とコミュニケーションをとることを選んだとしても、私は神の言うことに耳を傾けるつもりです。

私は、神がロバのような生活を送っている人を通して私とコミュニケーションを取ろうとするかもしれないという可能性に耳を閉ざすつもりはありません。理想的ではない状況でも、主の言葉が私のためにそこに存在する可能性があります。しかし、神は私たちがすべての預言の言葉を試すことを望んでおられます。預言の言葉が与えられたとき、それが聖書と一致しているかどうかを常に確認しなければなりません。預言の言葉が与えられたとき、神の属性に基づいて評価することが不可欠です。私たちは、 *「それは神の道と一致していますか？ それは神の性質と神が取る行動を反映していますか？」と尋ねる*必要があります。神の道と性質に矛盾する言葉を受け入れるべきではありません。なぜなら、神の言葉は常に正確だからです。

**確認と指導を求める**

神があなたに預言の言葉を与えたとき、あなたがしなければならないことがもう 1 つあります。それは、あなたが受け取った言葉を、あなたが信頼し、あなたの人生の指導者とみなす誰かに伝えることです。このような会議に参加していて、何か重要なことを言う必要がある場合、誰かをつかまえて駐車場に駆け出して言うべきではありません。2、3 人を集めて、その人に*「言いたいことがあるような気がします。あなたについて予言してもよろしいでしょうか」と言って、話す許可をもらうのはいかがでしょうか。*たとえそれがあなた自身の保護のためだけだとしても、その言葉を目撃し、聞くことができる誰かをそこに配置するよう、あらゆる努力をすべきです。人の性格について即断即決しないのが最善です。たとえあなたの心ではまったく馴染みのない言葉のように思えても、その言葉があなたの霊に証言するかどうかに注意してください。

**預言の言葉を評価する**

神はまだ起こっていないことについて語ることが多いので、神の語る言葉を注意深く考慮することが重要です。人々はしばしば預言の言葉が自分たちの状況で起こっていることすべてと完全に一致することを望みますが、聖霊はまだ起こっていないことを明らかにするので、これは常に起こるとは限りません。一方、あなたの霊は基準です。言葉が神から来たものであれば、あなたは心の中で平和を感じるでしょう。私は、他の人から言われた言葉を聞いて心の平穏が得られない場合、すぐにそれを無視します。私はそれを試すことさえしません。もし私の霊に嫌な予感や束縛を感じたら、私はそれを窓から投げ捨てます。私の肉体と私の心は確信が持てないかもしれませんが、ほとんどの場合、私の霊は何かが真実かどうかを知ることができます。

を考慮すると、預言の言葉を聖書、神の道、権威ある人物や証人の視点、そして自分自身の心の平安の感覚やその欠如に照らして評価することが不可欠です。

**預言者としての人生を生きる**

今こそ、あなたの人生において預言的な生き方を優先すべき時です。預言できる人を見つけ、神がその人についての情報を与えてくれると信じてください。信仰を持ち、思い切って行動してください。

彼らに手を置いて祈るべきです。そうすれば、神は預言的な祈りさえも与えてくれるからです。すぐに何も得られないとしても、祈ってください。私はすべての人に、預言的な一歩を踏み出し、自分自身の井戸の奥深くまで到達する霊的な勇気を持ってほしいと思います。一つの考えや聖書の一節を信じてください。聖書の一節やビジョンを与えてくださるよう聖霊にお願いしてください。聖霊の中で声を上げて預言的に祈ってください。

**預言の霊のための祈り**

では、一緒に祈りましょう。父なる神が預言の霊を送ってくださり、私にとどまるようにお願いしましょう。父なる神よ、私が預言して学ぶことができるように、預言の油を注いでください。聖霊よ、私たちを満たしてください。父なる神よ、私の人生に、励ましと慰めと啓発の言葉を語ってください。私に聖書を示し、ビジョンと心の中のイメージを与えてください。父なる神よ、あなたが言葉で表現できる無数の方法のそれぞれで、来て私に語りかけてください。聖書は人々に預言への渇望を持つように勧めています。神様、あなたが私に与えるつもりのないものを私が欲しがることをあなたは望んでいないことを私は知っています。あなたが私に預言してほしいからこそ、あなたは私に預言したいという願望を持ってほしいのです。主よ、今、私が預言する時が来たので、私はここにいます！

# 結論

この拡大版の終わりが近づくにつれ、私たちは啓示、預言、そして神との交信の領域を共に歩んできた素晴らしい旅を振り返ります。これらの章を通して、私たちは神の神秘を深く探求し、預言の活性化への道を探り、神の存在の栄光に浸る人生を送る方法を学びました。

油注がれた目と耳の重要性を理解することから、開かれた天からもたらされる深い知恵と知識を受け入れることまで、私たちは神の霊の力が私たちの生活に働いているのを目撃してきました。私たちは、神が私たちに語りかける方法（幻、夢、印象、そして静かな細い声を通して）と、神の神聖なささやきを聞くために私たちがどのように自分自身を位置づけることができるかを発見しました。

預言の賜物の活性化は、選ばれた少数の人だけに与えられるものではなく、神に用いられることを熱心に求め、望むすべての人に与えられます。預言の言葉を試し、確認する原則を探求する中で、私たちは神のメッセージを伝える上で謙虚さ、誠実さ、感受性が重要であることも学びました。

私たちの旅はここで終わりではありません。預言者として生きるという召命は、継続的な冒険であり、神の存在を絶えず求め、神の言葉に浸り、聖霊の導きに心を開いておくことが求められます。信仰をもって一歩を踏み出すとき、大胆に預言し、神の声を聞く能力に自信を持ち、受け取った言葉を通して他の人を築き上げ、励ますことに専心しましょう。

この拡大版で共有されている洞察と啓示が、預言者としての召命を完全に果たし、超自然を受け入れ、神の栄光を反映する人生を送るよう皆さんを鼓舞しますように。皆さんが前進するとき、皆さんは神の霊の器であり、神の光と愛を困窮する世界にもたらすために備えられ、力を与えられていることを思い出してください。

この素晴らしい旅に同行してくださりありがとうございます。預言の霊があなたに宿り、あなたをすべての真理へと導き、天の宝の扉を開きますように。さあ、出て行って大胆に預言してください。あなたの神である主があなたと共におられるからです。

# 著者について

ビル・ヴィンセントは、霊的覚醒の領域に深く入り込み、30 年以上にわたる超自然とのつながりを体現しています。強力な預言者としての油注ぎを受け、彼は人生を宣教に捧げ、Revival Waves of Glory Ministries の導きの光と力強い柱として働いています。

ビル・ヴィンセントは牧師であるだけでなく、多作な著者でもあり、その多様な著作や教えを通じて、多くの人々の精神的な啓蒙に貢献しています。彼の作品は、解放、神の存在の促進、使徒的で最先端の教会構造の形成といったテーマを網羅しています。彼の洞察は、経験の源泉から引き出され、リバイバルに浸り、深い霊的感受性によって微調整されています。

ビルは、神の存在を絶えず追求し、リバイバルの維持に尽力し、主に神との出会いを招き入れ、変革に適した精神的な雰囲気を維持することに重点を置いています。125 冊を超える彼の膨大な蔵書は、希望の光として機能し、数え切れないほどの人々がサタンの束縛を克服し、神の光を受け入れるよう導いています。

リバイバル ウェーブ オブ グローリー ミニストリーズは、典型的な教会ではありません。預言的なミニストリーであり、聖霊が自由に動ける聖域です。神の知恵と啓示が融合した私たちの説教は、Rumble で体験でき、御言葉の変革の力に浸ることができます: <https://rumble.com/c/revivalwavesofgloryministriesbillvincent>

私たちの教え、ビジョン、そして神の多様な恵みについてさらに深く探求するには、 [https://www.revivalwavesofgloryministries.com/にアクセスしてください](https://www.revivalwavesofgloryministries.com/)。

ビル・ヴィンセントとともに精神的な発見の旅に乗り出し、復活の波に身を任せ、神の神聖な力と限りない愛を明らかにしましょう。

ポッドキャスト: <https://podcasters.spotify.com/pod/show/bill-vincent2>

ランブル: <https://rumble.com/c/revivalwavesofgloryministriesbillvincent>

**「Downloads From Heaven」**をぜひご覧ください。

寄付: <https://www.revivalwavesofgloryministries.com/giving>

書店: <https://www.revivalwavesofgloryministries.com/online-stores>

ビル・ヴィンセント（説教、教育、預言のミニストリー）をあなたのイベントに招待してください： rwgministry@yahoo.com